

平成 29 年度
釧路市経済波及効果調査
報告書

平成 30 年 3 月
水のカムイ観光圏
(一般社団法人釧路観光コンベンション協会)

目 次

I	本調査の背景と目的・方法	1
1	調査の背景と目的	1
2	調査の進め方	2
3	調査の方法	4
II	釧路市における観光消費による経済波及効果	7
1	観光消費によって経済波及効果を高めることの意義	7
2	釧路市における観光消費による経済波及効果の概要	9
3	来訪客数の推計	10
4	観光消費額の推計	13
5	観光消費による経済波及効果	17
III	釧路市における観光消費の実態	24
1	釧路市を訪れる来訪客の実態	24
2	釧路市を訪れる来訪客の旅行内容	29
3	釧路市を訪れる日本人来訪客の消費実態	43
IV	観光振興による釧路市経済の活性化に向けて	51
1	釧路市の魅力を活かした施策シミュレーション	51
V	釧路市の経済波及効果を高めるにあたって	55
1	釧路市での観光消費における課題と今後の取り組みのポイント	56
VI	資料編	61
1	「日本人来訪客アンケート調査」調査票	61
2	釧路市観光の課題（自由回答）	79
3	満足した食事（自由回答）	83

本報告書をご覧ください際の注意事項

- アンケート調査結果において各設問における選択肢の構成比の合計が四捨五入による端数処理の関係上、100%にならない場合があります。
- 来訪客数の推計、観光消費額の推計において、本報告書内に表示している係数等（平均宿泊数、日帰り客や通過客の割合、宿泊客数に対する日帰り客の割合等）は基本的に小数点以下第1位または第2位までとしています。推計にあたって用いた係数はこの限りではないため、一部、表示されている係数と推計結果が一致しない場合があります。
- 経済波及効果シミュレーション結果は端数処理の都合上、内訳と合計が一致しない場合があります。

Ⅰ 本調査の背景と目的・方法

1 調査の背景と目的

釧路市では、2006年に策定された「第一期釧路市観光振興ビジョン」（以下、「第一期ビジョン」）において観光振興の視点として「量から質へ」の転換が必要であるとの認識のもと、全国に先駆けて来訪客数等の「量」（来訪客数等）を把握する指標から、「質」（来訪客にいかに満足してもらったか）を評価する指標を重視した施策を進めてきました。また、2009年には、釧路市・釧路公立大学地域経済研究センターが「釧路市観光産業の発展に向けての経済効果に関する調査研究」を実施し、地域における観光消費額と経済波及効果を推計し、市民に対して観光振興の意義を具体的に提示することによって観光に対する理解及び促進を図ってきました。

2017年3月には、「第二期釧路市観光振興ビジョン」（以下、「第二期ビジョン」）が策定されました。第二期ビジョンでは、計画の目標年次を平成29年度から概ね10年程度と設定し、先述の第一期ビジョンで示した考え方や、その後の取り組み及びその成果、釧路市の政策の理念でもある「域内循環」、「外から稼ぐ」を踏まえ、目標像を「釧路市の持続可能な自立型の地域経済の実現」と掲げ、目標の達成度合いを把握するための指標として「経済波及効果」を設定し、計画期間内に、経済波及効果を基準年次の2倍程度（約500億円）に高めていくことを目標としています。

第二期釧路市観光振興ビジョンの目標年次・指標と目標数値

- 計画の目標年次－平成29年度から概ね10年程度
- 指標と目標数値－経済波及効果 基準年次の**2**倍（約500億円）*

〔目標の方向性〕

釧路市民みんなで観光振興を担い、来訪客数、消費単価、それぞれを増やして観光消費額を高めるとともに、みんなが観光客の来訪による恩恵を受けられるよう域内調達率を向上させ、経済波及効果を基準年次の2倍に高めることを目指します。

* 基準年次－平成21年 観光消費額211億円、経済波及効果254億円

* 既存計画で掲げられた数値目標と平成21年度の推計値、各指標の方向性をもとに設定

そこで、本調査では、観光消費¹の実態や来訪客による経済波及効果を把握するとともに、その分析結果を踏まえ、第二期ビジョンの目標達成に向け、釧路市の観光の課題や今後の観光振興施策の方向性などの検討を行いました。

¹ 本報告書における「観光消費」は、釧路市への来訪者（近隣市町村居住者を除く）の消費を指し、「観光・レジャー」目的に限定されるものでない点に留意が必要である。

2 調査の進め方

観光による経済波及効果とは「地域に訪れた観光客が、地域内で消費を行い、そのうち、どの程度が地域経済に影響を及ぼしたかを金額で表したもの」と定義されています。経済波及効果は①来訪客数、②1人あたりの消費単価、③域内調達率を乗じることによって推計することができます。

経済波及効果の向上にあたっては、①～③の3つをバランスよく高めていくことが重要です。例えば、入込客数が多い観光地であっても、多くの来訪客の滞在時間が短く、1人あたりの消費単価が低い場合、経済効果は低くなってしまいます。同様にその観光地のレストランで提供される食事に使われている食材が地域外から仕入れたものが多い場合には、地域内の波及効果は商業や輸送サービスの利益の一部に留まってしまいます。つまり、①、②、③がバランスよく機能し、これらの相乗効果によって経済波及効果は向上していきます（図表 1-1）。

図表 1-1：観光消費による経済波及効果の算出方法

$$\text{観光消費による経済波及効果} = \text{①来訪客数} \times \text{②消費単価} \times \text{③域内調達率}$$

①来訪客数（どのくらいの人が釧路市を訪れたか）については、「北海道観光入込客数調査報告書平成 28 年度」（北海道経済部観光局）に記載されている釧路市のデータを活用しました。

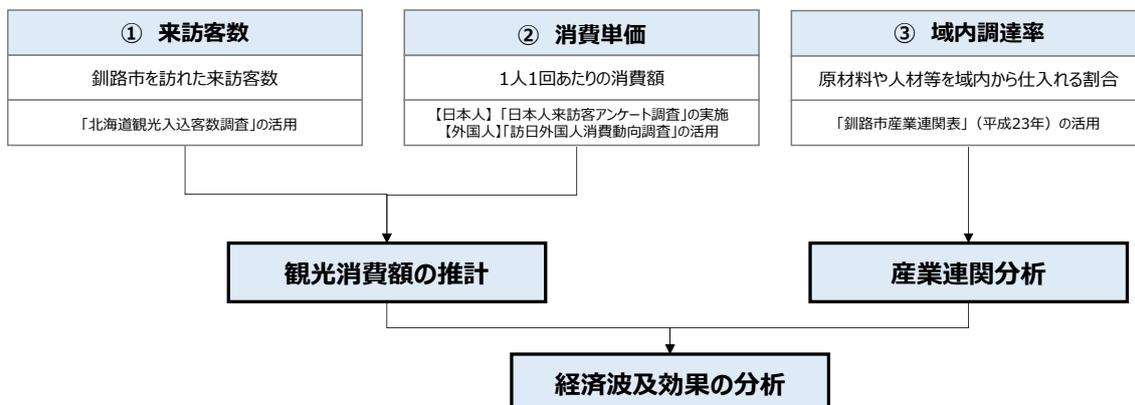
②消費単価（来訪客がどの程度釧路市でお金を使ったか）については、釧路市を訪れた日本人を対象とした「日本人来訪客アンケート調査」を実施し、消費行動を把握しました。また、外国人の消費単価については観光庁「訪日外国人消費動向調査（平成 27 年～平成 29 年）」を利用して推計しました。

こうして推計された①来訪客数と②消費単価を乗じて**観光消費額**を推計しました。

③域内調達率（釧路市内からどの程度原材料、商品、人材などを仕入れているか）については、1年間の産業相互間や産業と家計間の経済取引（購入、生産、販売、リサイクル等）を整理し、表にまとめた「平成 23 年釧路市産業連関表」を利用して**経済波及効果**を推計しました。

なお、本調査では、分析にあたり釧路市観光の現在の状況や課題などを踏まえていくことが重要であるため、釧路市内の観光事業者や観光関連団体を対象とした「事業者ヒアリング調査」もあわせて実施しました（図表 1-2）。

図表 1-2 : 本調査のフロー



コラム：観光消費による経済波及効果の求め方

観光消費による経済波及効果の算出にあたっては、以下のとおり大きく2つの方法があります。

1つ目は各都道府県の地域内産業連関表を用いて算出する方法です。都道府県や政令指定都市ではこの方法で算出する方法が一般的です。

また、市町村レベルでは地域内産業連関表がないことも多く、その場合は都道府県の産業連関表を活用したり、新たに産業連関表を作成する場合があります。釧路市においては、2009年に釧路公立大学地域経済研究センターが実施した「釧路市観光産業の発展に向けての経済効果に関する調査研究」や今回の調査では釧路市が独自に作成した産業連関表を用いて経済波及効果の算出を行っています。

産業連関表²とは、経済波及効果分析などを目的に作成されているもので、一定期間（通常1年間）において、財・サービスが各産業部門間でどのように生産され、販売されたかについて行列（マトリックス）の形で一覧表に取りまとめたものです。ある1つの産業部門は、他の産業部門から原材料や燃料などを購入し、これを加工して別の産業部門に対して販売します。購入した産業部門は、それらを原材料等として、また、別の財・サービスを生産します。このような財・サービスの「購入→生産→販売」という連鎖的なつながりを表したのが産業連関表です。産業連関表を利用して、ある産業に新たな需要が発生した場合に、どのような形で生産が波及していくかを計算することができます。

2つ目は「乗数理論」による算出です。産業連関表が整備されていない市町村で観光消費による経済波及効果を算出する場合は、地域内の事業所アンケート調査をもとに、雇用状況、売上高の内訳、売上原価・営業経費・人件費の域内調達率など必要なデータを取得し「乗数理論」を利用して算出しています。

² 平成17（2005）年産業連関表総合解説編（平成21年3月総務省編）より一部編集

3 調査の方法

本調査の具体的な調査手法と活用したデータの概要を以下のとおり整理します。

(1) 本調査で実施した調査

① 日本人来訪客アンケート調査

釧路市外（近隣の釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町を除く）から釧路市内を訪れた日本人の来訪客の客層、旅行内容、消費額を把握するためにアンケート調査を実施しました。

- 調査対象者：全国の15歳以上の日本人の男女

2016年9月～2017年8月までの間に釧路市を訪れた人

※釧路市民、近隣町村（釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町を除く）の町村民を除く

- 調査方法：インターネット調査

スクリーニング調査と本調査の2段階で実施しました。

スクリーニング調査	
【目的】	過去1年間に釧路市を訪れた来訪客を抽出
【有効回答数】	25,738 サンプル
【調査項目】	過去1年間における釧路市来訪の有無・来訪回数、居住地、訪問回数等

本調査	
【目的】	スクリーニング調査で抽出された釧路市来訪客を対象として釧路市来訪の詳細を尋ねるアンケートを実施
【調査項目】	回答者属性 過去1年間の釧路市来訪の実態 (回答の対象としたのは来訪1回分、過去1年間に複数回訪れている場合は回答者が“最も印象に残った”来訪1回分を選択して回答) ・釧路市を訪れた目的 ・釧路市内、近隣町村の立ち寄り箇所 ・釧路市内で使った金額（総額および費目別） ・帰宅後の釧路製品の購入 等
【有効回答数】	1,548 サンプル
【調査実施期間】	2017年9月

② 事業者ヒアリング調査

来訪客アンケート調査結果や産業関連表などのデータの分析にあたっては、釧路市内の観光の現場の実態を把握した上で行うことが重要です。

そこで、観光の現状と課題や域内製品の活用状況等について、エリアバランスや業種バランスを考慮してヒアリング調査を実施しました。

事業者ヒアリング調査	
【調査対象者】	釧路市内の観光関連事業者及び観光関連団体 14件 (内訳) 観光関連団体 2、宿泊施設 2、観光アクティビティ事業者 2、観光ガイド 1、交通事業者 2、小売店 1、飲食店 2、漁業組合等 2
【調査方法】	調査員によるヒアリング調査
【調査内容】	事業概要、雇用の実態、利用者の動向、原材料等の仕入れの状況 等
【調査実施時期】	2017年7月,11月,2018年2月

(2) 本調査で活用したデータ

① 訪日外国人消費動向調査

釧路市を訪れた外国人の消費額等を把握するにあたり、観光庁が実施する「訪日外国人消費動向調査」を活用しました。

訪日外国人消費動向調査	
【分析対象者】	平成27年～平成29年7-9月期の合計11四半期分のサンプルのうち、調査票設問「E.今回の日本滞在中における訪問地について」から釧路市内に訪問していると判断されたサンプル
【有効分析対象数】	256サンプル

訪日外国人消費動向調査（観光庁）の活用について

本調査で釧路市における外国人の消費動向などを把握するにあたって活用したのが観光庁で実施している「訪日外国人消費動向調査」です。この調査は訪日外国人客の消費実態などを調査するもので、四半期ごとに全国の空港や港で日本を出国する外国人を対象に調査員による聞き取り調査が実施されています。

調査票の設問は回答者の属性に加え、日本国内での旅行内容や消費額等で構成されていますが、一部、日本滞在中における国内の訪問地での消費活動などを尋ねる設問「E. 今回の日本滞在中における訪問地について」があります。今回はこの設問を活用し、釧路市内と思われる訪問地（例「釧路」「阿寒」等回答者が自由記述で回答します）における消費額、泊数などを把握しました。

観光庁「訪日外国人消費動向調査」調査票（該当部分）

[E. 今回の日本滞在中における訪問地について]

- E1. どこを訪問しましたか。訪問順にお答えください。（地名を記入）
- E2. 訪問地毎に泊数をお答えください。
（数字で記入、宿泊しなかった訪問地は0泊と記入してください。）
- E3. 宿泊した訪問地では、利用した宿泊施設の種類を選んでください。
（下記の選択肢番号を数字で記入）

0 宿泊せず / 1 ホテル(洋室中心) / 2 旅館(和室中心) /
 3 別荘・コンドミニアム / 4 学校の寮・会社所有の宿泊施設 /
 5 親族・知人宅 / 6 ユースホステル・ゲストハウス / 7 その他

- E4. 日本滞在中の支出金額を訪問地毎にお答えください。（数字で記入）

注) 以下の支出を除いてください。
 ・ツアー価格(D1)に含まれるもの
 ・帰国後に自国での販売目的で購入したもの
 ・新幹線や飛行機など訪問地間の移動にかかる交通費

●E4. 支出金額
 何人分の金額を記入しますか。
 (子ども含む)
 人分
 通貨

	●E1. 訪問地名 (地名を記入)	●E2. 泊数 (日帰りは0)	●E3. 宿泊施設	●E4. 支出金額
訪問地① (入国港)	<input style="width: 80%;" type="text"/>	<input style="width: 30%;" type="text"/> 泊	<input style="width: 30%;" type="text"/>	<input style="width: 60%;" type="text"/>
訪問地②	<input style="width: 80%;" type="text"/>	<input style="width: 30%;" type="text"/> 泊	<input style="width: 30%;" type="text"/>	<input style="width: 60%;" type="text"/>
訪問地③	<input style="width: 80%;" type="text"/>	<input style="width: 30%;" type="text"/> 泊	<input style="width: 30%;" type="text"/>	<input style="width: 60%;" type="text"/>
訪問地④	<input style="width: 80%;" type="text"/>	<input style="width: 30%;" type="text"/> 泊	<input style="width: 30%;" type="text"/>	<input style="width: 60%;" type="text"/>
訪問地⑤	<input style="width: 80%;" type="text"/>	<input style="width: 30%;" type="text"/> 泊	<input style="width: 30%;" type="text"/>	<input style="width: 60%;" type="text"/>
訪問地⑥	<input style="width: 80%;" type="text"/>	<input style="width: 30%;" type="text"/> 泊	<input style="width: 30%;" type="text"/>	<input style="width: 60%;" type="text"/>
訪問地⑦ (出国港)	<input style="width: 80%;" type="text"/>	<input style="width: 30%;" type="text"/> 泊	<input style="width: 30%;" type="text"/>	<input style="width: 60%;" type="text"/>

II 釧路市における観光消費による経済波及効果

1 観光消費によって経済波及効果を高めることの意義

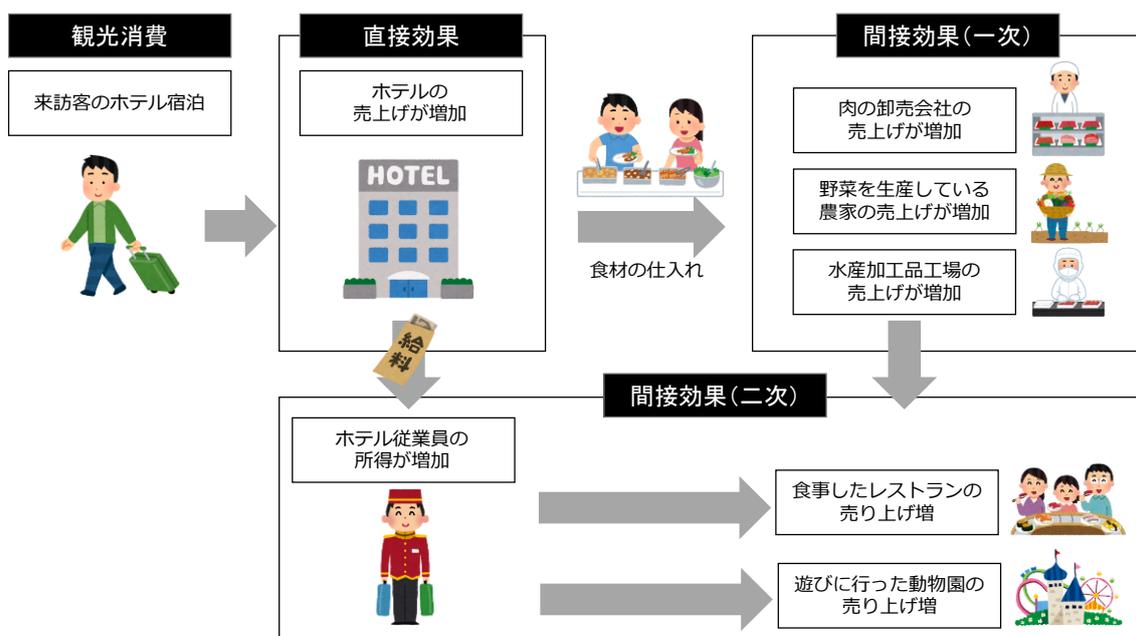
～観光は地域外から収入を得ることができる重要な手段

なぜ、観光消費による経済波及効果を高めることが重要なのでしょうか。釧路市を訪れた人が市内のホテルに宿泊した場合を例にして考えてみましょう。来訪客が支払った宿泊料金はホテルの収入となり、その後、ホテルの従業員の所得となります。また、従業員はその所得で、釧路市内で日用品などを購入して市内での消費が生まれます。これにより、市内の商業やサービス業が収入を得て、これらの産業に従事する人の所得となり、さらに市内での消費が行われて「循環」が生み出されています。釧路市の人口が減少し、市民のみで消費の循環を拡大することが難しい昨今において、観光は、釧路市「外」から稼ぐことができる重要な産業の一つであるといえます。

～観光消費は観光関連産業だけでなく幅広い産業に波及

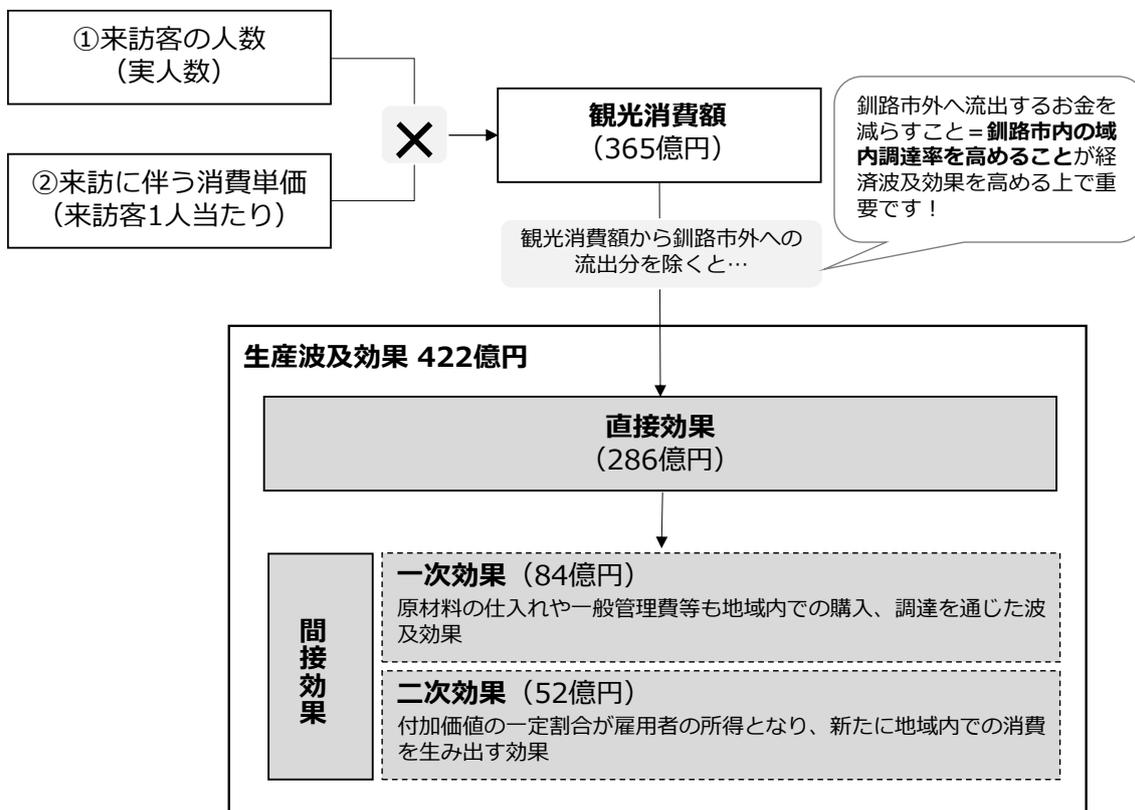
宿泊施設を例にすると、宿泊施設で食事を提供する場合、食材を仕入れる小売業、さらに小売業は農家などから仕入れを行っています。また、施設を運営するためには、水道光熱費も発生するため、電気・ガス・熱供給・水道業にも波及します。観光消費は観光関連産業だけでなく、幅広い産業に波及する裾野の広い産業であるといえます。

図表 2-1：観光消費による経済波及効果イメージ図



それでは、経済波及効果はどのように求められるのでしょうか。経済波及効果を算出するにあたってのフローは以下の通りです。

図表 2-2：経済波及効果の推計フロー



直接効果とは、観光消費額から地域外への流出分を除き、地域内に残る金額を指します。

間接効果とは、原材料の仕入れや一般管理費等の地域内での購入、調達を通じた波及効果（一次効果）と付加価値の一定の割合が雇用者の所得となり、新たに地域内での消費を生み出す効果（二次効果）を合わせた額を指します。

また、直接効果と間接効果を足し合わせたものを**生産波及効果**といいます。本報告書では、これらを総称して**経済波及効果**とします。

2 釧路市における観光消費による経済波及効果の概要

～観光消費額は 365 億円、生産波及効果は 422 億円

2016 年の釧路市の日本人宿泊者数は **599,245 人回**、釧路市内の宿泊客が市内で支出した消費単価は 1 人 1 回あたり **36,374 円／人回**と推計され、**217.97 億円**の観光消費額が発生したものと推計されます。

日本人日帰り客数は **282,445 人回**で、釧路市内で支出した消費単価は **10,532 円／人回**、観光消費額は **29.75 億円**と推計されます。

また、日本人通過客³数は **1,198,482 人回**で、消費単価は **7,915 円／人回**、観光消費額は **94.86 億円**と推計され、これらを合計すると、日本人来訪客による観光消費額は **342.58 億円**と推計されます。

外国人宿泊者数は **85,424 人回**、消費単価は **25,777 円／人回**、観光消費額は **22.02 億円**と推計されます。日帰り客数は **8,799 人回**、消費単価は **6,529 円／人回**、観光消費額は **0.57 億円**となり、これらを合計すると、外国人来訪客による観光消費額は **22.59 億円**と推計されます。

以上を踏まえると、釧路市の来訪客（日本人＋外国人）による観光消費額は **365.17 億円**と推計されます。

2011 年の釧路市産業連関表を活用し、2016 年の観光消費額 365 億円がもたらす経済波及効果を推計したところ、生産波及効果は **422 億円**、付加価値効果が **206 億円**、雇用誘発効果は **3,986 人**と推計されました（家計迂回を含む）。付加価値ベースでの直接効果は **130 億円**と推計され、観光産業の付加価値効果は市内総生産 5,779 億円（2014 年）の **3.6%**を占めています。

●結果参照にあたっての留意点

来訪客数の推計、観光消費額の推計において、本報告書内に表示している係数等（平均宿泊数、日帰り客や通過客の割合、宿泊客数に対する日帰り客の割合等）は基本的に小数点以下第 1 位または第 2 位までとしていますが、推計にあたって用いた係数はこの限りではないため、一部、表示されている係数と推計結果が一致しない場合があります。

³ 釧路市以外に宿泊し、釧路へ立ち寄った来訪客を指す。

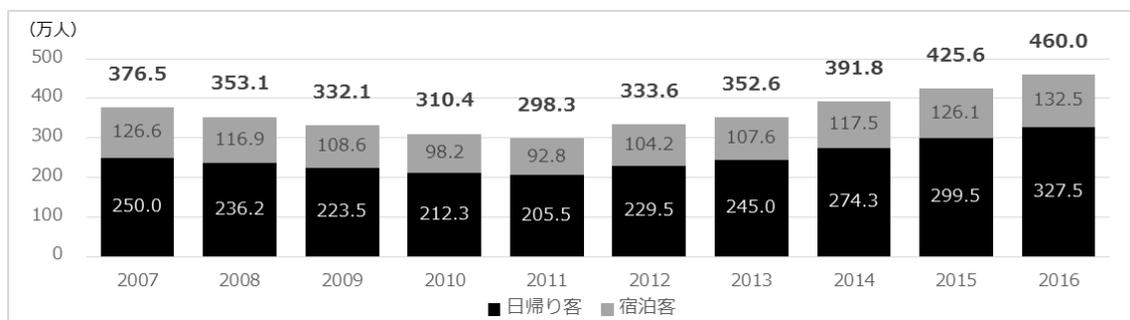
3 来訪客数の推計

(1) 来訪客数の推移

～2011 年以降は増加傾向、インバウンドは台湾・中国が主たる市場

釧路市を訪れる来訪客数は 10 年前の 2007 年以降、2011 年までは減少傾向となっていました。2012 年以降は増加に転じており、2016 年には 460 万人となりました。入込客数に占める日帰り客数はおよそ 7 割程度、宿泊客数は 3 割程度を推移しており、大きな変化はありません。

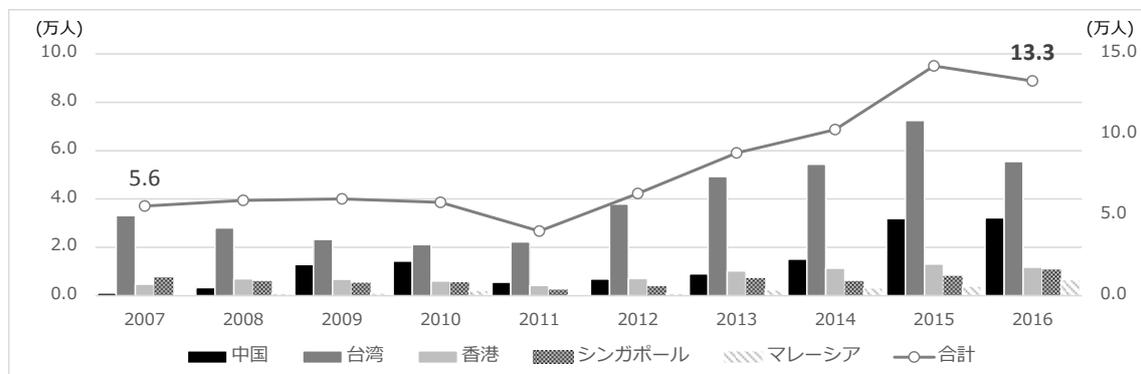
図表 2-3：入込総数・日帰り客数・宿泊客数の推移⁴



釧路を訪れた外国人の延べ宿泊者数は 13.3 万人泊で直近 10 年間ではおよそ 2.4 倍に増えています。

これまで、主要な市場は 2011 年以降、台湾が急増していますが、近年では中国も増加しています。2016 年は台湾 (42%)、中国 (24%)、香港 (9%) の順に多く、東アジアが主たる市場となっています。

図表 2-4：訪日外国人延べ宿泊者数の推移



⁴ 端数処理の都合上、「日帰り客」と「宿泊客」の合計と入込総数が一致しない場合がある。

(2) 来訪客数の推計

～宿泊者数は 68 万人泊、日帰り客・通過客は 149 万人回

観光消費額の推計にあたり、2016 年に釧路市を訪れた来訪客数の推計を行いました。日本人来訪客数は釧路市内に宿泊した「宿泊客」、宿泊しなかった「日帰り客」、釧路市外に宿泊し、釧路市に一時的に立ち寄った「通過客」の 3 種類に分けて推計を行いました。

① 宿泊客

a) 日本人宿泊客

「北海道観光入込客数調査報告書平成 28 年度」（北海道経済部観光局）の「宿泊客延数」から「訪日外国人宿泊者数（宿泊客延数）」を引き、日本人延べ宿泊客数（**1,318,339 人泊**）を算出しました。これに、「日本人来訪客アンケート調査」の結果から導出された釧路市内に宿泊した日本人旅行者 1 人 1 回当たり市内平均宿泊数（**2.2 泊**）で除して宿泊客数（**599,245 人回**）を推計しました。

宿泊延べ数(人泊) (全体)-(外国人宿泊者)	÷	平均宿泊数	=	宿泊者数(人回)
北海道観光入込客数調査 (釧路市・2016年度)		インターネット調査		
1,318,339 人泊	÷	2.2 泊	=	599,245 人回

b) 外国人宿泊客

「北海道観光入込客数調査報告書平成 28 年度」（北海道経済部観光局）の「訪日外国人宿泊者数（宿泊客延数）」（**133,261 人泊**）に、訪日外国人消費動向調査（観光庁）のデータから釧路市内に訪問した訪日外国人旅行者の市内平均宿泊数（**1.6 泊**）⁵で除することにより、宿泊客数（**85,424 人回**）を推計しました。

宿泊延べ数(人泊)	÷	平均泊数	=	宿泊者数(人回)
北海道観光入込客数調査 (釧路市・2016年度)		訪日外国人消費動向調査 (釧路に立ち寄った外国人)		
133,261 人泊	÷	1.6 泊	=	85,424 人回

⁵ 観光庁「訪日外国人消費動向調査」の日本滞在中の訪問地（自由回答）として釧路市内のエリアを挙げた 256 サンプル中、宿泊者（156 サンプル）の平均

② 日帰り客・通過客

a) 日本人日帰り客・通過客

日本人の日帰り客・通過客を推計するにあたっては、①a)で推計した日本人の宿泊客数(599,245人回)に「日帰り客/宿泊客」の係数(2.47)⁶を乗じ、「日帰り客+通過客」の総数を推計しました(1,480,927人回)。これに日帰り客(19.1%)と通過客(80.9%)の割合⁷それぞれを乗じることにより、日帰り客数(282,445人回)と通過客数(1,198,482人回)を推計しました。

	宿泊者数(人回)	×	日帰り客/宿泊客	=	日帰り+通過(人回)
日帰り客+通過客	北海道観光入込客数調査 (釧路市・2016年度) 599,245 人回	×	北海道観光入込客数調査 (釧路市・2016年度) 2.47 倍	=	1,480,927 人回
	日帰り+通過(人回)	×	うち「日帰り客」の割合	=	日帰り客数(人回)
日帰り客	1,480,927 人回	×	インターネット調査 19.1%	=	282,445 人回
	日帰り+通過(人回)	×	うち「通過客」の割合	=	通過客数(人回)
通過客	1,480,927 人回	×	インターネット調査 80.9%	=	1,198,482 人回

⁶ 「北海道観光入込客数調査報告書平成 28 年度」(北海道経済部観光局)より「5. 市町村別・月別観光入込客数」の釧路市の「内日帰り客」を「内宿泊客」で除した値

⁷ 「日本人来訪客アンケート調査」の回収状況から割合を推計

b) 外国人日帰り客

外国人日帰り客を推計するにあたっては、①b)で推計された外国人の宿泊客数(85,424 人回)に「日帰り客/宿泊客」の割合(10.3%)⁸を乗じることにより日帰り客数(8,799 人回)を推計しました。

	宿泊延べ数(人泊)	÷	平均泊数	=	宿泊者数(人回)
宿泊客	北海道観光入込客数調査 (釧路市・2016年度) 133,261 人泊	÷	訪日外国人消費動向調査 (釧路に立ち寄った外国人) 1.6 泊	=	85,424 人回
	宿泊者数(人回)	×	日帰り客/宿泊客の割合	=	日帰り客数(人回)
日帰り客	北海道観光入込客数調査 (釧路市・2016年度) 85,424 人回	×	訪日外国人消費動向調査 (釧路に立ち寄った外国人) 10.3%	=	8,799 人回

4 観光消費額の推計

(1) 消費単価の推計

～日本人の宿泊客は 36,374 円、外国人の宿泊客は 25,777 円に

「日本人来訪客アンケート調査」の実施結果から、釧路市を訪れた日本人の消費単価は、宿泊客が 1 人 1 回あたり 36,374 円、日帰り客が 10,532 円、通過客が 7,915 円と推計しました。

外国人来訪客については、「訪日外国人消費動向調査」の実施結果から、釧路市に来訪した人の 1 人当たりの消費単価を客層別(宿泊客・日帰り客)に算出しました。

なお、日帰り客は分析に足る十分なサンプル数を確保することが難しかったため、「日本人来訪客アンケート調査」の結果から通過客を含む日帰り客の消費単価(総額)を宿泊客の 25.3%⁹と仮定して推計しました。その結果、外国人の消費単価は、宿泊客が 1 人 1 回あたり 25,777 円、日帰り客が 6,529 円と推計しました。

⁸ 観光庁「訪日外国人消費動向調査」の平成 27 年～平成 29 年 7-9 月期のデータの中から日本滞在中の訪問地(自由回答)として釧路市内のエリアを挙げた 256 サンプルの宿泊客と日帰り客の割合

⁹ 「日本人来訪客アンケート調査」の結果から、日本人の日帰り・通過客の消費額(総額：9,213 円)を日本人宿泊客の消費額(総額：36,374 円)で除した値を適用した。

(2) 観光消費額の推計

～釧路市における日本人と外国人を合わせた観光消費額は 365 億円に

観光消費額は、釧路市を訪れた来訪客数に消費単価を乗じることにより、推計しました。

なお、推計に際しては客層別（日本人宿泊客、日本人日帰り客、日本人通過客、外国人宿泊客、外国人日帰り客）に算出しています。

この結果、日本人宿泊客による観光消費額は **217.97 億円**、日本人日帰り客は **29.75 億円**、日本人通過客は **94.86 億円**、外国人宿泊客は **22.02 億円**、外国人日帰り客は **0.57 億円**となり、釧路市における日本人と外国人を合わせた観光消費額は **365.17 億円**となりました。

図表 2-5：観光消費額の推計方法

①【釧路を訪れる来訪客数】(推計)			②【消費単価】	③【観光消費額】	
日本人					
宿泊客	$\frac{\text{宿泊延べ数(人泊)}}{\text{平均宿泊数}} = \text{宿泊者数(人回)}$ 北海道観光入込客数調査(釧路市・2016年度) 1,318,339 人泊 ※1 ÷ インターネット調査 2.2 泊 = 599,245 人回	×	$\text{宿泊客(円/人回)} \times \text{宿泊者数(人回)} = \text{宿泊客(億円)}$ インターネット調査 36,374 円/人回 × 599,245 人回 = 217.97 億円	217.97 億円	
日帰り客+通過客	$\text{宿泊者数(人回)} \times \text{日帰り客/宿泊客} = \text{日帰り+通過(人回)}$ 北海道観光入込客数調査(北海道・2016年度) 599,245 人回 × 北海道観光入込客数(北海道・2016年度) 2.47 倍 ※2 = 1,480,927 人回	×	$\text{日帰り+通過(人回)} \times \text{うち「日帰り客」の割合} = \text{日帰り客数(人回)}$ 北海道観光入込客数調査(釧路市・2016年度) 1,480,927 人回 × インターネット調査 19.1% ※3 = 282,445 人回	$\text{日帰り客数(人回)} \times \text{日帰り客(円/人回)} = \text{日帰り客(億円)}$ インターネット調査 10,532 円/人回 × 282,445 人回 = 29.75 億円	29.75 億円
通過客	$\text{日帰り+通過(人回)} \times \text{うち「通過客」の割合} = \text{通過客数(人回)}$ 北海道観光入込客数調査(釧路市・2016年度) 1,480,927 人回 × インターネット調査 80.9% ※3 = 1,198,482 人回	×	$\text{通過客数(人回)} \times \text{通過客(円/人回)} = \text{通過客(億円)}$ インターネット調査 7,915 円/人回 × 1,198,482 人回 = 94.86 億円	94.86 億円	
外国人					
宿泊客	$\frac{\text{宿泊延べ数(人泊)}}{\text{平均泊数}} = \text{宿泊者数(人回)}$ 北海道観光入込客数調査(釧路市・2016年度) 133,261 人泊 ÷ 訪日外国人消費動向調査(釧路に立ち寄った外国人) 1.6 泊 ※4 = 85,424 人回	×	$\text{宿泊客(円/人回)} \times \text{宿泊者数(人回)} = \text{宿泊客(億円)}$ 訪日外国人消費動向調査 25,777 円/人回 × 85,424 人回 = 22.02 億円	22.02 億円	
日帰り客	$\text{宿泊者数(人回)} \times \text{日帰り客/宿泊客の割合} = \text{日帰り客数(人回)}$ 北海道観光入込客数調査(釧路市・2016年度) 85,424 人回 × 訪日外国人消費動向調査(釧路に立ち寄った外国人) 10.3% ※5 = 8,799 人回	×	$\text{日帰り客数(人回)} \times \text{日帰り客(円/人回)} = \text{日帰り客(億円)}$ 訪日外国人消費動向調査 6,529 円/人回 ※6 × 8,799 人回 = 0.57 億円	0.57 億円	
観光消費額				365.17 億円	

- ※1 「北海道観光入込客数調査報告書平成 28 年度」(北海道経済部観光局)より「5. 市町村別・月別観光入込客数」の釧路市の全体の延べ泊数(「宿泊客延数」)から外国人の延べ泊数(「訪日外国人宿泊者数(宿泊客延数)」)を引いた人数
- ※2 「北海道観光入込客数調査報告書平成 28 年度」(北海道経済部観光局)より「5. 市町村別・月別観光入込客数」の釧路市の「内日帰り客」を「内宿泊客」で除した値
- ※3 インターネット調査の回収状況より
- ※4 観光庁「訪日外国人消費動向調査」の平成 27 年～平成 29 年 7-9 月期のデータの中から日本滞在中の訪問地(自由回答)として釧路市内のエリアを挙げた 256 サンプル中、宿泊者(156 サンプル)の平均
- ※5 観光庁「訪日外国人消費動向調査」の平成 27 年～平成 29 年 7-9 月期のデータの中から日本滞在中の訪問地(自由回答)として釧路市内のエリアを挙げた 256 サンプルの宿泊客と日帰り客の割合
- ※6 インターネット調査の結果から通過客を含む日帰り客の消費単価(総額)は宿泊客の 25.3%と仮定して推計(「日本人来訪客アンケート調査」の結果から、日本人の日帰り・通過客の消費額 9,213 円を日本人宿泊客の消費額 36,374 円で除した値を適用した。)

図表 2-6：釧路市における消費単価（費目別）¹⁰

（単位：円／人回）

	日本人						外国人			
	1157		194		197		(推計)		(推計)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
宿泊費	15,377	42.3%	0	0.0%	0	0.0%	11,029	42.8%	0	0.0%
飲食費	10,675	29.3%	3,981	37.8%	2,839	35.9%	6,908	26.8%	2,378	36.4%
市内交通費	2,261	6.2%	631	6.0%	590	7.4%	1,770	6.9%	424	6.5%
鉄道	85	0.2%	29	0.3%	41	0.5%	67	0.3%	25	0.4%
空港バス	145	0.4%	18	0.2%	41	0.5%	108	0.4%	24	0.4%
路線バス	99	0.3%	19	0.2%	39	0.5%	75	0.3%	18	0.3%
団体貸切バス	26	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	21	0.1%	0	0.0%
自家用車ガソリン代	102	0.3%	70	0.7%	61	0.8%	74	0.3%	20	0.3%
自家用車駐車場代	9	0.0%	0	0.0%	5	0.1%	7	0.0%	0	0.0%
レンタカー代	1,177	3.2%	158	1.5%	259	3.3%	934	3.6%	180	2.8%
レンタカーガソリン代	356	1.0%	41	0.4%	18	0.2%	282	1.1%	26	0.4%
レンタカー駐車場代	81	0.2%	3	0.0%	25	0.3%	65	0.3%	12	0.2%
タクシー	169	0.5%	222	2.1%	99	1.3%	126	0.5%	87	1.3%
自転車・バイク	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.0%	0	0.0%
その他市内交通費	11	0.0%	72	0.7%	1	0.0%	9	0.0%	31	0.5%
娯楽・サービス費	1,239	3.4%	507	4.8%	507	6.4%	944	3.7%	313	4.8%
美術館、博物館、動物園等の入場料	130	0.4%	77	0.7%	110	1.4%	99	0.4%	62	1.0%
日帰り温泉入場料	101	0.3%	18	0.2%	64	0.8%	74	0.3%	33	0.5%
マッサージ・エステ代	99	0.3%	23	0.2%	20	0.3%	76	0.3%	9	0.1%
ゴルフ場利用料	171	0.5%	299	2.8%	25	0.3%	137	0.5%	113	1.7%
観光ガイド	72	0.2%	0	0.0%	25	0.3%	58	0.2%	11	0.2%
その他娯楽サービス費	666	1.8%	90	0.9%	261	3.3%	500	1.9%	86	1.3%
買い物代	6,523	17.9%	5,074	48.2%	3,646	46.1%	4,890	19.0%	3,175	48.6%
食料品	6,049	16.6%	3,077	29.2%	3,365	42.5%	4,565	17.7%	2,499	38.3%
海産物	3,198	8.8%	1,321	12.5%	1,386	17.5%	2,446	9.5%	1,101	16.9%
水産食料品	927	2.5%	616	5.8%	607	7.7%	698	2.7%	481	7.4%
農作物	138	0.4%	168	1.6%	101	1.3%	101	0.4%	110	1.7%
酪農品	426	1.2%	161	1.5%	448	5.7%	324	1.3%	240	3.7%
肉	41	0.1%	21	0.2%	10	0.1%	33	0.1%	4	0.1%
肉加工品	80	0.2%	26	0.2%	48	0.6%	64	0.2%	32	0.5%
菓子類	940	2.6%	443	4.2%	587	7.4%	676	2.6%	360	5.5%
その他食料品	300	0.8%	322	3.1%	177	2.2%	224	0.9%	170	2.6%
非食料品	474	1.3%	1,997	19.0%	282	3.6%	325	1.3%	676	10.4%
工芸品・装飾品	282	0.8%	1,054	10.0%	104	1.3%	220	0.9%	492	7.5%
衣類・繊維製品	124	0.3%	377	3.6%	41	0.5%	54	0.2%	40	0.6%
革製品	16	0.0%	258	2.4%	33	0.4%	13	0.1%	36	0.6%
薬・化粧品・虫除け等	13	0.0%	131	1.2%	10	0.1%	10	0.0%	50	0.8%
日用雑貨・旅行用品	38	0.1%	177	1.7%	94	1.2%	28	0.1%	58	0.9%
その他	299	0.8%	338	3.2%	332	4.2%	236	0.9%	239	3.7%
宅急便代	190	0.5%	64	0.6%	145	1.8%	148	0.6%	90	1.4%
その他1	87	0.2%	274	2.6%	188	2.4%	70	0.3%	148	2.3%
その他2	22	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	18	0.1%	0	0.0%
総額	36,374	100.0%	10,532	100.0%	7,915	100.0%	25,777	100.0%	6,529	100.0%

¹⁰ パッケージツアーの利用者宿泊費については、エリアごとに宿泊平均額から旅行会社のマージンを除いた額（釧路：7,789円/阿寒：13,852円/音別：5,513円）に各エリアでの泊数分を乗じて市内収入分を推計

図表 2-7：釧路市における観光消費額（費目別）

（単位：億円）

	日本人						外国人						合計	
	宿泊		日帰り		通過客		宿泊		日帰り					
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比				
宿泊費	92.15	42.3%	0.00	0.0%	0.00	0.0%	9.42	42.8%	0.00	0.0%	101.57	27.8%		
飲食費	63.97	29.3%	11.25	37.8%	34.03	35.9%	5.90	26.8%	0.21	36.4%	115.35	31.6%		
市内交通費	13.55	6.2%	1.78	6.0%	7.07	7.4%	1.51	6.9%	0.04	6.5%	23.95	6.6%		
鉄道	0.51	0.2%	0.08	0.3%	0.49	0.5%	0.06	0.3%	0.00	0.4%	1.14	0.3%		
空港バス	0.87	0.4%	0.05	0.2%	0.50	0.5%	0.09	0.4%	0.00	0.4%	1.51	0.4%		
路線バス	0.59	0.3%	0.05	0.2%	0.46	0.5%	0.06	0.3%	0.00	0.3%	1.17	0.3%		
団体貸切バス	0.16	0.1%	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.02	0.1%	0.00	0.0%	0.18	0.0%		
自家用車ガソリン代	0.61	0.3%	0.20	0.7%	0.73	0.8%	0.06	0.3%	0.00	0.3%	1.60	0.4%		
自家用車駐車場代	0.05	0.0%	0.00	0.0%	0.06	0.1%	0.01	0.0%	0.00	0.0%	0.12	0.0%		
レンタカー代	7.05	3.2%	0.45	1.5%	3.10	3.3%	0.80	3.6%	0.02	2.8%	11.41	3.1%		
レンタカーガソリン代	2.13	1.0%	0.12	0.4%	0.22	0.2%	0.24	1.1%	0.00	0.4%	2.71	0.7%		
レンタカー駐車場代	0.49	0.2%	0.01	0.0%	0.30	0.3%	0.06	0.3%	0.00	0.2%	0.86	0.2%		
タクシー	1.01	0.5%	0.63	2.1%	1.19	1.3%	0.11	0.5%	0.01	1.3%	2.94	0.8%		
自転車・バイク	0.01	0.0%	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.02	0.0%		
その他市内交通費	0.07	0.0%	0.20	0.7%	0.01	0.0%	0.01	0.0%	0.00	0.5%	0.29	0.1%		
娯楽・サービス費	7.42	3.4%	1.43	4.8%	6.08	6.4%	0.81	3.7%	0.03	4.8%	15.77	4.3%		
美術館、博物館、動物園等の入場料	0.78	0.4%	0.22	0.7%	1.32	1.4%	0.08	0.4%	0.01	1.0%	2.41	0.7%		
日帰り温泉入場料	0.61	0.3%	0.05	0.2%	0.77	0.8%	0.06	0.3%	0.00	0.5%	1.49	0.4%		
マッサージ・エステ代	0.59	0.3%	0.07	0.2%	0.24	0.3%	0.06	0.3%	0.00	0.1%	0.97	0.3%		
ゴルフ場利用料	1.02	0.5%	0.84	2.8%	0.30	0.3%	0.12	0.5%	0.01	1.7%	2.30	0.6%		
観光ガイド	0.43	0.2%	0.00	0.0%	0.30	0.3%	0.05	0.2%	0.00	0.2%	0.79	0.2%		
その他娯楽サービス費	3.99	1.8%	0.25	0.9%	3.13	3.3%	0.43	1.9%	0.01	1.3%	7.82	2.1%		
買い物代	39.09	17.9%	14.33	48.2%	43.70	46.1%	4.18	19.0%	0.28	48.6%	101.58	27.8%		
食料品	36.25	16.6%	8.69	29.2%	40.32	42.5%	3.90	17.7%	0.22	38.3%	89.38	24.5%		
海産物	19.16	8.8%	3.73	12.5%	16.61	17.5%	2.09	9.5%	0.10	16.9%	41.69	11.4%		
水産食料品	5.56	2.5%	1.74	5.8%	7.28	7.7%	0.60	2.7%	0.04	7.4%	15.21	4.2%		
農作物	0.83	0.4%	0.47	1.6%	1.21	1.3%	0.09	0.4%	0.01	1.7%	2.61	0.7%		
酪農品	2.55	1.2%	0.45	1.5%	5.37	5.7%	0.28	1.3%	0.02	3.7%	8.68	2.4%		
肉	0.24	0.1%	0.06	0.2%	0.12	0.1%	0.03	0.1%	0.00	0.1%	0.45	0.1%		
肉加工品	0.48	0.2%	0.07	0.2%	0.58	0.6%	0.05	0.2%	0.00	0.5%	1.19	0.3%		
菓子類	5.63	2.6%	1.25	4.2%	7.03	7.4%	0.58	2.6%	0.03	5.5%	14.52	4.0%		
その他食料品	1.80	0.8%	0.91	3.1%	2.13	2.2%	0.19	0.9%	0.01	2.6%	5.04	1.4%		
非食料品	2.84	1.3%	5.64	19.0%	3.38	3.6%	0.28	1.3%	0.06	10.4%	12.20	3.3%		
工芸品・装飾品	1.69	0.8%	2.98	10.0%	1.25	1.3%	0.19	0.9%	0.04	7.5%	6.15	1.7%		
衣類・繊維製品	0.75	0.3%	1.07	3.6%	0.49	0.5%	0.05	0.2%	0.00	0.6%	2.35	0.6%		
革製品	0.10	0.0%	0.73	2.4%	0.40	0.4%	0.01	0.1%	0.00	0.6%	1.24	0.3%		
薬・化粧品・虫除け等	0.08	0.0%	0.37	1.2%	0.12	0.1%	0.01	0.0%	0.00	0.8%	0.58	0.2%		
日用雑貨・旅行用品	0.23	0.1%	0.50	1.7%	1.13	1.2%	0.02	0.1%	0.01	0.9%	1.88	0.5%		
その他	1.79	0.8%	0.96	3.2%	3.98	4.2%	0.20	0.9%	0.02	3.7%	6.95	1.9%		
宅急便代	1.14	0.5%	0.18	0.6%	1.73	1.8%	0.13	0.6%	0.01	1.4%	3.19	0.9%		
その他1	0.52	0.2%	0.77	2.6%	2.25	2.4%	0.06	0.3%	0.01	2.3%	3.62	1.0%		
その他2	0.13	0.1%	0.00	0.0%	0.00	0.0%	0.02	0.1%	0.00	0.0%	0.15	0.0%		
総額	217.97	100.0%	29.75	100.0%	94.86	100.0%	22.02	100.0%	0.57	100.0%	365.17	100.0%		

5 観光消費による経済波及効果

(1) 産業連関表の作成

平成23年の釧路市産業連関表をもとに、第3次産業部門のうち観光関連部門を細分化、さらに第2次産業部門の一部を統合した「観光分析用52部門」の連関表を作成しました。

(2) 経済波及効果の推計過程

① 観光消費品目の連関表部門分類への配分

産業連関分析を行うため、日本人来訪客アンケートに掲載した観光消費品目（宿泊費、交通費、飲食費等）毎に算出されている観光消費額を連関表の52部門分類へと配分しました。

図表 2-8：観光消費品目分類と連関表部門分類の対応

観光消費品目		観光消費額	釧路市52部門分類(観光分析用)		
A. 宿泊費	宿泊費	101.57	47 宿泊業		
B. 飲食費	飲食費	115.35	48 飲食サービス		
C. 交通費	鉄道	1.14	38 その他の運輸		
	空港バス	1.51	37 道路旅客輸送		
	路線バス	1.17	37 道路旅客輸送		
	団体貸切バス	0.18	37 道路旅客輸送		
	自家用車ガソリン代	1.60	18 石油・石炭製品		
	自家用車駐車場代	0.12	38 その他の運輸		
	レンタカー代	11.41	45 貸自動車業		
	レンタカー代ガソリン代	2.71	18 石油・石炭製品		
	レンタカー駐車場代	0.86	38 その他の運輸		
	タクシー	2.94	37 道路旅客輸送		
	自転車・バイク	0.02	38 その他の運輸		
	その他市内交通費	0.29	38 その他の運輸		
	D. 娯楽サービス費	美術館、博物館、動物園	2.41	49 娯楽サービス	
		日帰り温泉入場料	1.49	50 その他の対個人サービス	
マッサージ・エステ代		0.97	50 その他の対個人サービス		
ゴルフ場利用料		2.30	49 娯楽サービス		
観光ガイド		0.79	50 その他の対個人サービス		
その他娯楽サービス費		7.82	50 その他の対個人サービス		
E. 買物代 (食料品)		海産物	41.69	3 漁業	
	水産食料品	15.21	7 水産食料品		
	農作物	2.61	1 農業		
	酪農品	8.68	6 と畜・肉・酪農		
	肉	0.45	6 と畜・肉・酪農		
	肉加工品	1.19	6 と畜・肉・酪農		
	菓子類	14.52	8 その他の食料品		
	その他食品	5.04	8 その他の食料品		
	(非食料品)	工芸品・装飾品	1.27	13 製材・木製品	
			2.75	20 窯業・土石製品	
			2.13	28 その他の製造工業製品	
		衣類・繊維製品	2.35	11 繊維工業製品	
		革製品	1.24	28 その他の製造工業製品	
		薬・化粧品・虫除け	0.58	17 化学製品	
		日用雑貨・旅行用品	1.88	28 その他の製造工業製品	
		F. その他	宅急便代	3.19	38 その他の運輸
			その他1	3.62	28 その他の製造工業製品
その他2			0.15	50 その他の対個人サービス	

注) 以下の観光消費品目の釧路市50部門分類への変換方法は次の通り。

・「海産物」「水産食料品」: 両者を合算したのち、以下のシェアで按分

漁業: 水産食料品 = (「漁業」市内生産額 - 釧路市設魚揚場取扱金額) : 「水産食料品」市内生産額

・「工芸品・装飾品」: 「製材・木製品」「窯業・土石製品」「その他の製造工業製品」の市内生産額シェアで按分

② 購入者価格から生産者価格への変換

産業別の観光消費額（購入者価格）から第一次産業及び第二次産業の各産業で発生する「商業マージン」「貨物運賃」をそれぞれ「商業」「その他の運輸」の産業に配分し、生産者価格ベースの観光消費額に変換しました。なお、商業マージン率（商業マージンを購入者価格で除した値）（b列）および貨物運賃率（c列）は釧路市産業連関表の投入係数表（取引基本表の中間需要の列部門ごとに、原材料等の投入額を当該部門の生産額で除して得た係数表）における「商業」および「その他の運輸」の各行の数値を引用しました。

図表 2-9：購入者価格から生産者価格への変換

釧路市52部門分類（観光分析用）	a	b	c	d=a×b	e=a×c	f=a-(d+e)
	観光消費額 （購入者価格）	商業 マージン率	貨物 運賃率	32. 商業	36. その他 の運輸	観光消費額 （生産者価格）
1 農業	2.61	0.03469	0.03625	0.09	0.09	2.42
2 林業	0.00	0.01064	0.02892	0.00	0.00	0.00
3 漁業	41.69	0.06029	0.01921	2.51	0.80	38.37
4 石炭	0.00	0.01821	0.03244	0.00	0.00	0.00
5 その他の鉱物	0.00	0.04448	0.02663	0.00	0.00	0.00
6 と畜・肉・酪農	10.31	0.05062	0.03639	0.52	0.38	9.42
7 水産食料品	15.21	0.13720	0.03761	2.09	0.57	12.55
8 その他の食料品	19.56	0.07886	0.03375	1.54	0.66	17.36
9 飲料	0.00	0.07560	0.03170	0.00	0.00	0.00
10 飼料・肥料	0.00	0.08220	0.28846	0.00	0.00	0.00
11 繊維工業製品	2.35	0.08693	0.02060	0.20	0.05	2.10
12 衣服・その他の繊維製品	0.00	0.10785	0.01951	0.00	0.00	0.00
13 製材・木製品	1.27	0.07657	0.04078	0.10	0.05	1.12
14 家具・装備品	0.00	0.09884	0.03673	0.00	0.00	0.00
15 パルプ・紙製品	0.00	0.05280	0.03309	0.00	0.00	0.00
16 印刷・製版・製本	0.00	0.08021	0.03374	0.00	0.00	0.00
17 化学製品	0.58	0.03475	0.11876	0.02	0.07	0.49
18 石油・石炭製品	4.31	0.04473	0.07650	0.19	0.33	3.79
19 プラスチック・ゴム製品	0.00	0.06542	0.01592	0.00	0.00	0.00
20 窯業・土石製品	2.75	0.04540	0.08154	0.12	0.22	2.40
21 鉄鋼	0.00	0.10004	0.04661	0.00	0.00	0.00
22 非鉄金属	0.00	0.04242	0.02990	0.00	0.00	0.00
23 金属製品	0.00	0.07060	0.02879	0.00	0.00	0.00
24 一般機械	0.00	0.04552	0.01512	0.00	0.00	0.00
25 電気機械	0.00	0.04637	0.01866	0.00	0.00	0.00
26 輸送機械	0.00	0.05717	0.01924	0.00	0.00	0.00
27 精密機械	0.00	0.05145	0.01731	0.00	0.00	0.00
28 その他の製造工業製品	8.86	0.02763	0.36057	0.24	3.20	5.42
29 建築	0.00	0.09286	0.03456	0.00	0.00	0.00
30 土木	0.00	0.05066	0.03902	0.00	0.00	0.00
31 電力	0.00	0.01800	0.02206	0.00	0.00	0.00
32 ガス・熱供給	0.00	0.01806	0.04132	0.00	0.00	0.00
33 水道・廃棄物処理	0.00	0.02720	0.02043	0.00	0.00	0.00
34 商業	0.00	0.02639	0.02879	0.00	0.00	0.00
35 金融・保険	0.00	0.00723	0.01580	0.00	0.00	0.00
36 不動産	0.00	0.00247	0.00107	0.00	0.00	0.00
37 道路旅客輸送	5.80	0.01499	0.02195	0.00	0.00	5.80
38 その他の運輸	5.61	0.01207	0.07512	0.00	0.00	5.61
39 情報通信	0.00	0.01580	0.01917	0.00	0.00	0.00
40 公務	0.00	0.01284	0.01810	0.00	0.00	0.00
41 教育・研究	0.00	0.01769	0.01885	0.00	0.00	0.00
42 医療・保健	0.00	0.05420	0.01201	0.00	0.00	0.00
43 社会保障	0.00	0.02890	0.00765	0.00	0.00	0.00
44 その他の公共サービス	0.00	0.05042	0.02219	0.00	0.00	0.00
45 貸自動車業	11.41	0.00750	0.01718	0.00	0.00	11.41
46 その他の対事業所サービス	0.00	0.03480	0.01299	0.00	0.00	0.00
47 宿泊業	101.57	0.07964	0.03388	0.00	0.00	101.57
48 飲食サービス	115.35	0.10931	0.02353	0.00	0.00	115.35
49 娯楽サービス	4.71	0.03246	0.01501	0.00	0.00	4.71
50 その他の対個人サービス	11.21	0.03580	0.01680	0.00	0.00	11.21
51 事務用品	0.00	0.21501	0.05131	0.00	0.00	0.00
52 分類不明	0.00	0.01492	0.09854	0.00	0.00	0.00
合計	365.17			7.64	6.42	351.11

サービスについては財貨の取引ではないため、商業マージン及び貨物運賃の控除対象としない。
※b列およびc列は、投入係数表の「商業」「その他の運輸」の各行より引用

(3) 観光消費の経済波及効果の推計方法

●直接効果

直接効果は、観光消費から得た観光関連産業の売上高が、他産業への投入構造を通じて市内産業に波及する前の段階の効果を指します。観光消費額と異なる点は、観光消費額のうち市内で生産されていない商品については、その効果が市外へ漏出するため、当該産業の移入性向(=移入額/市内需要合計)分を観光消費額から予め除いた数値が「直接効果」となります。ただし、観光消費額の推計対象は市内で行われる観光消費活動に限定されることから、「道路旅客輸送」「その他の運輸」「貸自動車業」「宿泊業」「飲食サービス」「娯楽サービス」「その他の対個人サービス」「事務用品」の各産業については100%市内自給として取り扱うことにしました。

(I-M)F

I：単位行列

M：移入係数行列（52行52列の対角行列）（運輸機関や個人サービスを0としている）

F：最終需要¹¹（ここでは、産業別の観光対応売上高が52行1列に並ぶ）

●生産波及効果（直接効果＋一次効果、家計迂回を除くケース）

我が国で一般的に用いられる競争輸入型の生産波及モデルとしています。

[I-(I-M)A] - 1(I-M)F

I：単位行列

A：投入係数表（52行52列）

M：移入係数行列（52行52列の対角行列）（AにかかるMでは運輸機関やサービス部門を0と置かず、最終需要FにかかるMでは0としている）

F：最終需要（ここでは、産業別の観光対応売上高が52行1列に並ぶ）

¹¹ 生産および輸入された財やサービスのうち、産業などの原材料などとして再び生産過程に入り、中間消費されるのではなく、家計や一般政府の消費あるいは資本形成などとして最終的に需要されるものを指す。

●生産波及効果（直接効果＋一次効果＋二次効果、家計迂回を含むケース）

観光消費による観光関連部門の売上増は、他産業への中間投入という形で生産波及効果を生む一方で、当該産業での雇用者所得や営業余剰となって、そこから一定の額が消費等へと迂回します。ここでは、雇用者所得の増加を通じた家計消費の増加のみを波及効果に組み入れたモデルを用いました。

$$\begin{pmatrix} \mathbf{I} - (\mathbf{I} - \mathbf{M})\mathbf{A} - (\mathbf{I} - \mathbf{M})\mathbf{C} & - & (\mathbf{I} - \mathbf{M})\mathbf{C} \\ & -\mathbf{V} & \mathbf{1} \end{pmatrix}^{-1} \begin{pmatrix} \mathbf{I} - \mathbf{M} \\ \mathbf{1} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} \mathbf{F} \\ \mathbf{0} \end{pmatrix}$$

V：雇用者所得／市内生産額（1行 52列）

C：家計消費の消費性向¹²を連関表最終消費額の業種別構成比で配分した行列（52行 1列）

（消費性向には、総務省「家計調査（平成 27 年）」における北海道の勤労者世帯の可処分所得率 0.821×消費性向 0.728=0.598 を用いた。）

M：移入係数行列（52行 52列の対角行列）（A 及び C にかかる M では運輸機関や個人サービスを 0 と置かず、最終需要 F にかかる M では 0 と置いている）

<付加価値効果>

産業連関表における各産業の市内生産額は、中間投入（内生部門計）と付加価値（粗付加価値部門計）から成り立っています。後者から、家計外消費支出を除いたものが、国民経済計算における GDP (=Gross Domestic Product) に対応する数字となります。

付加価値比率 = (粗付加価値部門計 - 家計外消費支出) / 市内生産額

付加価値効果 = 生産波及効果 × 付加価値比率

<雇用誘発効果>

雇用誘発効果は平成 27 年の釧路市就業者数を用いて推計するため、日本標準産業分類に組み替えて算出しました。なお、ここでの雇用誘発効果は、個人業主や家族従事者、有給役員や臨時・日雇いを含んだ「就業者数」の創出効果を指します。

雇用誘発効果の推計は、3つの生産波及効果（直接効果、迂回効果を除く場合、迂回効果を含む場合）に就業係数を乗じて推計しました。

¹² 所得に対する消費の割合

就業者係数＝就業者数（74,840）／粗付加価値（593,094,249,000）¹³
 雇用誘発効果＝生産波及効果×就業者係数

図表 2-10：就業者係数の算出

日本標準産業分類	(単位:千円)		(単位:人)	(単位:人/億円)
	粗付加価値	就業者数	就業係数 (粗付加価値1億円 当たり就業者 数)	
A 農業, 林業	2,821,175	1,048	37.15	
B 漁業	5,646,334	631	11.18	
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	5,408,695	437	8.08	
D 建設業	23,008,687	6,533	28.39	
E 製造業	66,303,291	6,712	10.12	
F 電気・ガス・熱供給・水道業	15,267,473	505	3.31	
G 情報通信業	20,600,234	514	2.50	
H 運輸業, 郵便業	道路旅客輸送業	3,734,644	653	17.48
	その他	43,029,406	4,687	10.89
I 卸売業, 小売業	86,119,357	12,978	15.07	
J 金融業, 保険業	28,367,196	1,689	5.95	
K 不動産業, 物品賃貸業	86,480,194	1,128	1.30	
L 学術研究, 専門・技術サービス業	24,605,485	5,017	20.39	
O 教育, 学習支援業				
M 宿泊業, 飲食サービス業	宿泊業	3,949,398	931	23.57
	飲食店	10,600,174	3,400	32.07
N 生活関連サービス業, 娯楽業	14,013,247	2,940	20.98	
P 医療, 福祉	59,033,450	10,612	17.98	
Q 複合サービス事業	43,535,292	6,177	14.19	
R サービス業(他に分類されないもの)				
S 公務(他に分類されるものを除く)	47,535,843	3,544	7.46	
T 分類不能の産業	3,034,675	4,704	155.01	
合計	593,094,249	74,840	12.62	

出所：「釧路市産業連関表」（粗付加価値）、総務省「平成 27 年国勢調査」（就業者数）

¹³ 粗付加価値は、産業連関表の部門分類毎の数値を対応する日本標準産業分類に当てはめたものである。

＜税収効果＞

税収効果とは、生産波及効果のうち、雇用者所得に回る分から見込まれる税収額相当分を指します。推計にあたっては、税収係数を個人（0.01707）¹⁴と法人（0.00297）¹⁵別に算出し、税収係数に雇用者所得効果（個人）と生産波及効果（法人）を乗じました。

$\begin{aligned} <個人>税収効果 = 雇用者所得効果（117 億円） \times <個人>税収係数（0.01707） = 1.99 億円 \\ <法人>税収効果 = 生産波及効果（422 億円） \times <法人>税収係数（0.00297） = 1.25 億円 \\ <合計>税収効果 = <個人>1.99 億円 + <法人>1.25 億円 = 3.24 億円 \end{aligned}$

¹⁴ 市民税＜個人＞（平成 28 年釧路市市税概要）を所得＜個人＞（平成 26 年市民経済計算年報）で除した値。

¹⁵ 市民税＜法人＞（平成 28 年釧路市市税概要）を市内総生産（平成 26 年市民経済計算年報）で除した値。

(4) 釧路市における経済波及効果の推計結果

～釧路市における生産波及効果は 422 億円に

釧路市における観光消費の生産波及効果は、家計迂回を含む場合で **421.77 億円**、付加価値効果は **206.38 億円**、雇用誘発効果は **3,986 人**、税収効果は **3.24 億円**と推計されます。

図表 2-11：釧路市における観光消費の生産波及効果（52 部門分類）

部門分類	観光消費額		自給率 (観光分析用)	生産波及効果			付加価値 比率	付加価値効果		
	購入者 価格	生産者 価格		直接効果	波及効果	波及効果		直接効果	波及効果	波及効果
					(直接 +1次)	(直接+1次 +2次)			(直接 +1次)	(直接+1次 +2次)
1 農業	2.61	2.42	31.2%	0.76	3.60	4.01	0.34	0.26	1.23	1.37
2 林業	0.00	0.00	47.6%	0.00	0.44	0.49	0.55	0.00	0.24	0.27
3 漁業	41.69	38.37	49.3%	18.90	21.44	22.03	0.53	10.01	11.36	11.67
4 石炭	0.00	0.00	11.1%	0.00	0.04	0.08	0.58	0.00	0.02	0.05
5 その他の鉱物	0.00	0.00	41.1%	0.00	0.25	0.40	0.33	0.00	0.08	0.13
6 と畜・肉・酪農	10.31	9.42	10.4%	0.98	2.01	2.08	0.21	0.20	0.42	0.43
7 水産食料品	15.21	12.55	52.3%	6.56	10.54	10.98	0.23	1.50	2.42	2.52
8 その他の食料品	19.56	17.36	12.8%	2.23	4.41	4.67	0.33	0.75	1.47	1.56
9 飲料	0.00	0.00	1.3%	0.00	0.19	0.20	0.37	0.00	0.07	0.08
10 飼料・肥料	0.00	0.00	14.1%	0.00	0.09	0.16	0.13	0.00	0.01	0.02
11 繊維工業製品	2.35	2.10	15.6%	0.33	0.42	0.43	0.31	0.10	0.13	0.14
12 衣服・その他の繊維製品	0.00	0.00	2.2%	0.00	0.04	0.05	0.39	0.00	0.01	0.02
13 製材・木製品	1.27	1.12	12.7%	0.14	0.22	0.29	0.35	0.05	0.08	0.10
14 家具・装備品	0.00	0.00	2.3%	0.00	0.02	0.02	0.35	0.00	0.01	0.01
15 パルプ・紙製品	0.00	0.00	12.7%	0.00	0.17	0.48	0.28	0.00	0.05	0.14
16 印刷・製版・製本	0.00	0.00	21.3%	0.00	0.14	0.25	0.51	0.00	0.07	0.13
17 化学製品	0.58	0.49	1.1%	0.01	0.02	0.05	0.41	0.00	0.01	0.02
18 石油・石炭製品	4.31	3.79	1.2%	0.05	0.15	0.19	0.37	0.02	0.06	0.07
19 プラスチック・ゴム製品	0.00	0.00	6.7%	0.00	0.13	0.20	0.33	0.00	0.04	0.07
20 窯業・土石製品	2.75	2.40	19.0%	0.46	0.58	0.67	0.41	0.19	0.24	0.28
21 鉄鋼	0.00	0.00	7.9%	0.00	0.02	0.06	0.22	0.00	0.00	0.01
22 非鉄金属	0.00	0.00	0.6%	0.00	0.00	0.00	0.28	0.00	0.00	0.00
23 金属製品	0.00	0.00	29.0%	0.00	0.29	0.57	0.26	0.00	0.08	0.15
24 一般機械	0.00	0.00	17.3%	0.00	0.09	0.30	0.40	0.00	0.04	0.12
25 電気機械	0.00	0.00	1.2%	0.00	0.01	0.02	0.34	0.00	0.00	0.01
26 輸送機械	0.00	0.00	4.8%	0.00	0.09	0.14	0.38	0.00	0.03	0.05
27 精密機械	0.00	0.00	1.0%	0.00	0.00	0.00	0.38	0.00	0.00	0.00
28 その他の製造工業製品	8.86	5.42	4.6%	0.25	0.30	0.34	0.35	0.09	0.11	0.12
29 建築	0.00	0.00	100.0%	0.00	1.61	4.02	0.43	0.00	0.69	1.72
30 土木	0.00	0.00	100.0%	0.00	0.00	1.42	0.45	0.00	0.00	0.64
31 電力	0.00	0.00	54.8%	0.00	3.74	4.99	0.36	0.00	1.36	1.81
32 ガス・熱供給	0.00	0.00	100.0%	0.00	2.50	2.85	0.32	0.00	0.79	0.90
33 水道・廃棄物処理	0.00	0.00	91.9%	0.00	8.95	10.15	0.51	0.00	4.61	5.23
34 商業	0.00	0.00	57.4%	0.00	15.40	21.03	0.68	0.00	10.41	14.21
35 金融・保険	0.00	0.00	83.0%	0.00	3.46	6.73	0.66	0.00	2.27	4.42
36 不動産	0.00	0.00	95.1%	0.00	5.36	12.44	0.79	0.00	4.26	9.89
37 道路旅客輸送	5.80	5.80	100.0%	5.80	6.05	6.40	0.73	4.22	4.40	4.66
38 その他の運輸	5.61	5.61	100.0%	5.61	12.40	15.30	0.58	3.27	7.23	8.92
39 情報通信	0.00	0.00	56.9%	0.00	4.01	6.46	0.54	0.00	2.17	3.50
40 公務	0.00	0.00	100.0%	0.00	0.16	4.49	0.71	0.00	0.12	3.17
41 教育・研究	0.00	0.00	88.6%	0.00	0.32	2.31	0.76	0.00	0.24	1.76
42 医療・保健	0.00	0.00	94.8%	0.00	0.03	3.58	0.56	0.00	0.02	2.01
43 社会保障	0.00	0.00	93.7%	0.00	0.00	1.29	0.73	0.00	0.00	0.94
44 その他の公共サービス	0.00	0.00	84.1%	0.00	1.03	1.57	0.56	0.00	0.57	0.88
45 貸自動車業	11.41	11.41	100.0%	11.41	12.82	13.14	0.75	8.54	9.60	9.84
46 その他の対事業所サービス	0.00	0.00	64.3%	0.00	8.74	13.69	0.58	0.00	5.05	7.91
47 宿泊業	101.57	101.57	100.0%	101.57	101.57	101.60	0.44	44.53	44.53	44.54
48 飲食サービス	115.35	115.35	100.0%	115.35	116.59	117.64	0.40	45.74	46.23	46.65
49 娯楽サービス	4.71	4.71	100.0%	4.71	4.82	5.20	0.65	3.04	3.11	3.36
50 その他の対個人サービス	11.21	11.21	100.0%	11.21	12.74	13.59	0.66	7.40	8.41	8.97
51 事務用品	0.00	0.00	100.0%	0.00	0.57	0.75	0.00	0.00	0.00	0.00
52 分類不明	0.00	0.00	99.0%	0.00	1.27	1.93	0.48	0.00	0.60	0.92
合計	365.17	351.11		286.31	369.83	421.77		129.92	174.96	206.38
				乗数	1.29	1.47		乗数	1.36	1.59

釧路市内で行われる観光消費活動に限定されるため、100%市内自給とする。

III 釧路市における観光消費の実態

1 釧路市を訪れる来訪客の実態

本調査で実施した「日本人来訪客アンケート調査」の結果から、釧路市を訪れる来訪客の実態を把握しました。

【集計の対象】

日本国内に居住する15歳以上の男女のうち過去1年間（2016年9月～2017年8月）に1回以上釧路市を訪れた人（ただし、釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村、白糠町の住民を除く）

【調査結果参照にあたって（クロス集計の際のサンプル数について）】

本報告書では、今回回収したサンプルの「全体」（1,548 サンプル）の集計結果に加え、「来訪経験別」、「来訪目的別」「宿泊・日帰り」「通過客別」のクロス集計結果を記載している箇所があります。

<来訪経験別>

「はじめて」（499 サンプル）「2～9 回目」（751 サンプル）「10 回以上」（298 サンプル）で構成されています。

<来訪目的別>

「来訪目的」の11の選択肢を「観光・レジャー」（選択肢における「観光・レジャー」、「ビジネス」（選択肢における「展示会・見本市」「社内会議」「研修」「商談その他ビジネス」「国際会議」の5つを集約）、「その他」（「親族・知人訪問」「学校関連の旅行」「イベント」「スポーツ・合宿」「その他」の5つを集約）の3つに分類しています。サンプル数は「観光・レジャー」（1,132 サンプル）、「ビジネス」（251 サンプル）、「その他」（165 サンプル）となっています。

<宿泊客・日帰り客・通過客>

「宿泊客」（1,157 サンプル）「日帰り客」（194 サンプル）「通過客」（197 サンプル）で構成されています。

グラフタイトルと合わせて集計対象となるサンプル数を記載しています。

●結果参照にあたっての留意点

アンケート調査結果において各設問における選択肢の構成比の合計が四捨五入による端数処理の関係上、100%にならない場合があります。

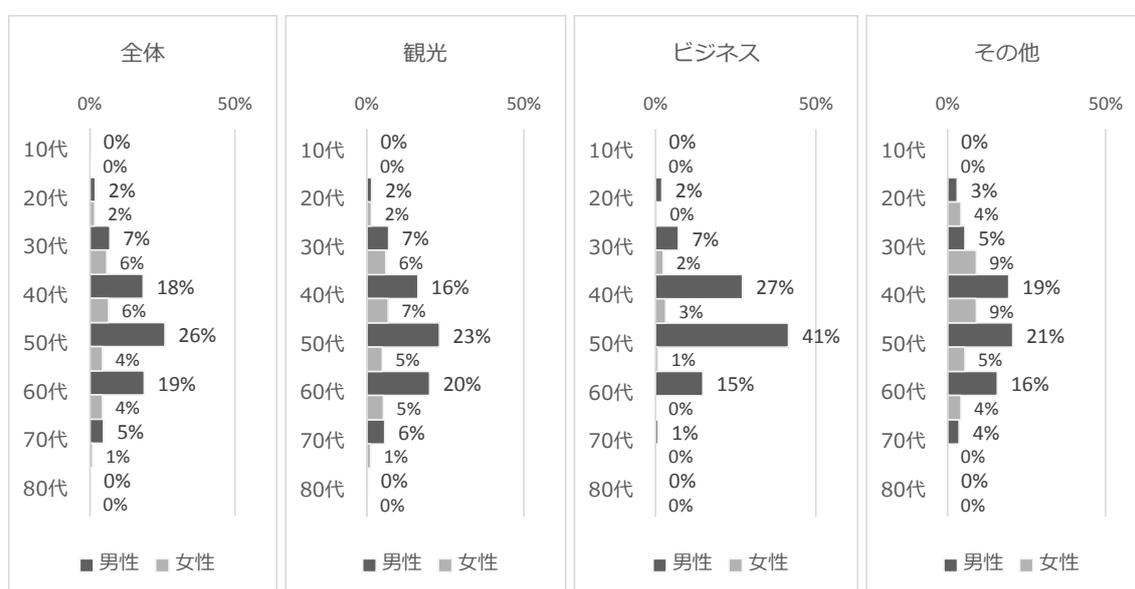
(1) 性別・年代

～ビジネス目的の40代～50代の男性が多い

性別では男性が占める割合が77%、女性が占める割合が23%と男性が多い傾向が見られます。

性年代別では、最も多いのは「男性50代」(26%)、次いで「男性60代」(19%)、「男性40代」(18%)と中高年の男性が続きます。釧路市への来訪目的別にみると、これらの層は「ビジネス」目的での来訪であることがわかります。

図表 3-1：性年代（来訪目的別）（単数回答）【N:全体=1,548/観光=1,132/ビジネス=251/その他=165】

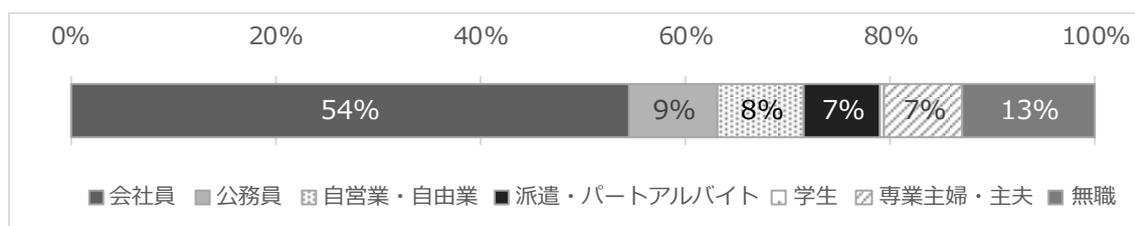


(2) 職業

～会社員が多く、次いで無職が多い

職業では、「会社員」が最も多く(54%)、次いで「無職」(13%)の順となっています。

図表 3-2：職業（単数回答）【N=1,548】



(3) 居住地

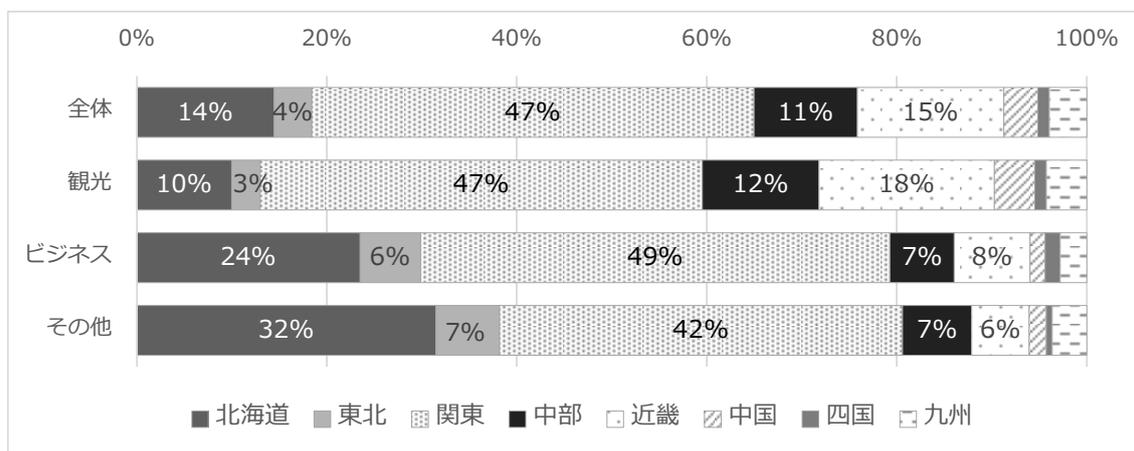
～関東が主要なマーケット、関西、道内と続く

居住地では、「関東」(47%)、次いで「近畿」(15%)、北海道(14%)の順に続きます。来訪客の約半数程度が「関東」からの来訪客となっています。

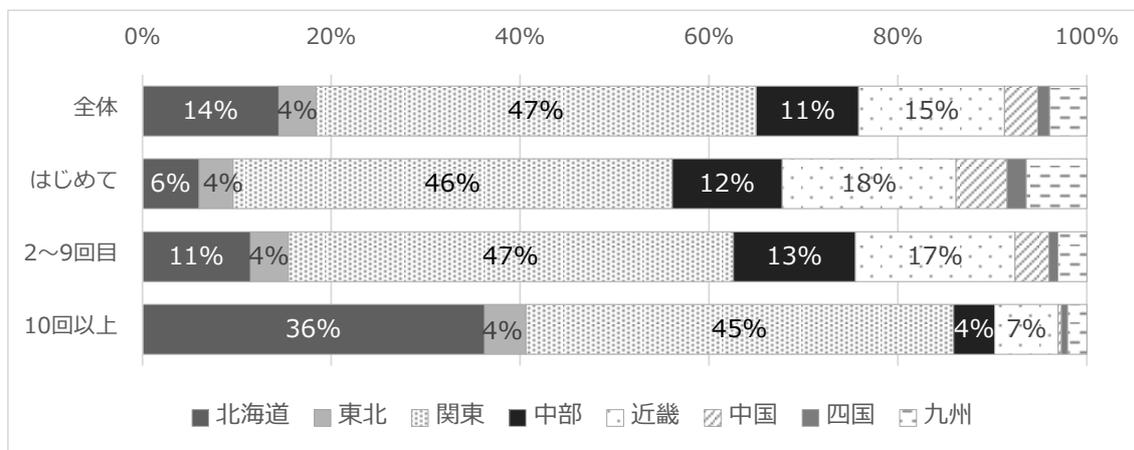
来訪目的別にみると、観光、ビジネスにおいても「関東」が半数程度、その他で4割程度と最も割合が高くなっています。その他については観光目的やビジネス目的に比べ、「北海道」(32%)が高くなっています。

来訪回数別にみると、来訪回数に関わらず「関東」は5割程度となっていますが、10回以上で「北海道」(36%)の割合が高くなっています。

図表 3-3：居住地（来訪目的別）（単数回答）【N:全体=1,548/観光=1,132/ビジネス=251/その他=165】



図表 3-4 居住地（来訪回数別）（単数回答）【N:全体=1,548/はじめて=499/2~9回目=751/10回以上=298】



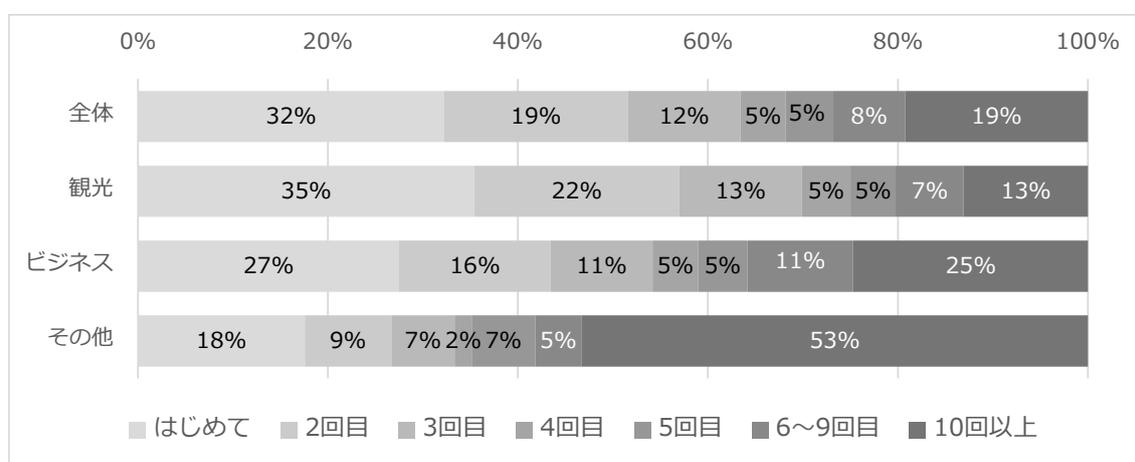
(4) 釧路市への来訪経験回数

～「はじめて」釧路市を訪れた人は3割、「10回以上」は2割

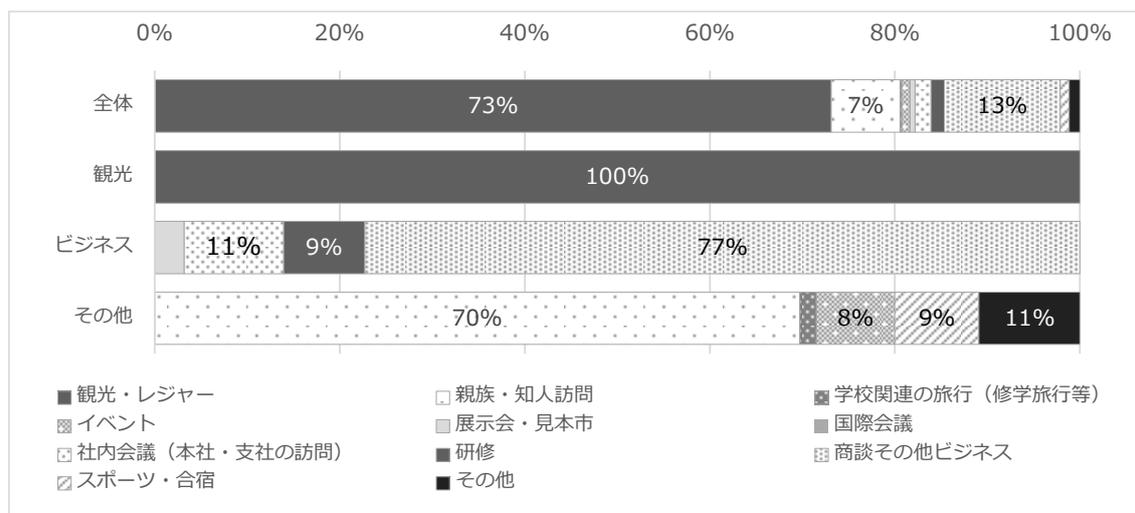
過去1年間に釧路市を訪れた人のうち、「はじめて」釧路市を訪れた人の割合は32%でした。一方で「10回以上」(19%)訪れている人も全体の2割程度となっています。

来訪目的別にみると、「その他」で「10回以上」の人が多く、全体の半数近くを占めています。この背景には「その他」の7割の人が「親族・知人訪問」を目的としていることが影響しているものと考えられます。

図表 3-5 : 釧路市への来訪回数 (単数回答) 【N:全体=1,548/観光=1,132/ビジネス=251/その他=165】



図表 3-6 : 来訪目的の詳細 (単数回答) 【N:全体=1,548/観光=1,132/ビジネス=251/その他=165】

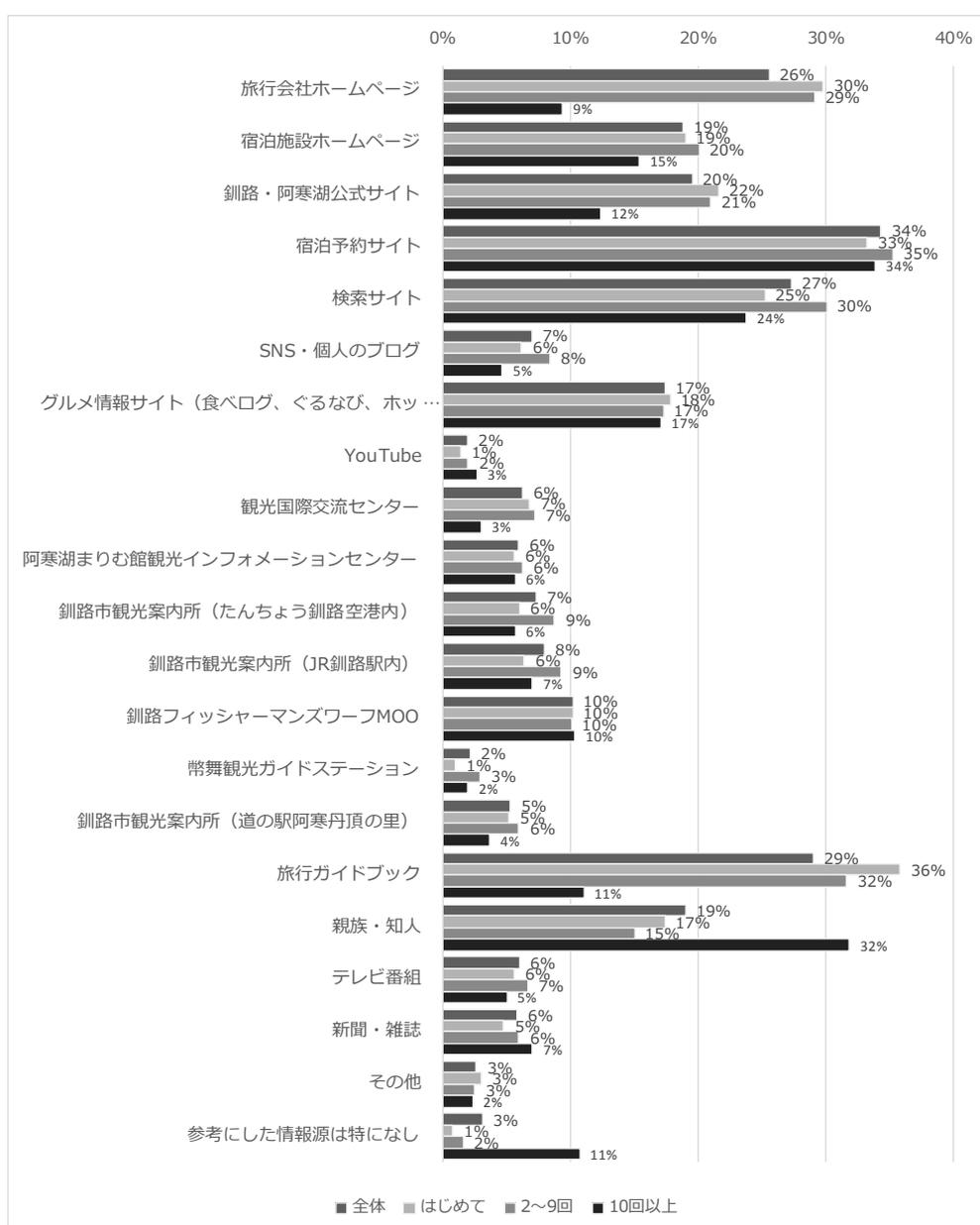


(5) 釧路市来訪にあたっての情報源

～主な情報源は宿泊予約サイト・旅行ガイドブック・検索サイト

情報収集の選択率の上位は「宿泊予約サイト」(34%)、「旅行ガイドブック」(29%)、「検索サイト」(27%)、「旅行会社ホームページ」(26%)等のインターネットを中心に利用されています。市内の観光案内所での情報収集はいずれも10%以下となっています。

図表 3-7：釧路市来訪にあたっての情報源（来訪回数別）（複数回答）【N=1,548】



2 釧路市を訪れる来訪客の旅行内容

(1) 来訪目的

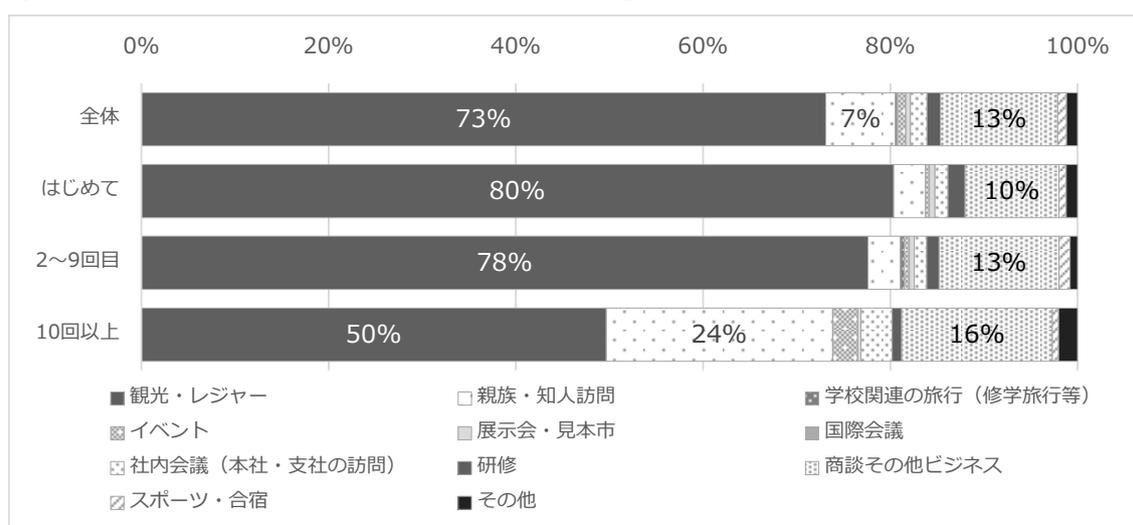
～観光・レジャー目的が7割

釧路市への来訪目的で最も多いのは「観光・レジャー」(73%)、次いで「商談その他ビジネス」(13%)となっています。

来訪回数別にみると、初来訪や2～9回目までのリピーターは「観光・レジャー」が7～8割程度となっていますが、10回目以上になると、「観光・レジャー」の割合が5割程度になり、「親族・知人訪問」(24%)や「商談・その他ビジネス」(16%)等の観光目的以外の来訪が増える傾向がみられます。

図表 3-8：来訪目的（来訪回数別）（単数回答）

【N:全体=1,548/はじめて=499/2～9回目=751/10回以上=298】



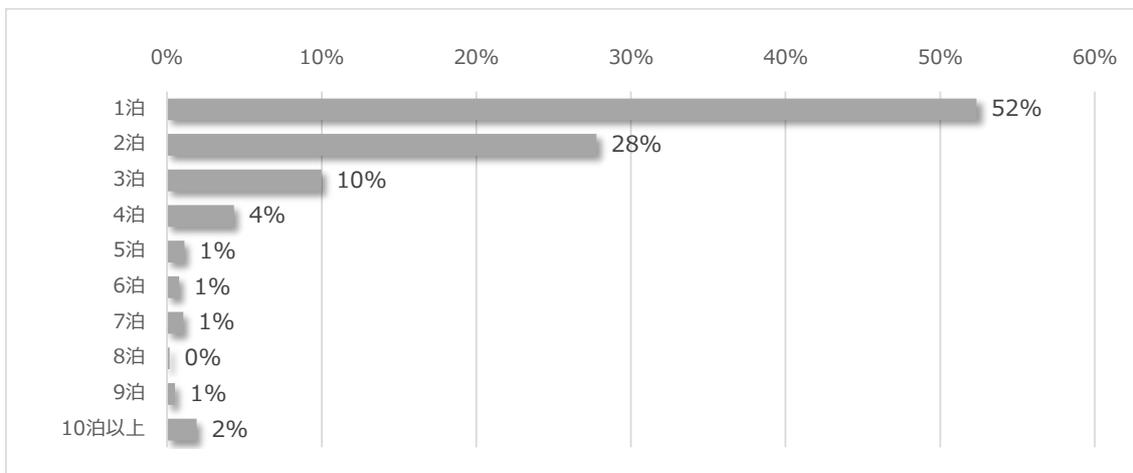
(2) 釧路市内での滞在時間

～平均宿泊数は2.2泊、日帰り客の平均滞在時間は4.9時間、通過客は4.2時間

宿泊客の平均宿泊数は2.2泊、日帰り客の平均滞在時間は4.9時間、通過客は4.2時間となりました。

宿泊客で最も多いのは「1泊」(52%)でおよそ半数程度、次いで「2泊」が3割となっています。近年増加している長期滞在者は今回の調査では2%となっています。

図表 3-9：宿泊数の分布（単数回答）【N=1,157¹⁶】



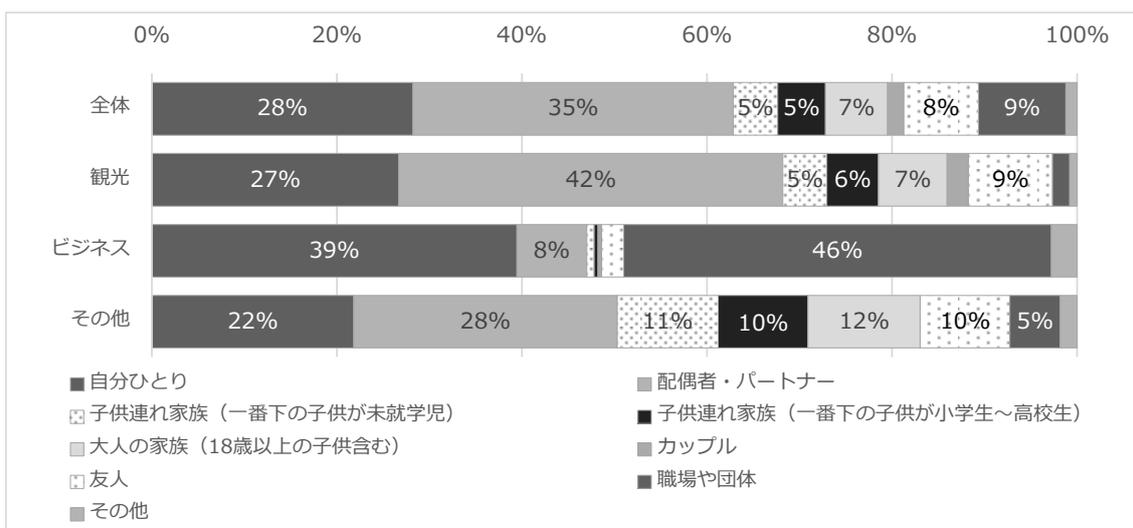
(3) 同行者

～配偶者・パートナーが4割、ひとり旅が3割

来訪に際しての同行者は「配偶者・パートナー」（35%）、「ひとり旅」（28%）の順に高くなっています。

来訪目的別にみると、「ビジネス」では「職場や団体」（46%）「自分ひとり」（39%）の順に多く、一人または同僚との来訪で8割以上となっています。

図表 3-10：同行者（来訪目的別）（単数回答）【N:全体=1,548/観光=1,132/ビジネス=251/その他=165】



¹⁶ 釧路市内で宿泊した人が対象

(4) 交通手段

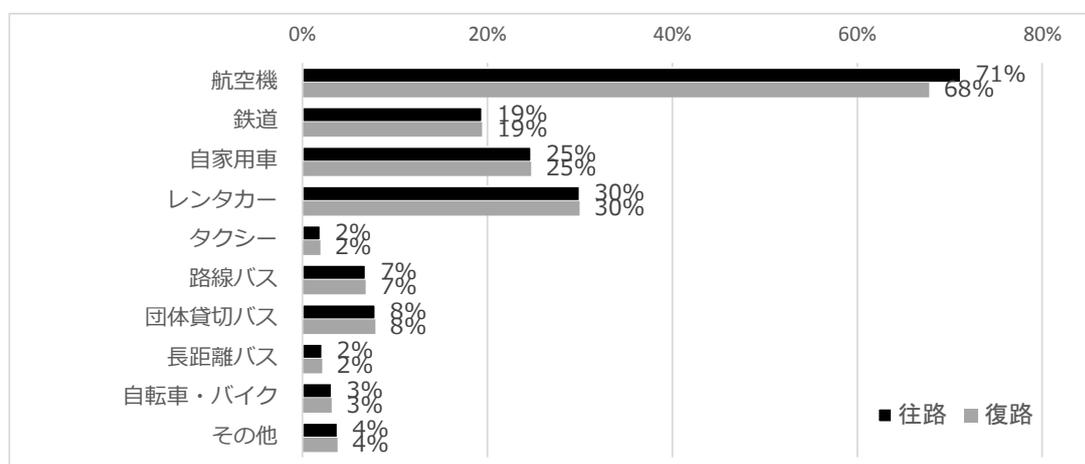
～往路¹⁷・復路¹⁸ともに航空機を利用した人が7割

釧路空港を利用した人が5割、新千歳空港を利用した人が3割

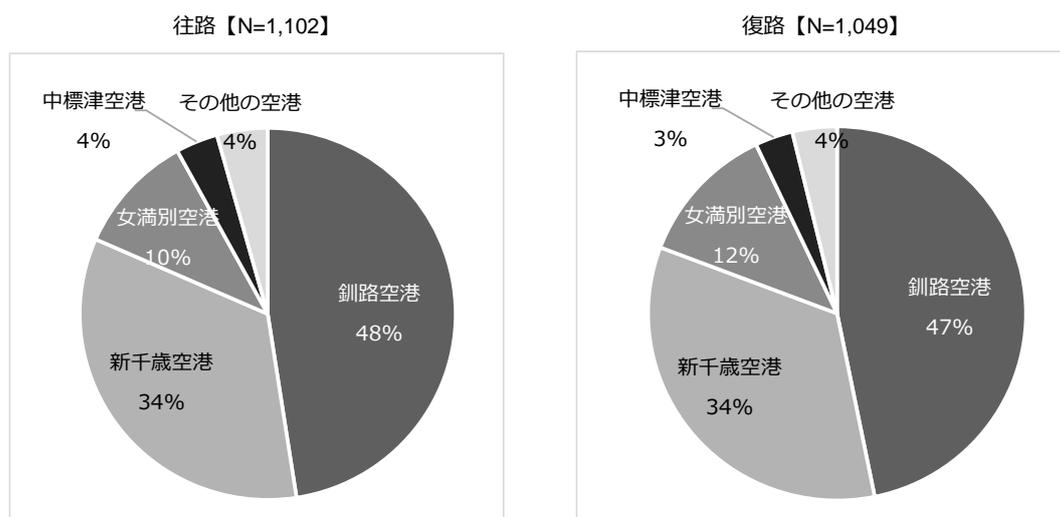
「航空機」を利用した人が往路（71%）、復路（68%）ともに7割程度と最も多く、次いで「レンタカー」が往路（30%）、復路（30%）ともに利用率が高い結果となりました。

利用した空港は、「釧路空港」が往路、復路ともに5割程度、次いで「新千歳空港」が3割程度となっています。

図表 3-11：交通手段（複数回答）【N=1,548】



図表 3-12：利用した空港（単数回答）¹⁹



¹⁷ 自宅から釧路市内に入るまでを指す

¹⁸ 釧路市内から出て自宅までを指す

¹⁹ 往路と復路に「航空機を利用した人」が対象

(5) 利用した宿泊施設

～釧路エリアに宿泊した人が9割

宿泊施設タイプ別ではホテルの利用率が高い

釧路市に宿泊した人のうち9割が釧路エリアに宿泊しています。

来訪目的別のビジネス目的では、釧路エリアの宿泊率が高い（97%）結果となりました。また、その他目的は釧路エリアの「親族・知人宅」（36%）での宿泊率が高い結果となっていることも特徴的です。

阿寒エリアは全体では32%程度となっていますが、観光目的（39%）の宿泊率がやや高くなっています。

図表 3-13：利用した宿泊施設（複数回答）【N：全体=1,157/観光=821/ビジネス=213/その他=123²⁰】

	全体	観光	ビジネス	その他
回答数	1,157	821	213	123
釧路エリア	90%	87%	97%	95%
ホテル	78%	77%	93%	59%
旅館	4%	5%	1%	0%
ペンション・民宿	1%	2%	0%	2%
別荘・コンドミニアム	0%	0%	0%	0%
学校の寮・会社所有の宿泊施設	0%	0%	1%	1%
親族・知人宅	5%	1%	1%	36%
民泊	0%	0%	0%	1%
その他	2%	2%	0%	3%
阿寒エリア	32%	39%	16%	15%
ホテル	21%	25%	12%	11%
旅館	9%	10%	5%	3%
ペンション・民宿	1%	1%	1%	0%
別荘・コンドミニアム	0%	0%	0%	1%
学校の寮・会社所有の宿泊施設	0%	0%	0%	0%
親族・知人宅	0%	0%	0%	2%
民泊	0%	0%	0%	0%
その他	1%	1%	0%	0%
音別エリア	6%	6%	2%	6%
ホテル	3%	4%	1%	6%
旅館	1%	1%	0%	0%
ペンション・民宿	0%	0%	0%	0%
別荘・コンドミニアム	0%	0%	0%	0%
学校の寮・会社所有の宿泊施設	0%	0%	0%	0%
親族・知人宅	0%	0%	0%	0%
民泊	0%	0%	0%	0%
その他	0%	0%	0%	0%

²⁰ 釧路市内で宿泊した人が対象

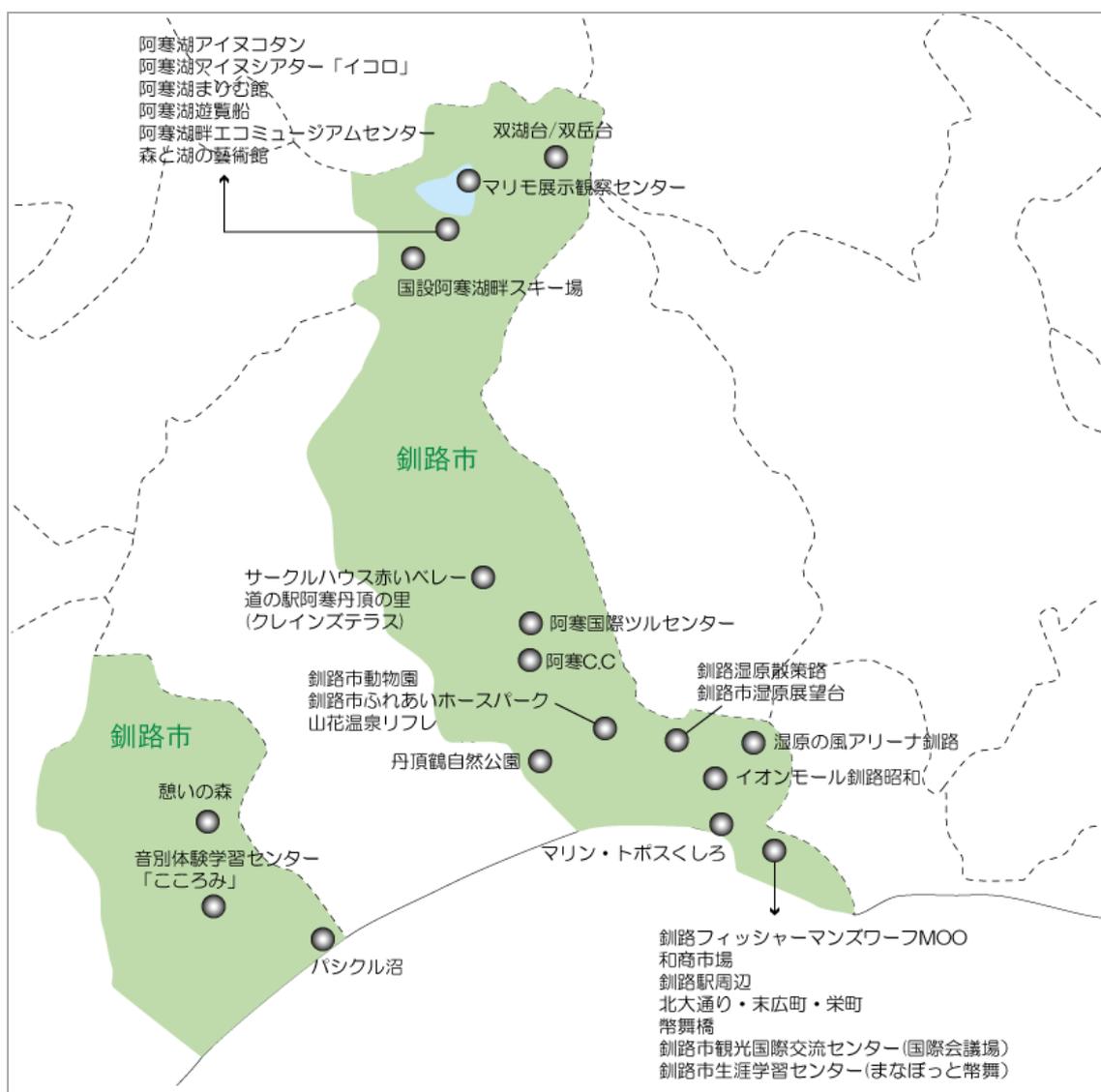
(6) 釧路市内の立ち寄り先

～釧路エリアへは9割、阿寒エリアは5割の人が立ち寄っている

釧路市内のエリア別の立ち寄り率では、釧路エリアが91%、阿寒エリアが52%、音別エリアが5%となっています。

釧路エリアは来訪目的別による訪問率の大きな差はありませんが、阿寒エリアは観光目的での来訪が61%と他の目的と比べ高くなっています。

図表 3-14：釧路市内の立ち寄り先の位置図



図表 3-15 : 釧路市内の立ち寄り先（複数回答）【N:全体=1,548/観光=1,132/ビジネス=251/その他=165】

	全体	観光	ビジネス	その他
回答数	1,548	1,132	251	165
釧路エリア	91%	91%	90%	88%
釧路フィッシャーマンズワーフMOO	43%	42%	44%	46%
和商市場	42%	41%	45%	44%
釧路駅周辺	52%	50%	65%	48%
北大通り・末広町・栄町	25%	21%	32%	38%
幣舞橋	31%	30%	32%	39%
釧路市観光国際交流センター	4%	4%	5%	5%
釧路市生涯学習センター	4%	4%	4%	6%
釧路湿原散策路	32%	39%	16%	12%
釧路市湿原展望台	43%	50%	26%	19%
湿原の風アリーナ釧路	6%	6%	4%	9%
イオンモール釧路昭和	14%	11%	18%	26%
マリン・トポスくしろ	3%	3%	4%	3%
釧路市動物園	9%	9%	6%	14%
釧路市ふれあいホースパーク	3%	3%	1%	2%
山花温泉リフレ	6%	6%	4%	13%
丹頂鶴自然公園	18%	20%	12%	12%
上記以外の釧路エリア内の場所	3%	3%	1%	4%
阿寒エリア	52%	61%	27%	33%
阿寒カントリークラブ	3%	3%	3%	2%
サークルハウス赤いバレー	3%	3%	3%	3%
道の駅阿寒丹頂の里（クレインズテラス）	16%	18%	14%	10%
阿寒国際ツルセンター	8%	9%	6%	5%
双湖台/双岳台	12%	14%	7%	7%
阿寒湖アイヌコタン	27%	31%	15%	19%
阿寒湖アイヌシアター「イコロ」	9%	10%	6%	5%
阿寒湖まりむ館	14%	16%	8%	10%
阿寒湖遊覧船	21%	24%	7%	15%
マリモ展示観察センター	14%	16%	8%	12%
国設阿寒湖畔スキー場	1%	1%	2%	3%
阿寒湖畔エコミュージアムセンター	5%	5%	2%	4%
森と湖の美術館	1%	1%	0%	2%
上記以外の阿寒エリア内の場所	1%	1%	1%	3%
音別エリア	5%	6%	1%	7%
音別体験学習センター「こころみ」	1%	2%	1%	2%
憩いの森	3%	3%	0%	4%
パシカル沼	3%	3%	0%	4%
上記以外の音別エリア内の場所	0%	0%	0%	1%

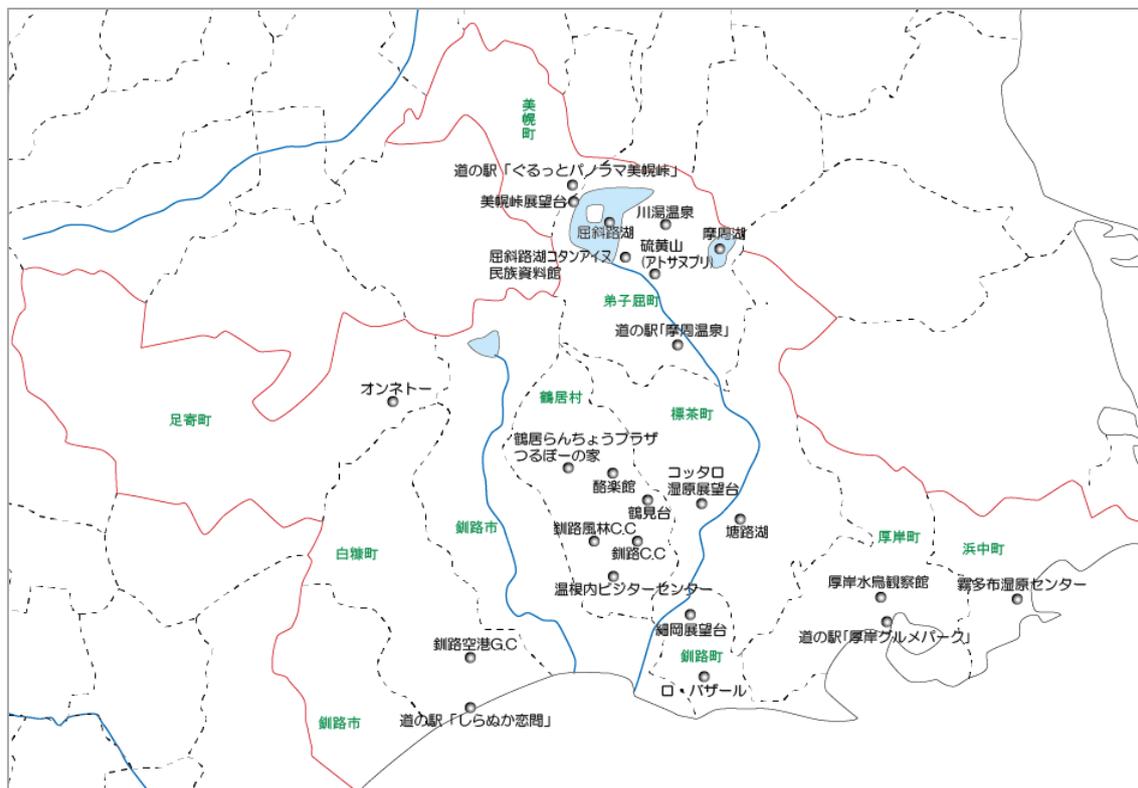
(7) 釧路市周辺町村の立ち寄り先

～弟子屈町への立ち寄りが5割、厚岸町は3割
上記以外の周辺町村への立ち寄り率は2割程度

周辺町村で最も立ち寄り率が高かったのは「弟子屈町」(46%)で釧路市を訪れた人のうち半数程度が立ち寄っていることが分かりました。次いで「厚岸町」(27%)となっています。これら2町を除く町村への立ち寄り率はいずれも2割程度となっています。

また、弟子屈町を訪れた人のうち「摩周湖」(53%)、「屈斜路湖」(41%)への訪問率が高く、特に観光目的の来訪客にその傾向が顕著です。

図表 3-16 : 釧路市周辺町村の立ち寄り先の位置図



図表 3-17：釧路市周辺市町村の立ち寄り先（複数回答）

【N:全体=1,548/観光=1,132/ビジネス=251/その他=165】

	全体	観光	ビジネス	その他
回答数	1,548	1,132	251	165
弟子屈町	46%	53%	25%	33%
美幌峠展望台	32%	37%	16%	20%
川湯温泉	29%	32%	19%	27%
屈斜路湖	41%	47%	22%	30%
摩周湖	53%	62%	30%	29%
屈斜路コタンアイヌ民族資料館	9%	10%	5%	9%
硫黄山	27%	32%	14%	16%
道の駅「摩周温泉」	23%	26%	13%	15%
上記以外の弟子屈町内の場所	1%	1%	0%	0%
標茶町	20%	23%	11%	17%
コッタ口湿原展望台	14%	16%	7%	8%
塘路湖	13%	14%	7%	13%
上記以外の標茶町内の場所	1%	0%	0%	1%
釧路町	18%	20%	10%	16%
細岡展望台	17%	20%	10%	14%
ロ・バザール	2%	2%	1%	2%
上記以外の釧路町内の場所	0%	0%	0%	1%
白糠町	18%	17%	20%	22%
釧路空港ゴルフクラブ	2%	2%	2%	2%
道の駅「しらぬか恋問」	17%	16%	19%	21%
上記以外の白糠町内の場所	1%	1%	1%	1%
鶴居村	20%	22%	12%	16%
釧路カントリークラブ	3%	2%	5%	5%
釧路風林カントリークラブ	2%	1%	2%	4%
温根内ビジターセンター	5%	6%	2%	3%
酪楽館	2%	2%	1%	1%
鶴居たんちょうプラザつるぼーの家	7%	8%	4%	6%
鶴見台	10%	12%	5%	7%
上記以外の鶴居村内の場所	1%	0%	0%	2%
足寄町	22%	25%	11%	17%
オンネトー	22%	25%	11%	17%
上記以外の足寄町内の場所	1%	1%	1%	1%
厚岸町	27%	29%	18%	21%
厚岸水鳥観察館	4%	4%	2%	3%
道の駅「厚岸グルメパーク」	25%	27%	17%	19%
上記以外の厚岸町内の場所	1%	1%	0%	1%
浜中町	14%	16%	8%	12%
霧多布湿原センター	14%	16%	8%	12%
上記以外の浜中町内の場所	1%	1%	0%	1%
美幌町	20%	23%	13%	12%
道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」	20%	23%	12%	11%
上記以外の美幌町内の場所	0%	0%	0%	1%

(8) 満足度・再来訪意向

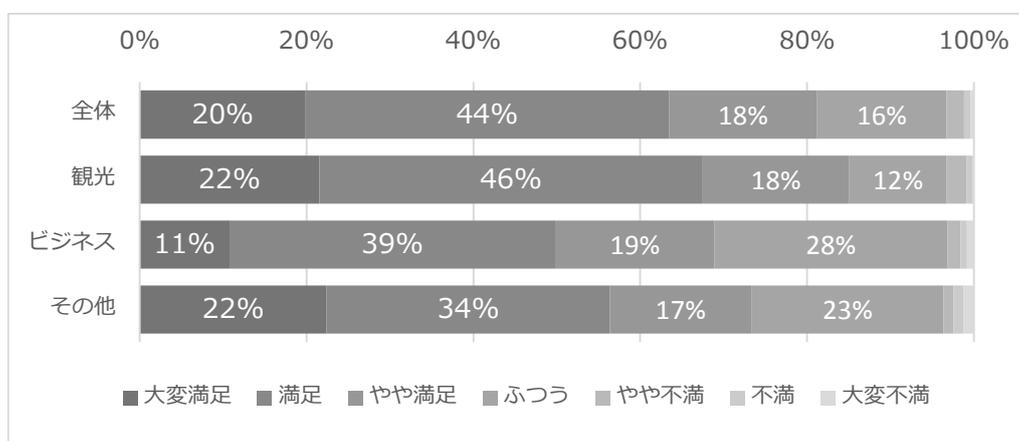
～満足した人²¹は6割、「大変満足」は2割

また釧路を訪れたい人²²は7割、「必ず来たい」は3割

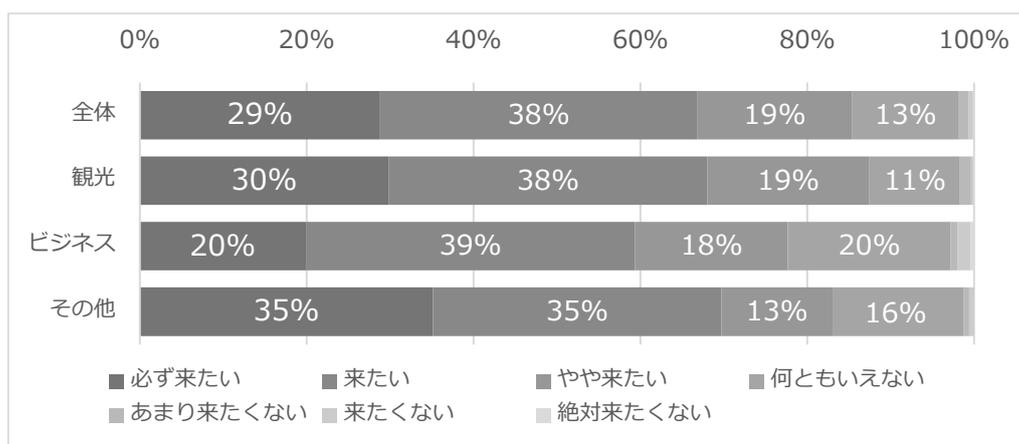
今回の釧路市滞在について満足した人は64%、「大変満足」と回答した人は20%となりました。来訪目的別にみると、満足した人の割合は観光目的の人が最も多く68%となっています。

また、今後、釧路市を訪れたい人は67%、「必ず来たい」と回答した人は29%となりました。

図表 3-18：釧路市滞在の満足度【N:全体=1,548/観光=1,132/ビジネス=251/その他=165】



図表 3-19：釧路市への再来訪意向【N:全体=1,548/観光=1,132/ビジネス=251/その他=165】



²¹ 「大変満足」と「満足」と回答した人の割合

²² 「必ず来たい」と「来たい」と回答した人の割合

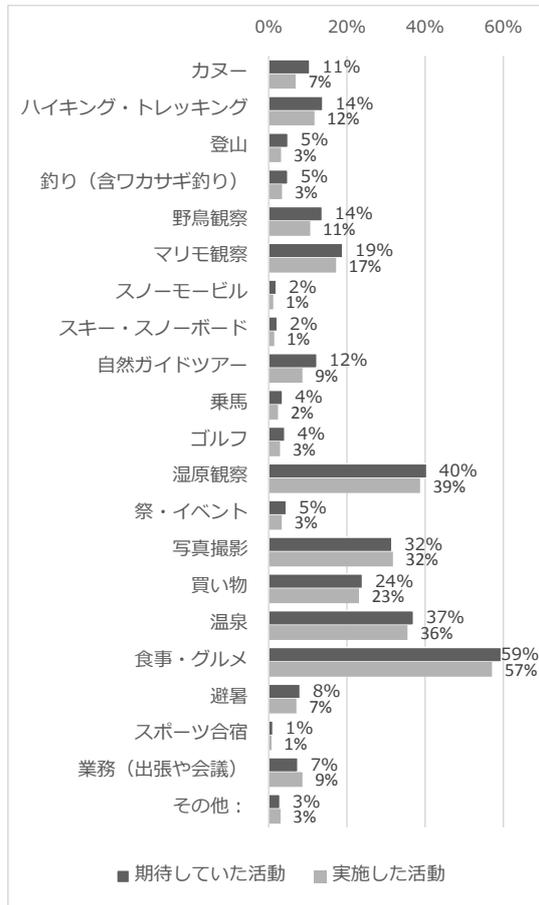
(9) 期待していた活動・実施した活動・満足した活動

～「食事・グルメ」「湿原観察」が釧路市の主たる魅力として認知

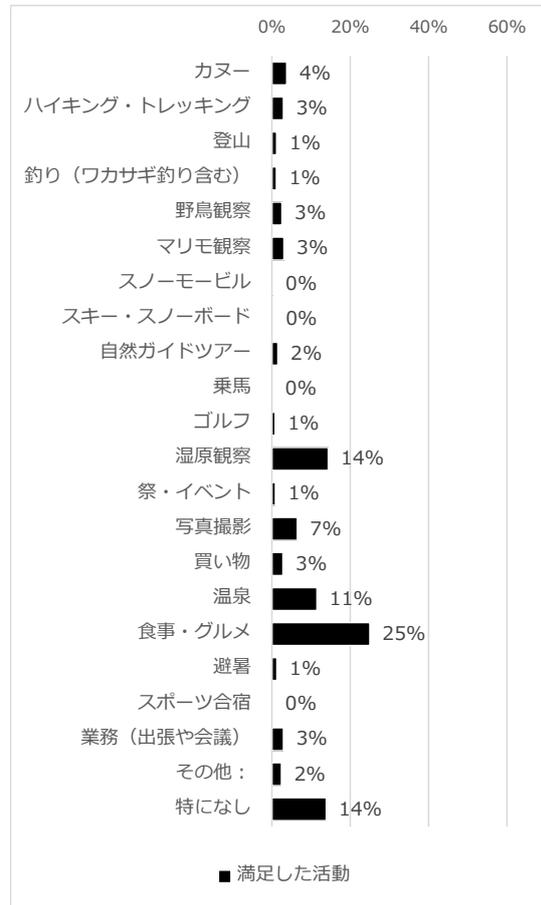
釧路市を訪れた人のうち、事前に期待していた活動を「食事・グルメ」と回答した人は59%（実施率は57%）と最も多く、次いで「湿原観察」の40%（実施率は39%）と続いています。

また、実施した活動のうち、最も満足した活動も「食事・グルメ」（25%）、次いで「湿原観察」（14%）となっており、期待、体験、満足ともに「食事・グルメ」「湿原観察」が高い結果となりました。

図表 3-20：期待していた活動・実施した活動（複数回答）【N=1,548】



図表 3-21：満足した活動（単数回答）【N=1,548】



(10) 釧路市観光の課題

～食（特に海産物）や釧路湿原の楽しみ方、アピール不足が課題

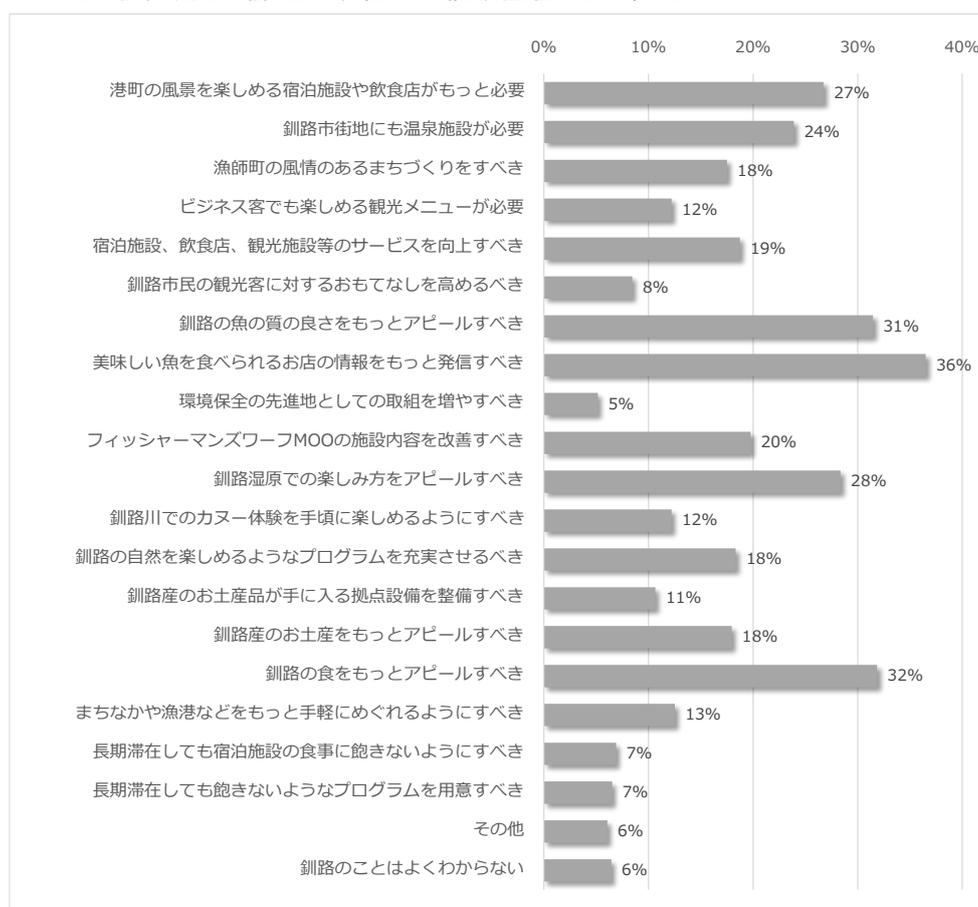
釧路市観光の課題については、「美味しい魚を食べられるお店の情報をもっと発信すべき」(36%)や「釧路の食をもっとアピールすべき」(32%)「釧路の魚の質の良さをもっとアピールすべき」(31%)等、食に関する課題の選択率が高い結果となりました。

また、「釧路湿原での楽しみ方をアピールすべき」(28%)も選択率が高くなっています。

「食」や「釧路湿原」はいずれも期待や実施率も高く、釧路市の主たる魅力として認知されていることも、影響していると考えられます。

釧路市観光の改善点や課題として自由回答からは北大通周辺や釧路駅周辺の活性化を望む声や、ナイトライフや食事の充実等が挙げられました²³。

図表 3-22：釧路市観光の課題・改善点（複数回答）【N=1,548】



²³ 「釧路市観光の課題・改善点」の自由回答の詳細については「VI 資料編」を参照のこと。

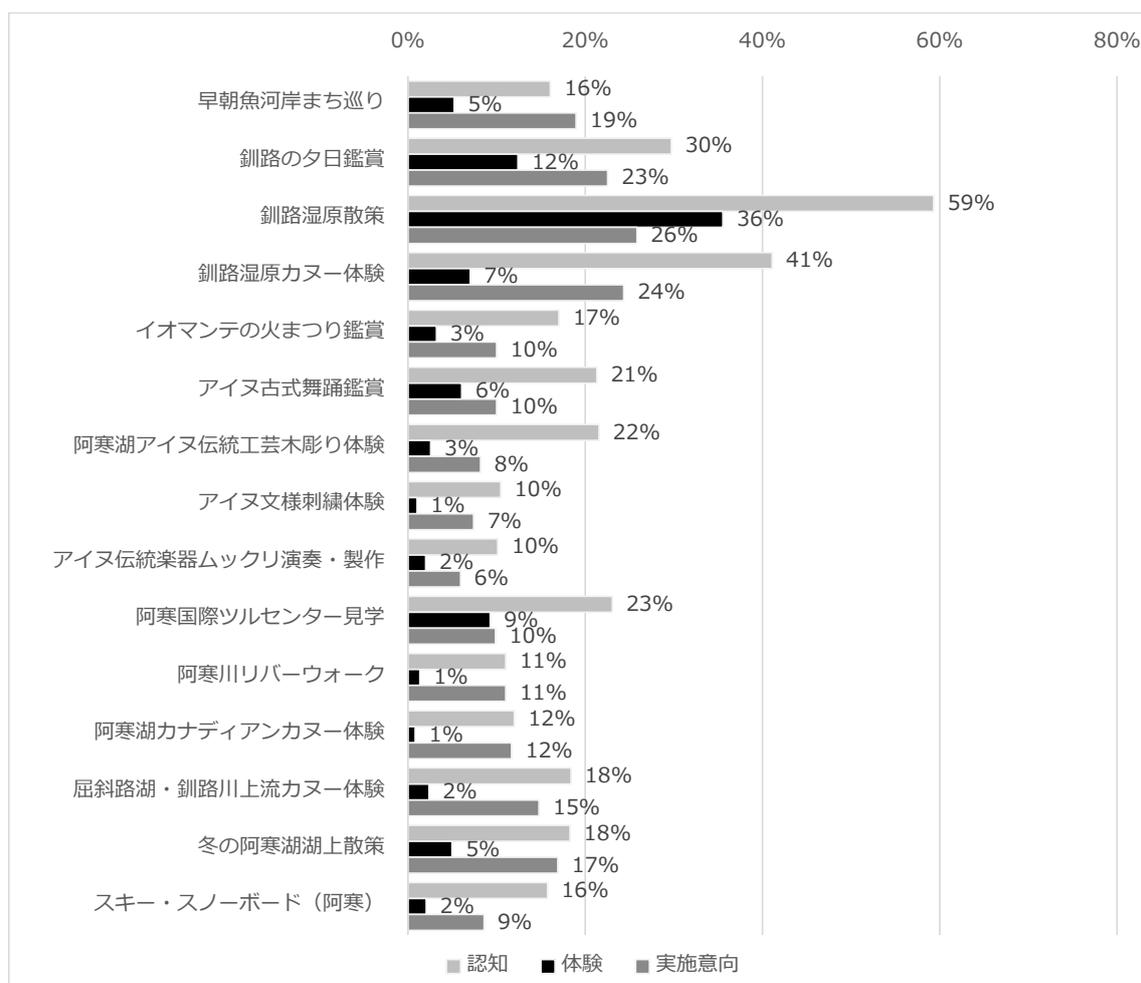
(11) 釧路市の魅力の認知

① アクティビティ

～認知、体験、今後の実施意向はいずれも釧路湿原散策の選択率が最も高く、
アクティビティの体験率の向上が課題

釧路市内のアクティビティの認知、体験、今後の実施意向は「釧路湿原散策」がいずれも最も高い結果となりました。「釧路湿原カヌー体験」の認知度（41%）が「釧路湿原散策」に次いで高い結果となっていますが、体験率は7%に留まっています。「釧路湿原カヌー体験」と同様に、ほとんどのアクティビティの体験率は1割以下に留まっています。今後は、認知度の高いアクティビティを中心に体験してもらうための取り組みを検討し、市内での消費に結び付けていくことが重要です。

図表 3-23：アクティビティの認知・体験・今後の実施意向（複数回答）【N=1,548】

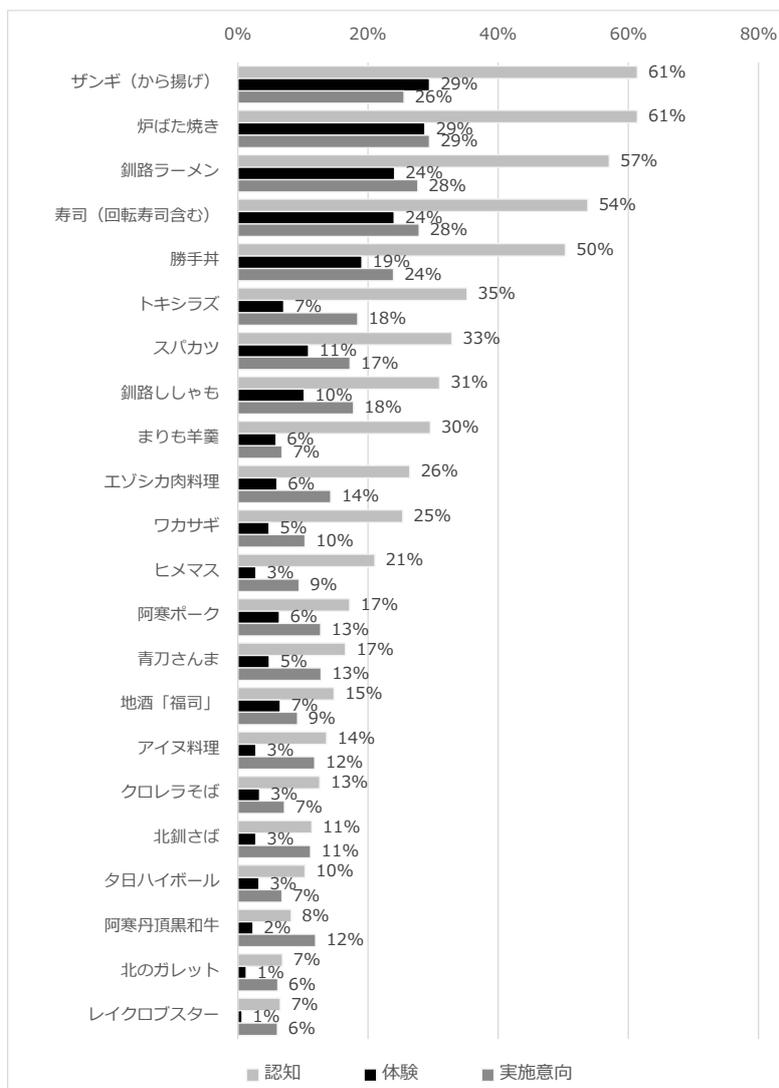


② グルメ

～認知、体験、今後の実施意向ともに炉ばた焼き、ザンギが高く、
釧路でしか食べられないグルメの体験率の向上が課題

釧路グルメの認知、体験、今後の実施意向は「炉ばた焼き」と「ザンギ」ではいずれの項目も選択率が高くなっています。これらは釧路市のみならず、道内グルメとして認知されているものですが、釧路でしか食べられないグルメの認知では「釧路ラーメン」(57%)が最も高く、次いで、「勝手井」(50%)となっています。その後に、「トキシラス」(35%)「スパカツ」(33%)「釧路ししゃも」(31%)「まりも羊羹」(30%)が3～4割程度となっておりますが、これらの体験率はいずれも1～2割程度となっております。

図表 3-24：グルメの認知・体験・今後の実施意向（複数回答）【N=1,548】



(12) パッケージツアーの利用状況

～パッケージツアーの利用率は1割～2割程度

来訪回数10回以上や来訪目的がビジネスの場合は個人旅行が9割

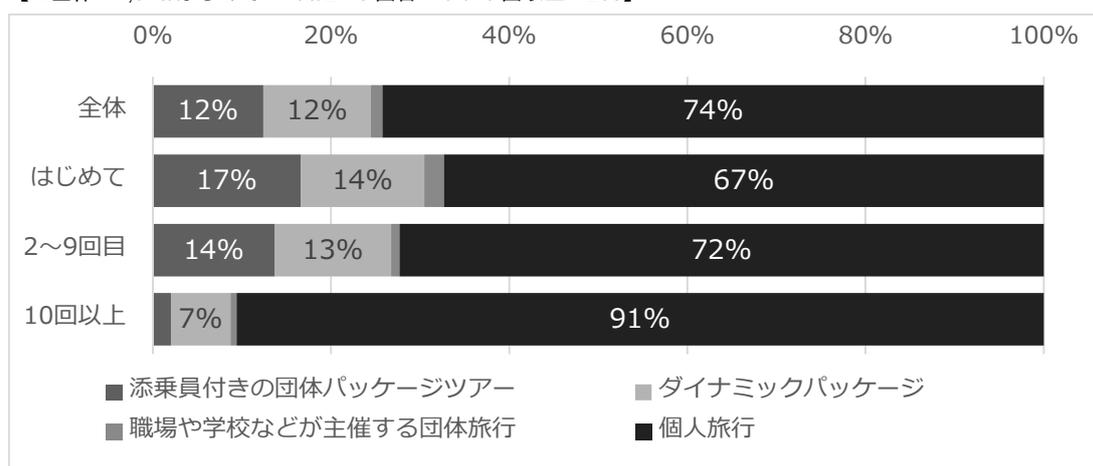
釧路市を訪れる際に、「添乗員付きのパッケージツアー」に参加した人の割合は12%、移動手段と宿泊施設が一緒になった「ダイナミックパッケージ」を利用した人の割合は12%となり、「個人旅行」は74%となりました。

来訪回数別では、来訪回数が増えるほど「個人旅行」の割合が高くなっています。

また、来訪目的別では、観光（69%）に比べてビジネス（88%）や主に親族・知人訪問で構成されるその他（87%）の「個人旅行」の割合が高くなっています。

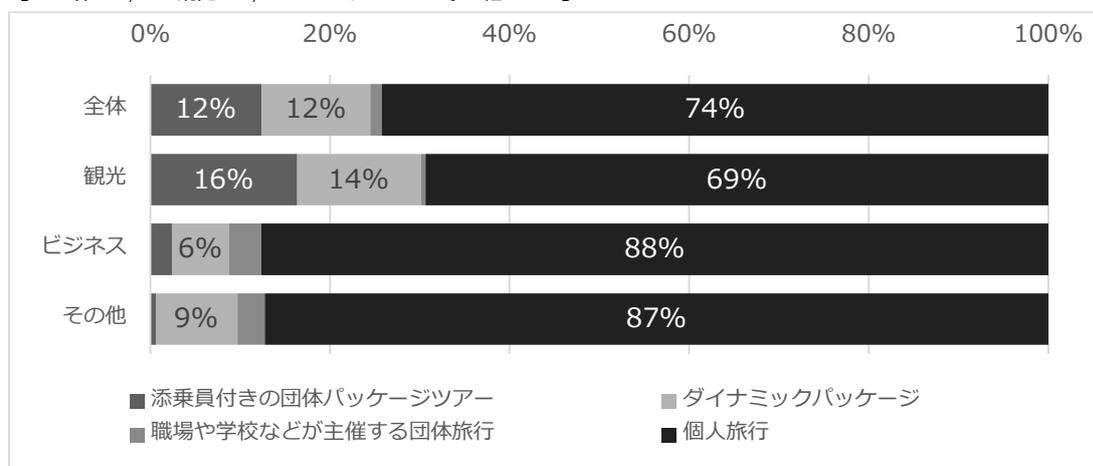
図表 3-25：パッケージ旅行の利用状況（来訪回数別）（単数回答）

【N:全体=1,548/はじめて=499/2～9回目=751/10回以上=298】



図表 3-26：パッケージ旅行の利用状況（来訪目的別）（単数回答）

【N:全体=1,548/観光=1,132/ビジネス=251/その他=165】



3 釧路市を訪れる日本人来訪客の消費実態

(1) 消費単価

～日本人来訪客の消費単価は宿泊客 36,374 円、日帰り客 10,532 円

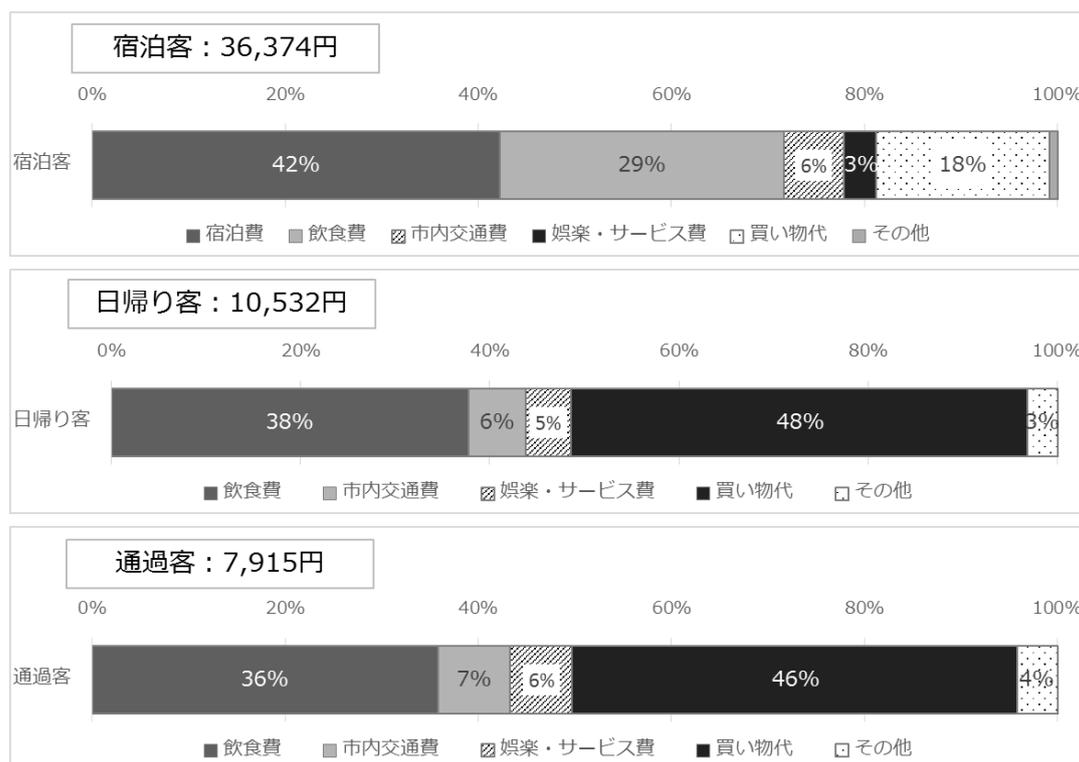
釧路市を訪れた日本人来訪客の支出は 1 人 1 回当たりの消費単価（支出額の平均値）は、宿泊客は 36,374 円、日帰り客は 10,532 円、通過客は 7,915 円と推計されます。

費目別では、宿泊客は「宿泊費」が 15,377 円と最も高く消費単価全体のおよそ 42% を占めています。次いで「飲食費」が 10,675 円（29%）となっています。

日帰り客は「買い物代」が 5,074 円と消費単価全体のおよそ 48% を占めており、次いで「飲食費」が 3,981 円（38%）となっています。

通過客は「買い物代」が 3,646 円（46%）、次いで「飲食費」が 2,839 円（36%）となっています。

図表 3-27：日本人来訪客の消費単価の内訳



消費単価は、購入率と購入者単価の 2 つの要素によって分けて考えることができます。

購入率とは、それぞれの費目を購入した人の割合です。釧路市に来た人のうち、どのくらいの人がある費目を購入したのかが分かります。

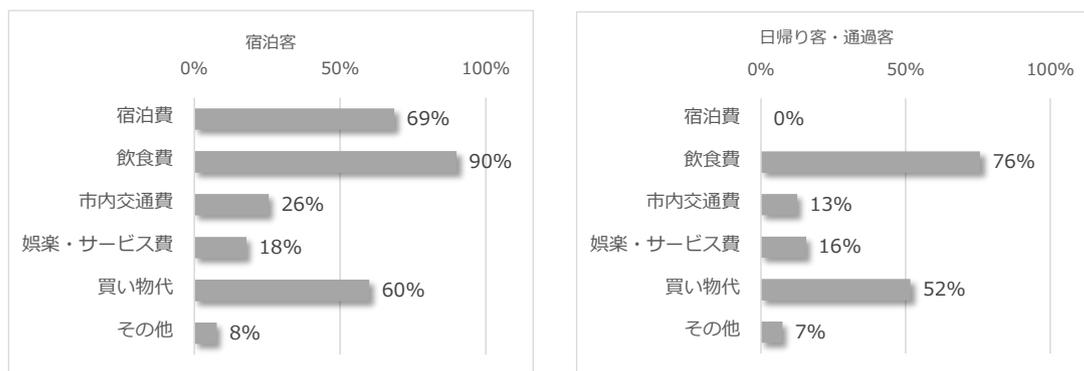
購入者単価とは、それぞれの費目を購入した人のみにおける平均支出額です。例えば、「海産物の購入者単価」とは、釧路市で海産物を購入した人が海産物に支払った支出額の平均値を指します。（なお、消費単価は海産物を購入していない人、つまり、支出額0円の人も含めた平均値になります。）

$$\boxed{[\text{費目の消費単価}] = [\text{費目の購入率}] \times [\text{費目の購入者単価}]}$$

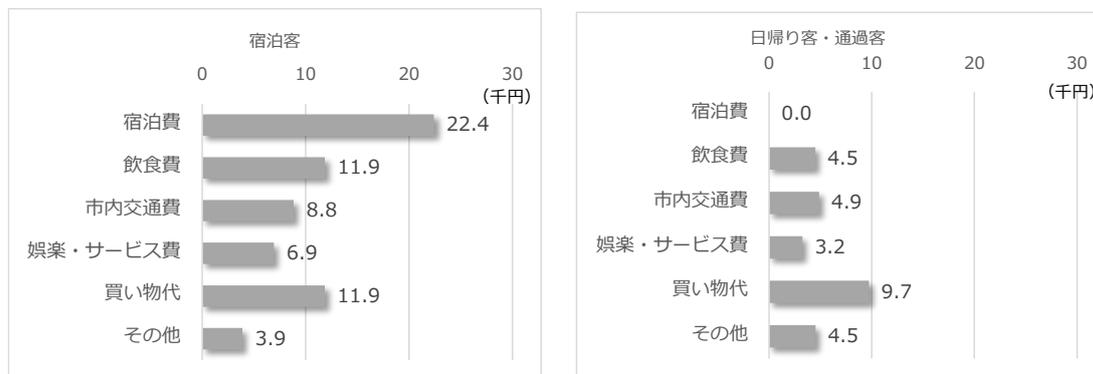
費目別の購入率をみると、宿泊客では飲食費の割合が90%と最も高くなっています。宿泊費は親族・知人宅に宿泊し、宿泊費が発生しないケースもあり69%となっています。日帰り客・通過客では、飲食費（76%）と買い物代（52%）の購入率が高くなっています。

費目別の購入者単価では、宿泊客は宿泊費（22.4万円）、日帰り・通過客は買い物代（9.7万円）が高くなっています。

図表 3-28：費目別の購入率（単数回答）

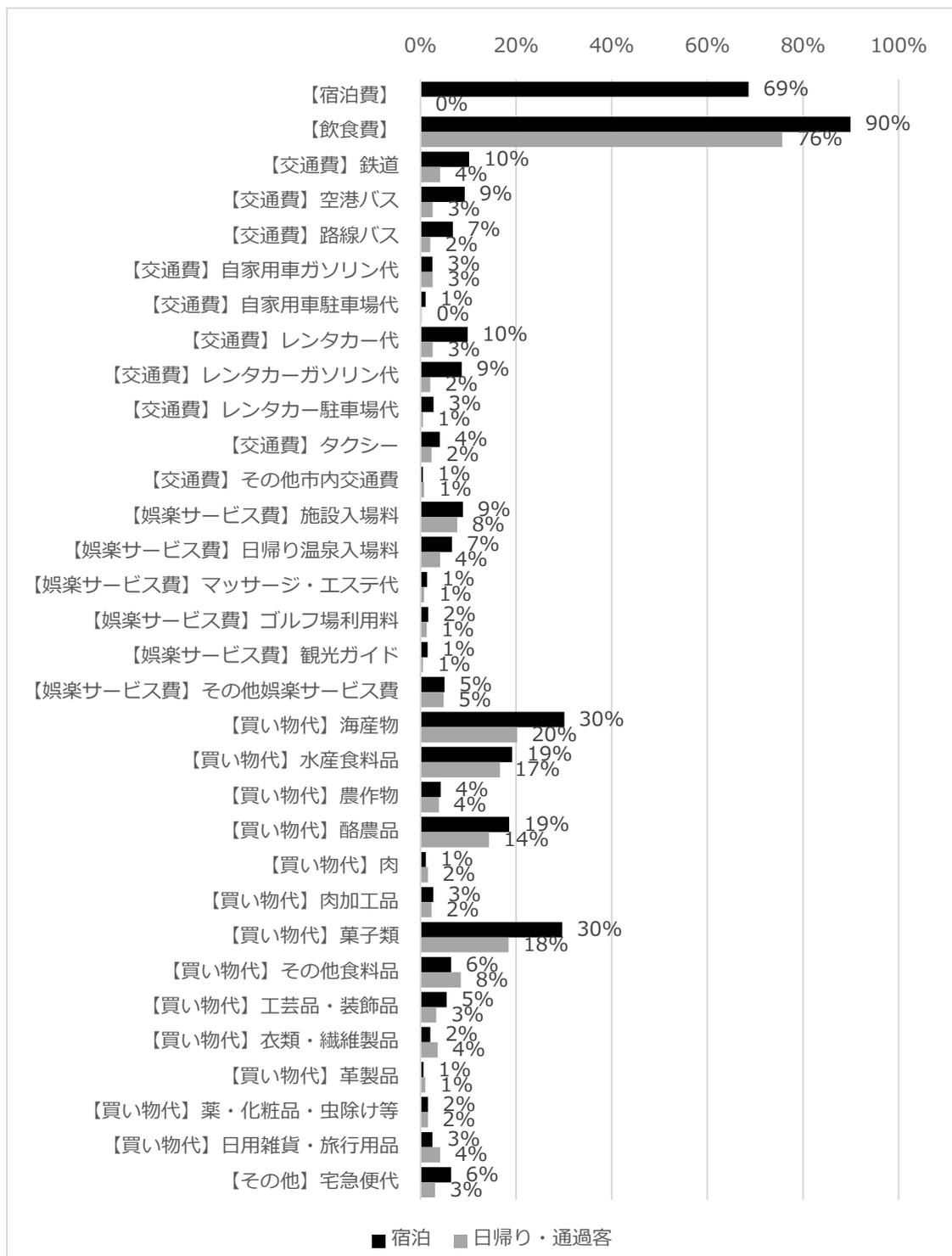


図表 3-29：費目別の購入者単価（単数回答）



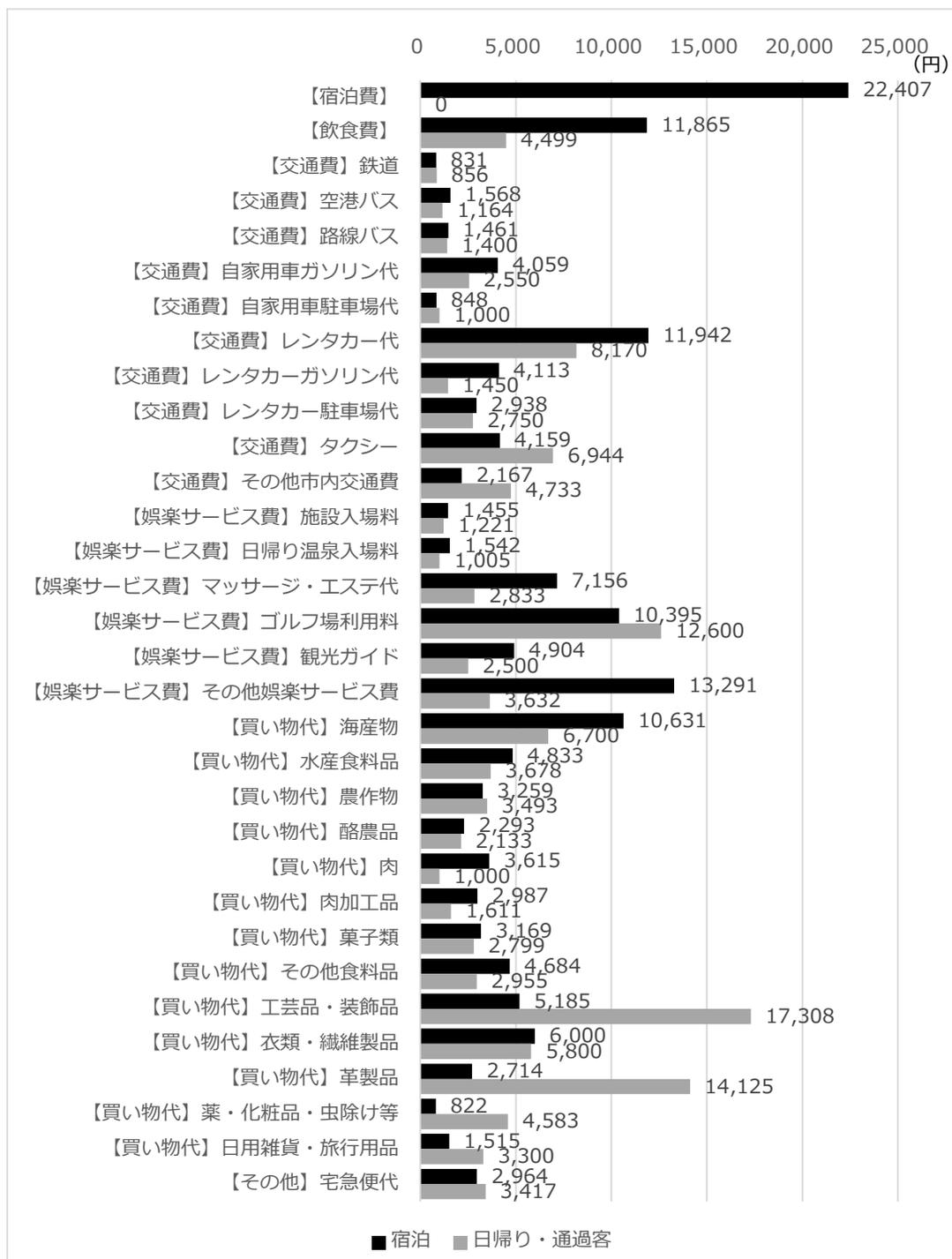
詳細費目別の購入率をみると、【宿泊費】や【飲食費】を除くと、宿泊客、日帰り・通過客問わず【買い物代】では「海産物」、「菓子類」、「水産食料品」、「酪農品」等の食料品が高くなっています。

図表 3-30 : 詳細費目別購入率



詳細費目別の購入者単価では、2万円を超えるのは【宿泊費】、1万円を超えるのは宿泊客の【飲食代】・【交通費】の「レンタカー代」のほか、【娯楽サービス費】で「ゴルフ場利用料」、日帰り・通過客の【買い物代】で「工芸品・装飾品」や「革製品」等となりました。

図表 3-31：詳細費目別購入者単価



(2) 費目別消費行動

～「飲食費」「買い物代」ともに海産物への評価が高い

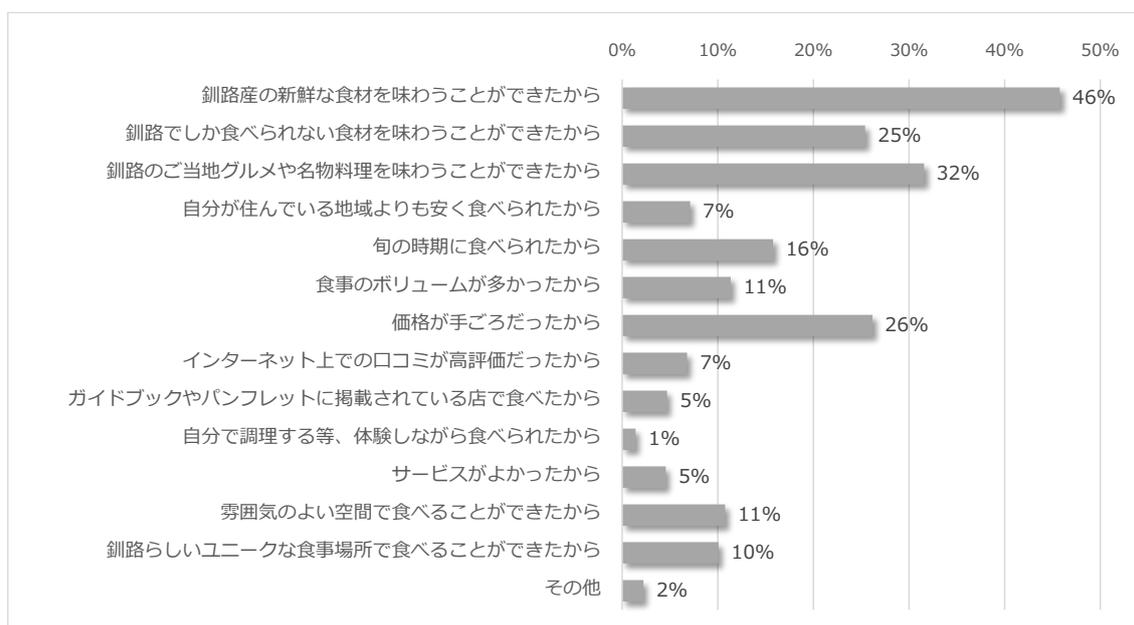
宿泊客、日帰り・通過客問わず、観光消費額における構成比、購入率が高い「飲食費」と「買い物代」についてより詳細に釧路市での消費行動を把握しました。

① 飲食費

飲食費を支出した人を対象に「満足した食事」について具体的名称（自由記述）で尋ねたところ、最も多かったのは「寿司（回転寿司を含む）」（7%）、次いで「海鮮丼」（6%）、「海鮮（居酒屋などでのメニューを含む）」（5%）「スパカツ」（4%）「勝手丼」（4%）となり、海鮮を中心とした料理に満足した人が多いことが分かります²⁴。

また、食事に満足した理由を尋ねたところ、「釧路産の新鮮な食材を味わうことができたから」（46%）、「釧路のご当地グルメや名物料理を味わうことができたから」（32%）等、「釧路ならではの食体験への満足度が高い傾向が見てとれます。

図表 3-32：食事に満足した理由（複数回答）【N=1,337²⁵】



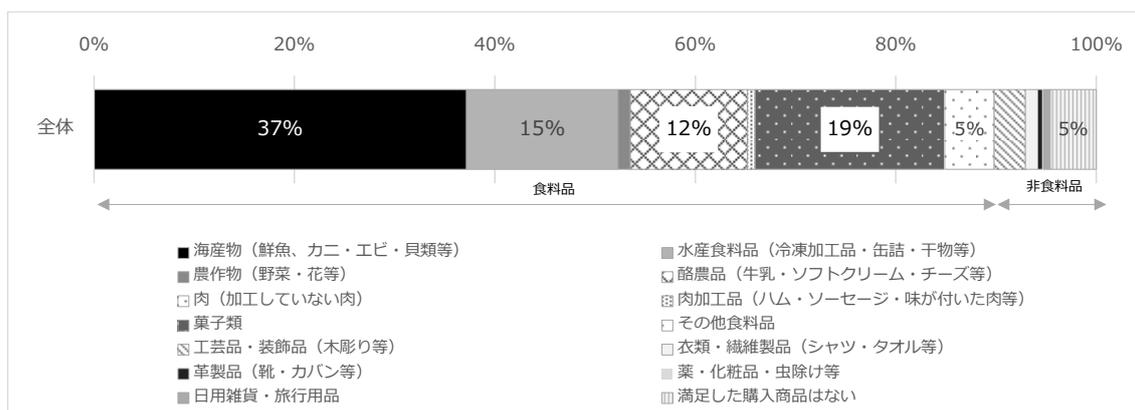
²⁴ 「満足した食事」の自由回答の詳細については「VI 資料編」を参照のこと

²⁵ 釧路市内で「飲食費」を支出した人が対象

② 買い物代

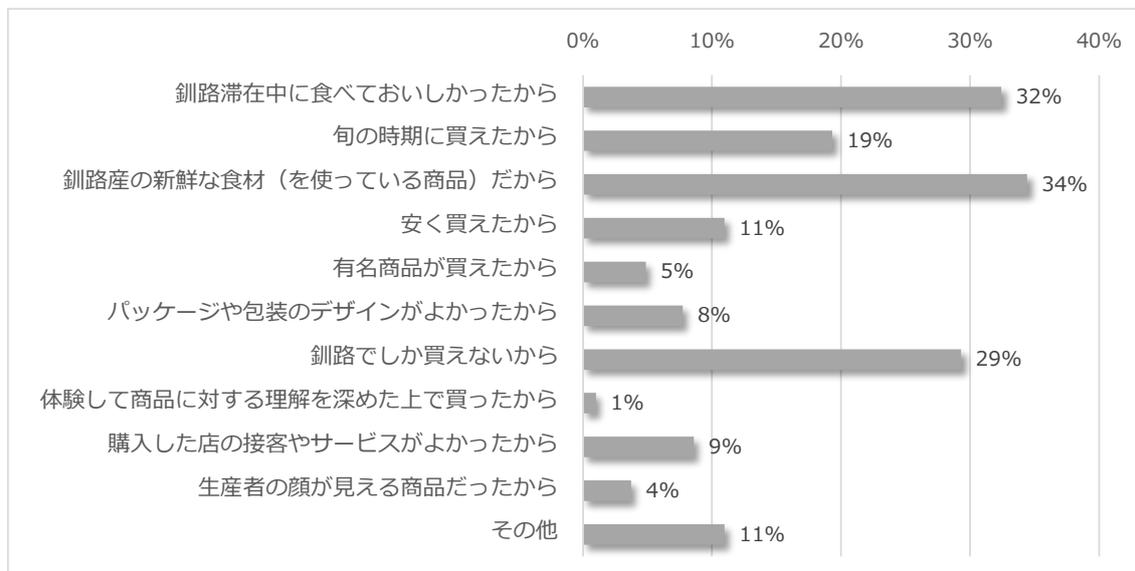
釧路市で最も満足した購入商品では、9割の人が食料品を挙げています。なかでも海産物（37%）や菓子類（19%）を挙げる人が多い結果となりました。

図表 3-33：釧路市で最も満足した購入商品（単一回答）【N=893²⁶】



満足した購入商品で食料品を挙げた人のうち、満足した理由で多いのは「釧路産の新鮮な食材（を使っている商品）だから」（34%）や「釧路滞在中に食べておいしかったから」（32%）、「釧路でしか買えないから」（29%）の順となっています。

図表 3-34：釧路市で購入した食料品に満足した理由（複数回答）【N=802²⁷】

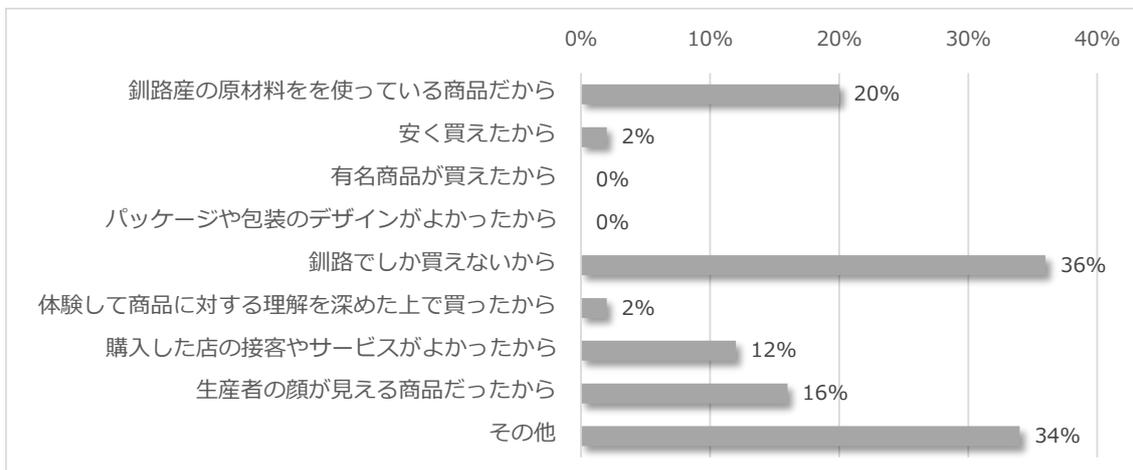


²⁶ 釧路市内で「買い物代」を支出した人が対象（無回答を除く）

²⁷ 「最も満足した購入商品」に「食料品」を挙げた人が対象

非食料品を挙げた人のうち、満足した理由で多いのは「釧路でしか買えないから」(36%)、「その他」(34%)となっています。

図表 3-35：釧路市で購入した非食料品に満足した理由（複数回答）【N=50²⁸】

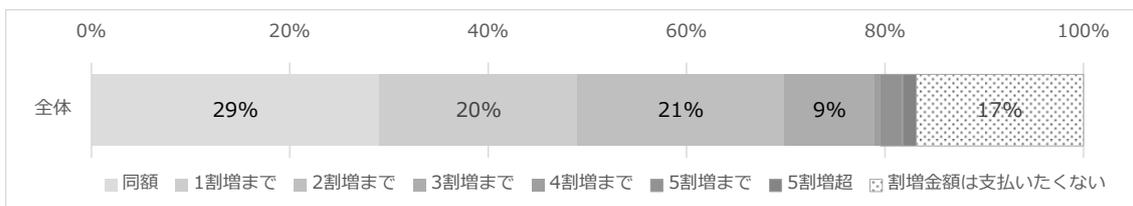


(3) 釧路産食材への割増料金支払い意向

～割増料金の支払い意向は半数以上

釧路産食材への割増料金の支払い意向が「ある」と回答している人の割合は54%と半数程度に及びます。割増できる金額については「1割増まで」(20%)、「2割増まで」(21%)が各2割程度と多くなっています。

図表 3-36：釧路産食材への割増料金支払い意向（単数回答）【N=1,548】



²⁸ 「最も満足した購入商品」に「非食料品」を挙げた人が対象

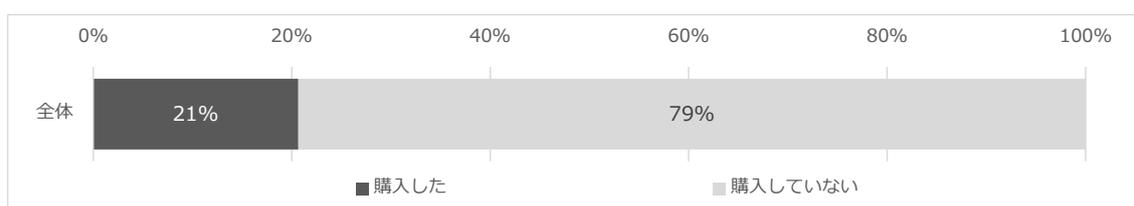
(4) 帰宅後の釧路産品の購入

～帰宅後の釧路産品の購入は2割程度、海産物の購入率が高い

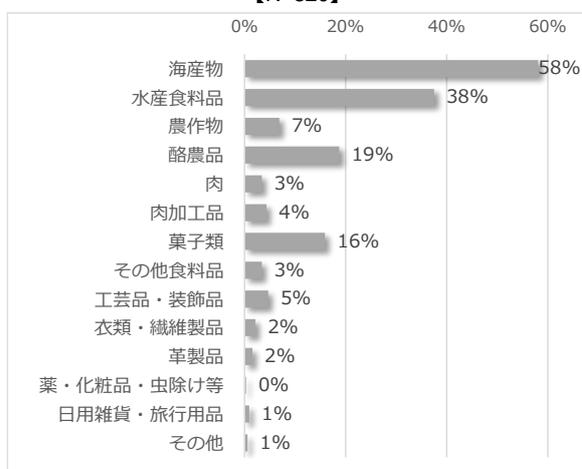
帰宅後の釧路産品の購入は21%となっています。購入した品目では「海産物」(58%)が最も多く、購入方法ではウェブサイト(50%)が最も多く半数程度となりました。

満足した理由は「商品の品質がよい」(45%)や「釧路を訪れた際に体験して(食べて)おいしかった」(33%)が多い結果となりました。

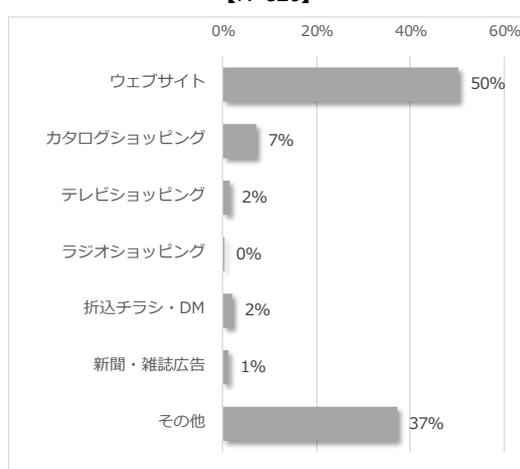
図表 3-37：帰宅後の釧路産品の購入有無（単数回答）【N=1,548】



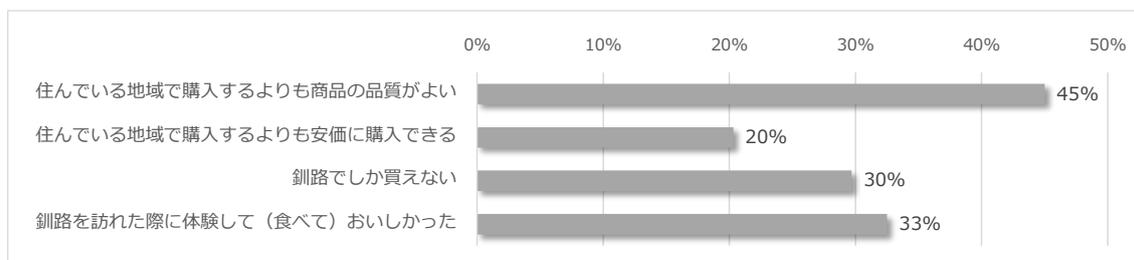
図表 3-38：帰宅後に購入した産品（複数回答）【N=320】



図表 3-39：購入方法²⁹（単数回答）【N=320】



図表 3-40：満足した理由（複数回答）【N=320】



²⁹ 最も満足した購入商品1つの購入方法

IV 観光振興による釧路市経済の活性化に向けて

1 釧路市の魅力を活かした施策シミュレーション

第二期ビジョンでは、釧路市の観光が目指す将来像について「みんなが担う、みんなが育てる観光産業により持続可能な自立型の地域経済の実現」を目指すことが記されており、これを実現するため、3つの分野、9つの戦略、40の施策が展開されています。

今後、ビジョンを実行していくことにより、どの程度の経済波及効果が期待できるか、ビジョンの中で掲げられている「標的とする市場」や40の施策の内容を踏まえ、以下の2パターンで経済波及効果アップのためのシミュレーションを実施しました。

(1) シミュレーション1：釧路市がターゲットとする客層の取り込み

～日本人宿泊客の消費単価増と外国人宿泊客の人数増で生産波及効果は31億円増

第二期ビジョンに基づき、今後、釧路市では、国内は首都圏や道内からの消費単価が高い宿泊客を、海外においては、来訪実績があり、成長著しい東アジア市場を引き続き獲得していくとともに、新規開拓市場として経済発展が著しいアジア圏の新興国や地域特有の文化への関心を示すことが見込まれる欧米豪圏域の獲得も積極的に取り組んでいく予定です。

日本人の旅行市場は少子高齢化に伴い年々縮小しているため、旅行者を増やすことは今後も厳しい状況が続くことが予想されます。そこで、第二期ビジョンにも記載されているとおり、日本人旅行者については、消費単価の高い旅行者を積極的に誘致することが重要です。1人1回あたりの消費単価は地域での滞在時間に応じて増える傾向にあるため、宿泊客数が現状程度と仮定した場合、およそ10%の宿泊客（約6万人）が現状よりも5,000円程度支出額が増える場合を想定して推計を行いました。

また、釧路市を訪れる外国人旅行者は先述のとおり、10年間でおよそ2.4倍に増えています。国全体でも訪日外国人旅行者数は過去最高を記録し続けていることや、FIT化が進み、都市部だけでなく地方部にも足を伸ばしている訪日外国人が増えていることから、今後も釧路市を訪れる外国人旅行者数の増加が予想されます。こうした状況を踏まえて、外国人宿泊数が現状の2倍増（約17万人³⁰）となる場合を想定して推計を行いました（消費単価は現状と同額と仮定して推計）。

以上の仮定に基づく推計の結果、生産波及効果は31億円、付加価値効果は15億円、雇用誘発効果は291人の増となりました。

³⁰ 2倍後の数値

シミュレーション 1：釧路市がターゲットとする客層の取り込み

釧路市がターゲットとする客層の取り込みによる経済波及効果

	直接効果	一次効果 (家計迂回を除く)	二次効果 (家計迂回を含む)
観光消費額	23.9	-	- 億円
生産波及効果	21.0	27.3	31.1 億円
付加価値効果	9.5	12.9	15.3 億円
雇用誘発効果	219.2	261.6	291.3 人

<内訳>

【日本人宿泊客数の 10%の消費単価が 1 人当たり 5,000 円増】

	直接効果	一次効果 (家計迂回を除く)	二次効果 (家計迂回を含む)
観光消費額	2.9	-	- 億円
生産波及効果	2.6	3.4	3.8 億円
付加価値効果	1.2	1.6	1.9 億円
雇用誘発効果	27.3	32.6	36.3 人

【外国人宿泊客数が 2 倍増】

	直接効果	一次効果 (家計迂回を除く)	二次効果 (家計迂回を含む)
観光消費額	21.0	-	- 億円
生産波及効果	18.4	23.9	27.3 億円
付加価値効果	8.4	11.4	13.4 億円
雇用誘発効果	191.8	229.0	255.0 人

●結果参照にあたっての留意点

経済波及効果シミュレーション結果は端数処理の都合上、内訳と合計が一致しない場合があります。

(2) シミュレーション2：釧路市の食の魅力向上

～地元食材の域内調達率増、日本人宿泊客の飲食費増で生産波及効果は19億円増

「日本人来訪客アンケート調査」の結果から、期待していた活動では「食・グルメ」を挙げる人が6割と多くの活動の中でも選択率が高く、釧路産食材に割増料金を支払ってもよい人の割合が全体の半数を越えるなど「食」への期待が確認される一方、釧路グルメの体験率が低いことや、釧路産よりも道内の有名店の菓子類を購入する傾向があるなどの課題が確認されました。

今後、釧路の「食」をさらに活かしていくため、域内調達率向上の観点と、1人あたりの飲食費増の観点から推計を行いました。

まず、域内調達率の向上の観点からは、釧路の大きな魅力でもある食料品の域内調達率を上げる取り組みを進めていくことを想定しました。食料品に関係する主たる産業として産業連関表52部門表の中で該当するのは、「農業」（31.2%）、漁業（59.3%）、「と畜・肉・酪農」（20.4%）、「水産食料品」（62.3%）、「その他食料品」（22.8%）、「飲料」（11.3%）となります。これらの自給率が仮に10%上昇したと仮定して推計を行いました。

また、アンケートの結果から釧路産の食材に対しては割増料金を支払ってもよいと回答した人の割合が半数以上となったことから、現在の日本人宿泊客数の半数程度（約30万人）が1人1回あたりの飲食費を現状（10,675円³¹）から15%（約1,600円）増の12,276円となった場合、また、現在の外国人宿泊客数の半数程度（約4万人）が1人1回あたりの飲食費を現状（6,908円³²）から15%（約1,000円）増の7,944円となった場合を仮定して推計を行いました。

以上の仮定に基づく推計の結果、生産波及効果は19億円、付加価値効果は8億円、雇用誘発効果は148人の増となりました。

³¹ 本調査の結果「図表2-6」参照

³² 本調査の結果「図表2-6」参照

シミュレーション 2 : 釧路市の食の魅力向上

釧路市の食の魅力向上による経済波及効果

	直接効果	一次効果 (家計迂回を除く)	二次効果 (家計迂回を含む)
観光消費額	5.2	-	- 億円
生産波及効果	13.2	16.8	18.7 億円
付加価値効果	5.3	7.1	8.3 億円
雇用誘発効果	103.0	133.0	148.4 人

<内訳>

【域内調達率 10%増】

	直接効果	一次効果 (家計迂回を除く)	二次効果 (家計迂回を含む)
観光消費額	0.0	-	- 億円
生産波及効果	8.0	10.0	11.0 億円
付加価値効果	3.2	4.2	4.8 億円
雇用誘発効果	36.6	56.4	64.2 人

【日本人宿泊客数の 50%が飲食費 15%増】

	直接効果	一次効果 (家計迂回を除く)	二次効果 (家計迂回を含む)
観光消費額	4.8	-	- 億円
生産波及効果	4.8	6.2	7.1 億円
付加価値効果	1.9	2.6	3.2 億円
雇用誘発効果	61.0	70.2	77.3 人

【外国人宿泊客数の 50%が飲食費 15%増】

	直接効果	一次効果 (家計迂回を除く)	二次効果 (家計迂回を含む)
観光消費額	0.4	-	- 億円
生産波及効果	0.4	0.6	0.6 億円
付加価値効果	0.2	0.2	0.3 億円
雇用誘発効果	5.5	6.3	6.9 人

●結果参照にあたっての留意点

経済波及効果シミュレーション結果は端数処理の都合上、内訳と合計が一致しない場合があります。

V 釧路市の経済波及効果を高めるにあたって

本調査の結果、観光経済面から見た現状と課題を踏まえ、釧路市での観光消費の拡大に向けたポイントを整理しました。

釧路市の入込客数は2011年以降、増加傾向にあります。特に訪日外国人旅行者数は10年前と比べて2倍以上となっており、国内の旅行市場が縮小する状況においては、旅行者数増という観点で今後期待できる市場となっています。

第二期ビジョンの中では、現在の主要な市場である台湾、中国などの東アジア圏からだけではなく、欧米市場の積極的な取り込みも目指していくことが記載されています。

一方、日本人については、旅行者数増は今後も厳しい状況が続くことが予想されます。そこで、旅行者数を増やすのではなく、釧路での滞在を充実させ、消費単価を上げていくという視点が重要です。

消費単価の向上にあたって重要なコンテンツとなるのが「食」です。「食」は第二期ビジョンにおいても「戦略1：食の魅力づくり戦略」として6つの具体的施策³³が記載されており、今後の釧路市の観光を支えていくコンテンツとして戦略的な活用が期待されています。

また、日本人来訪客アンケート調査の結果からも、1人あたり観光消費額における飲食費や買い物代（特に食料品）の割合やこれらの購入率が高いことが確認されました。

一方、「食」を活用するにあたっては、釧路ブランドの向上、域内調達率の向上、帰宅後の釧路産品の購入率の向上などの課題も明らかになりました。今後これらの課題を踏まえ、観光消費拡大の観点からどのような取り組みを進めていくことが望ましいかポイントを整理しました。

³³ ①食材の域内調達の促進、②地場食材を活かした加工品の開発、③食を楽しむ魅力的な空間づくり、④地域の食の魅力を支える人材育成、⑤食の高付加価値化、⑥食の品質維持・管理の仕組みづくり

1 釧路市での観光消費における課題と今後の取り組みのポイント

(1) 釧路ブランドを向上させる

～海外も視野に入れた「釧路ブランド」の認知拡大

日本人来訪客アンケートの結果においては、滞在中に食べたグルメや購入した菓子類の具体的な名称から、釧路市にしかないグルメや釧路市で製造された菓子類よりも、北海道全域で有名なグルメや菓子類が多く上がっています。

菓子類を例にすると、市外で製造した商品を市内で販売することも重要ですが、市民が雇用される工場ですべて市内産の食材を使った商品を製造し販売した方が、市内に留まる金額は多くなり、経済波及効果は高まります。

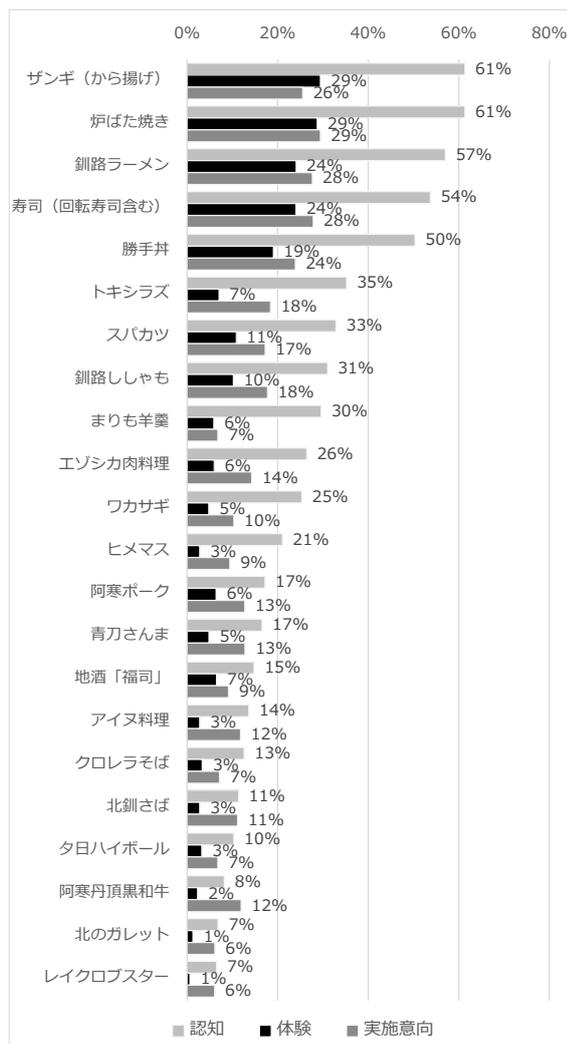
また、グルメにおいても、「ザンギ」(61%)や「炉ばた焼き」(61%)等、釧路だけでなく北海道内で有名なグルメの認知が高く、釧路ならではのグルメは釧路ラーメン(57%)や勝手井(50%)がその後に続いています。

認知度と実施率は連動しているため、まずは認知度を上げていく取り組みを進め、「北海道の名産を買いたい(食べたい)」というニーズから「釧路の名産も買いたい(食べたい)」というニーズを掘り起こしていく必要があります。

釧路市では既に2007年に「釧路地域ブランド推進委員会」を設置し、釧路らしさを活かし、地域一体となったブランド化の取り組みを推進しています。一定の基準をクリアしたししゃもやトキシラズについては「釧路ししゃも」や「釧路定置トキシラズ」としてブランド化し、物産展やイベント等への出展、販促ポスターやロゴマークの作成などを行っています。今後はこうした取り組みの拡充も期待されます。

今後、外国人旅行者の増加が予想される中、国内だけでなく海外での釧路ブランドの浸透も重要になります。特に現在、主要な市場である台湾、中国や、今後成長が見込ま

図表 5-1：グルメの認知・体験・今後の実施意向（複数回答）※再掲【N=1,548】



れる東南アジアを中心に、現地の百貨店のイベントなどを通じて釧路ブランドの認知を図るとともに、その価値について理解を深めてもらうことが重要です。



市内のスーパーにおける「釧路ブランド」



バンコクの百貨店における北釧さばの販売風景

(2) 域内調達率の向上

～域内調達率の向上が経済波及効果と満足度の向上に寄与

日本人来訪客アンケートの結果から、釧路食材に対して割増料金を支払う意志がある人が半数以上いることから、食料品を中心とした域内調達率の向上により、さらに消費が促進されることが期待できます。また、地域外から食材を仕入れる場合、地域内に留まる金額は少なくなってしまうますが、地域内で食材を仕入れる場合、地域内に留まる金額も高くなり、経済波及効果は高くなるといえるでしょう。

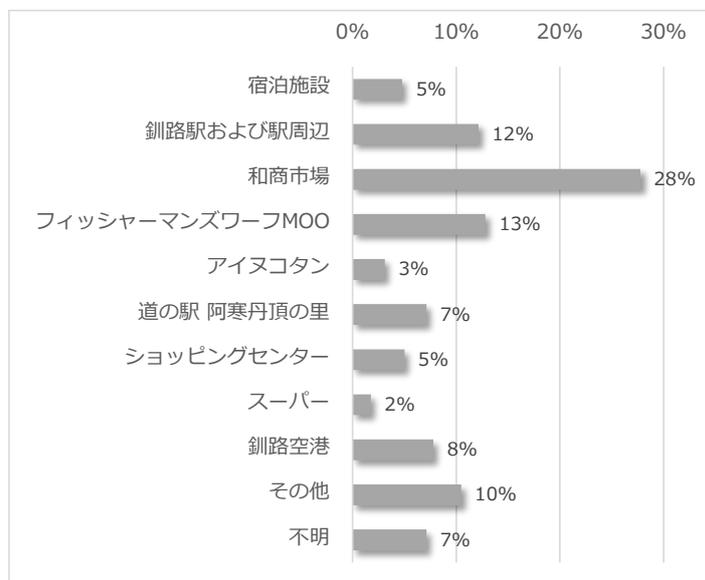
域内調達率の向上にあたっては、市内の宿泊施設や飲食店などで地域内の産品を活用する機会の創出、拡大が挙げられます。しかし、こうした取り組みを進めるにあたっては、いくつかの課題が存在します。その代表的なものが「安定的な供給」です。宿泊施設や飲食店では決められたメニューが存在し、安定的に一定量の食材を必要とします。

一方で農作物等は天候などによって安定供給が難しい場合があり、地域内の産品の活用が難しいことも多々あります。このような場合、供給側である生産者は収穫期を分散するよう調整し、地域全体としての出荷期間を拡大したり、需要側である宿泊施設や飲食店は複数の生産者と契約することなどによって、安定的な供給につながります。他には地場の食材を使った缶詰や冷凍食品などの加工品を開発することにより、供給だけでなく価格の安定化も図られます。

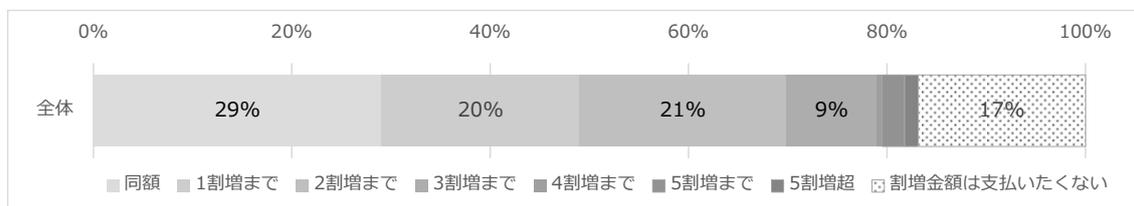
域内調達率の向上と合わせて、来訪客には、「釧路産」であることや釧路産食材を活用していることなどを分かりやすく伝えていくことも必要になるでしょう。既に釧路市内のスーパーでは、市内の企業が製造する商品をわかりやすく表示する取り組みなどが進められていますが、現在、スーパーを利用する来訪客の割合は少なく、地元利用が中

心であることが想定されるため、来訪客の訪問率が高い販売店などでもこうした取り組みが促進されることが期待されます。

図表 5-2：来訪客の買い物場所（単数回答）【N=897³⁴】



図表 5-3：釧路産食材への割増料金支払い意向（単数回答）※再掲【N=1,548】



釧路市内の和菓子店の商品のポップ（市内スーパー）



釧路市内の豆腐店の商品のポップ（市内スーパー）

³⁴ 釧路市内で「買い物代」を支出した人を対象に「最も満足した購入品」の購入場所を尋ねた

(3) 帰宅後の釧路産品の購入率の向上

～釧路滞在をきっかけに帰宅後も消費促進される仕組みづくり

昨今、観光施策は入込客数などの「量」から満足度や消費額の「質」を重視する施策に移行してきており、釧路市では全国に先駆けてこうした取り組みを進めてきました。

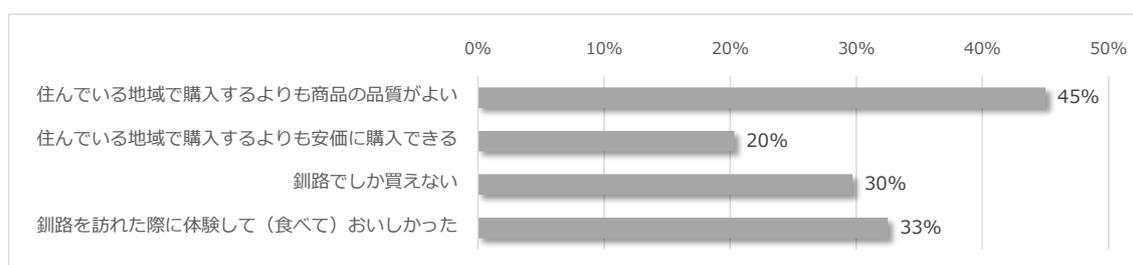
今後は、ここからさらに一步踏み込み、釧路滞在中だけではなく、滞在をきっかけに、釧路を訪れる「前」と「後」の消費を促進していくという観点も重要になるでしょう。

日本人来訪客アンケート結果では、帰宅後に釧路産品を購入した人の割合は2割となっていますが、今後はこの割合をより高めていく必要があります。そのためには、釧路ならではの品質の良い商品を提供することはもちろんですが、今回のアンケート調査結果において、釧路を訪れた際に食べて（体験して）おいしかった（よかった）と回答した方（およそ3割）が、帰宅後に釧路産品を購入していることから、滞在中の「体験」を充実させることが重要です。

また、今後増加が予想される外国人旅行者に対しては、海外における釧路産品の認知度向上、釧路ブランドの浸透によって、釧路訪問前に「食」への意欲を喚起させることも重要です（事例「高山市の事例」）。これにより、「釧路のトキシラズを食べてみたい」という意欲や、産地としての釧路に興味、関心を持ってもらい、釧路市への訪問や消費に結びつけることが期待されます。

近年では、越境 EC³⁵やふるさと納税などの取り組みも盛んです。こうした取り組みをうまく活用し、訪問をきっかけとした訪問前後の消費の好循環を目指していくことが期待されます。

図表 5-4：帰宅後に釧路産品を購入して満足した理由（複数回答）※再掲【N=320】



³⁵ インターネット通販サイトを通じた国際的な電子商取引を指す。ECは Electronic Commerce（電子商取引）の略

コラム：高山市の取り組み

岐阜県高山市では 2011 年に「海外戦略室」を立ち上げ、誘客と物販と交流を一体化させた取組を推進しています。取組の一例を挙げると、シンガポール、台湾、香港等で、高山市で販売されるおよそ 5 倍程度の価格で飛騨牛を販売し「飛騨高山ブランド」を普及することによって、高山市を訪れた外国人旅行者に「高山で安くて新鮮な飛騨牛を食べたい」という意欲を喚起しています。古いまちなみ界限では、飛騨牛の串焼き、握り寿司、コロッケ、肉まん等の店舗が軒を連ね、多くの外国人が食べ歩きを楽しむ姿が見られます。



VI 資料編

1 「日本人来訪客アンケート調査」調査票

【スクリーニング調査】

SC1	あなたがこれまでに訪れたことがある北海道の市をお答えください。 なお、観光・レジャー、出張・業務、親族・知人訪問、帰省、冠婚葬祭等目的は何でも構いません。 (いくつでも)
	回答者には釧路市の観光マップが表示されます。
	札幌市
	函館市
	小樽市
	旭川市
	帯広市
	釧路市
	網走市
	これまでに上記地域には1度も行ったことがない ※排他

SC2	あなたが2016年9月～2017年8月に訪れたことがある北海道の市をお答えください。 なお、観光・レジャー、出張・業務、親族・知人訪問、帰省、冠婚葬祭等目的は何でも構いません。 (いくつでも)
	回答者には釧路市の観光マップが表示されます。
	札幌市
	函館市
	小樽市
	旭川市
	帯広市
	釧路市
	網走市
	2016年9月～2017年8月に、上記地域には行っていない ※排他

SC3	お住まいの都道府県をお答えください。
	都道府県プルダウン SC4 「北海道」を選択した人

SC3で「北海道」を選択した人は以下の画面が表示されます。

SC4	お住まいの市町村をお答えください。
	北海道市町村プルダウン

SC2で「釧路市」を選択した人(ただしSC4で釧路市、釧路町、白糖町、鶴居村、厚岸町、浜中町、標茶町、弟子屈町を選択した人は対象外)はSC5へ
SC2で「釧路市」以外を選択した人は調査終了

SC5	2016年9月～2017年8月のうち、あなたは何月に釧路市を訪れましたか。 宿泊訪問と日帰り訪問に分けて訪問回数を入力してください。(いくつでも) また、複数回訪れた方は 最も印象に残っている訪問 についてお答えください。(ひとつだけ)				
		釧路市内での 宿泊を伴う訪問	最も印象に残っている 訪問	釧路市内への 日帰り訪問	最も印象に残っている 訪問
	2016年(平成28年)				
	9月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
	10月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
	11月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
	12月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
	2017年(平成29年)				
	1月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
	2月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
	3月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
	4月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
	5月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
	6月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
	7月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>
8月	() 回	<input type="checkbox"/>	() 回	<input type="checkbox"/>	

SC6	SC5で回答した「最も印象に残っている訪問」は何回目の釧路市訪問ですか？ (ひとつだけ)	
	はじめて	
	2回目	
	3回目	
	4回目	
	5回目	
	6～9回目	
	10回以上	

Q3 釧路市内で訪れた場所についてお答えください。
(いくつでも)

回答者には釧路市の観光マップが表示されます。

釧路	
釧路フィッシャーマンズワーフMOO	
和商市場	
釧路駅周辺	
北大通り・末広町・栄町	
幣舞橋	
釧路市観光国際交流センター(国際会議場)	
釧路市生涯学習センター(まなぼと幣舞)	
釧路湿原散策路	
釧路市湿原展望台	
湿原の風アリーナ釧路	
イオンモール釧路昭和	
マリン・トボスクしろ	
釧路市動物園	
釧路市ふれあいホースパーク	
山花温泉リフレ	
丹頂鶴自然公園	
その他()	
阿寒	
阿寒カントリークラブ	
サークルハウス赤いベレー	
道の駅阿寒丹頂の里(クレインズテラス)	
阿寒国際ソルセンター	
双湖台/双岳台	
阿寒湖アイヌコタン	
阿寒湖アイヌシアター「イコロ」	
阿寒湖まりむ館	
阿寒湖遊覧船	
マリモ展示観察センター	
国設阿寒湖畔スキー場	
阿寒湖畔エコミュージアムセンター	
森と湖の美術館	
その他()	
音別	
音別体験学習センター「ころみ」	
憩いの森	
バンクル沼	
その他()	
上記で釧路市内で訪れた場所はない	

Q4 釧路市外(釧路市近郊)で訪れた場所についてお答えください。
(いくつでも)

回答者には釧路市周辺の観光マップが表示されます。

弟子屈町	美幌峠展望台
	川湯温泉
	屈斜路湖
	摩周湖
	屈斜路コタンアイヌ民族資料館
	硫黄山
	道の駅「摩周温泉」
	その他()
標茶町	コッタ口湿原展望台
	塘路湖
	その他()
釧路町	細岡展望台
	ロ・バザール
	その他()
白糠町	釧路空港ゴルフクラブ
	道の駅「しらぬか恋間」
	その他()
鶴居村	釧路カントリークラブ
	釧路風林カントリークラブ
	温根内ビジターセンター
	酪楽館
	鶴居たんちょうプラザつるぼーの家
	鶴見台
	その他()
足寄町	オンネット
	その他()
厚岸町	厚岸水鳥観察館
	道の駅「厚岸グルメパーク」
	その他()
浜中町	霧多布湿原センター
	その他()
美幌町	道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」
	その他()
上記で釧路市外で訪れた場所はない	

Q5 釧路市を訪れる前に期待していた活動(いくつでも) 釧路市で実施した活動(いくつでも) 最も満足した活動(ひとつだけ) についてお答えください。			
	期待して いた活動 (いくつでも)	実施した 活動 (いくつでも)	満足した 活動 (ひとつだけ)
カヌー			
ハイキング・トレッキング			
登山			
釣り(ワカサギ釣り含む)			
野鳥観察			
マリモ観察			
スノーモービル			
スキー・スノーボード			
自然ガイドツアー			
乗馬			
ゴルフ			
湿原観察			
祭・イベント			
写真撮影			
買い物			
温泉			
食事・グルメ			
避暑			
スポーツ合宿			
業務(出張や会議)			
その他()			
特になし	-	-	

Q6 釧路市で実施した活動のうち最も不満だった活動についてお答えください。
(ひとつだけ)

回答者にはQ5で回答した「実施した活動」から「満足した活動」を除いた選択肢が表示されます。

1	カヌー
2	ハイキング・トレッキング
3	登山
4	釣り(ワカサギ釣り含む)
5	野鳥観察
6	マリモ観察
7	スノーモービル
8	スキー・スノーボード
9	自然ガイドツアー
10	乗馬
11	ゴルフ
12	湿原観察
13	祭・イベント
14	写真撮影
15	買い物
16	温泉
17	食事・グルメ
18	避暑
19	スポーツ合宿
20	業務(出張や会議)
21	その他()
21	不満だった活動は特にない

Q6で1～20と回答した人には以下の画面が表示されます。

Q7 不満を感じた活動
Q6で「1」～「20」を選択した方にお聞きします。
不満を感じた理由についてお答えください。
(自由回答・100文字以内)

Q8 同行者についてお答えください。
※複数の選択肢に該当する場合、ひとつの選択肢を選択してください。
(例: 配偶者と職場の同僚両方と一緒にいった場合「配偶者・パートナー」「職場や団体」いずれかひとつ)
(ひとつだけ)

自分ひとり
配偶者・パートナー
子供連れ家族(一番下のお子様が無就学児)
子供連れ家族(一番下のお子様が小学生～高校生)
大人の家族(18歳以上のお子様含む)
カップル
友人
職場や団体
その他

Q9 **【往路】自宅から釧路市内までの移動に利用した交通手段をお答えください。**
 (空港はひとつだけ、その他はいつでも)

航空機(往路で到着した空港)	
a	釧路空港
b	新千歳空港
c	女満別空港
d	中標津空港
e	その他の空港 ()
鉄道	
自家用車(社用車含む)	
レンタカー	
タクシー	
路線バス	
団体貸切バス	
長距離バス	
自転車・バイク	
その他	
徒歩のみ	※排他

Q10 **【復路】釧路市内から自宅や他の地域までの移動に利用した交通手段をお答えください。**
 (空港はひとつだけ、その他はいつでも)

航空機(復路で出発した空港)	
a	釧路空港
b	新千歳空港
c	女満別空港
d	中標津空港
e	その他の空港 ()
鉄道	
自家用車(社用車含む)	
レンタカー	
タクシー	
路線バス	
団体貸切バス	
長距離バス	
自転車・バイク	
その他	
徒歩のみ	※排他

SC5で「宿泊」を選択した人は以下の画面が表示されます

Q11-1-1 釧路市内で**宿泊した方**にお聞きします。
 宿泊 釧路市内での泊数を入力してください。

() 泊

Q11-1-2 釧路市内で**宿泊した方**にお聞きします。
 宿泊 利用した宿泊施設タイプと宿泊したエリアのセルに泊数を入力してください。
 (いくつでも)

	釧路 エリア	阿寒 エリア	音別 エリア	不明
ホテル				
旅館				
ペンション・民宿				
別荘・コンドミニアム				
学校の寮・会社所有の宿泊施設				
親族・知人宅				
民泊				
宿泊施設は利用していない※				
その他				

※キャンピングカーの利用等

<入力例>

	釧路 エリア	阿寒 エリア	音別 エリア	不明
ホテル	1			
旅館		1		
ペンション・民宿				
別荘・コンドミニアム				
学校の寮・会社所有の宿泊施設				
親族・知人宅				
民泊				
宿泊施設は利用していない※				
その他				

SC5で「日帰り」を選択した人は以下の画面が表示されます

Q11-2-1 釧路市内で**日帰りした方**にお聞きします。
 日帰り あなたの釧路市での滞在についてあてはまるものをお答えください。
 また、釧路市内での滞在時間をお答えください。

釧路市内に宿泊していない(日帰り) () 時間

Q11-2-2 釧路市内以外の地域に宿泊し、釧路市内を通過するついでに一時的に立ち寄った () 時間

Q11-2-1で「釧路市内に宿泊していないが他の地域に宿泊した」を選択した人は以下の画面が表示されます

Q11-2-2 他地域
 宿泊者 Q10-2-2で「釧路市内に宿泊していないが他の地域に宿泊した」と回答した方にお聞きします。
 宿泊した場所と泊数をお答えください。
 (いくつでも)

川湯・摩周・弟子屈	() 泊
根室	() 泊
知床	() 泊
網走	() 泊
十勝・帯広	() 泊
登別	() 泊
札幌・定山溪	() 泊
旭川・富良野	() 泊
網走・北見	() 泊
登別・洞爺	() 泊
その他	() 泊

【最も印象に残った釧路滞在の満足度・再来訪意向】

Q12	該当する釧路市訪問の満足度をお答えください。 釧路市以外にも訪問した場合には、釧路市のみ満足度をお答えください。 (ひとつだけ)	大変満足
		満足
		やや満足
		ふつう
		やや不満
		不満
		大変不満

Q13	今後の釧路市訪問についてお答えください。 (ひとつだけ)	必ず来たい
		来たい
		やや来たい
		何ともいえない
		あまり来たくない
		来たくない
		絶対来たくない

【釧路観光の改善点・課題】

Q14	釧路市を訪れて感じたことをお答えください。 (いくつでも) 「その他」は100字以内	港町の風景を楽しめる宿泊施設や飲食店がもっと必要
		釧路市街地にも温泉施設が必要
		漁師町の風情のあるまちづくりをすべき
		ビジネス客でも楽しめる観光メニューが必要
		宿泊施設、飲食店、観光施設、交通事業者等のサービスを向上すべき
		釧路市民の観光客に対するおもてなしを高めるべき
		釧路の魚の質の良さをもっとアピールすべき
		美味しい魚を食べられるお店の情報をもっと発信すべき
		環境保全の先進地としての取組を増やすべき
		フィッシャーマンズワーフMOOの施設内容を改善すべき
		釧路湿原での楽しみ方をアピールすべき
		釧路川でのカヌー体験を手頃に楽しめるようにすべき
		釧路の自然を楽しめるようなプログラムを充実させるべき
		釧路産のお土産品が手に入る拠点設備を整備すべき
		釧路産のお土産をもっとアピールすべき
		釧路の食をもっとアピールすべき
		まちなかや漁港などをもっと手軽にめぐれるようにすべき
		長期滞在しても宿泊施設の食事に飽きることはないようにすべき
		長期滞在しても飽きることはないようなプログラムを用意すべき
		その他()
釧路のことはよくわからない		

【最も印象に残った釧路滞在の消費活動】

Q15	該当する釧路市訪問(または釧路訪問を含む旅行)でパッケージツアーは利用しましたか？ (ひとつだけ)	1 添乗員付きの団体パッケージツアーを利用した
		2 添乗員なしの個人パッケージツアーを利用した※ ※往復の交通(航空機等)と宿泊がセットになった商品
		3 職場や学校、地域などが主催する団体旅行に参加した
		4 パッケージツアーは利用していない

Q18で「飲食費」を入力した人には以下の画面が表示されます

Q19 飲食費 支出者 (満足)	「飲食費」に金額を入力した方にお聞きます。	
	釧路市で最も満足した食事について提供された店名、メニュー名(例:ザンギ)、支払った金額を入力してください。 ※100円未満は四捨五入して構いません。	
	※1人分の金額を入力してください。同行者と共同で食べた場合等は人数で案分した数値を入力してください。	
	店名	
	メニュー	
	単価	円

Q19 飲食費 支出者 (満足)	「飲食費」に金額を入力した方にお聞きます。	
	食事について満足した理由をお答えください。 (いくつでも)	
	釧路産の新鮮な食材を味わうことができたから	
	釧路でしか食べられない(自分の住んでいる地域では出回らない)食材を味わうことができたから	
	釧路のご当地グルメや名物料理を味わうことができたから	
	自分が住んでいる地域で同じものを食べるよりも安く食べられたから	
	旬の時期に食べられたから	
	食事のボリュームが多かったから	
	価格が手ごろだったから	
	インターネット上での口コミが高評価だったから	
	ガイドブックやパンフレットに掲載されている店で食べたから	
	自分で調理する等、体験しながら食べられたから	
	サービスがよかったから	
	雰囲気のよい空間で食べることができたから	
炉ばた焼き等、釧路らしいユニークな食事場所で食べることができたから		
その他()		

Q19 飲食費 支出者 (不満)	「飲食費」に金額を入力した方にお聞きます。	
	釧路市で最も不満を感じた食事について提供された店名、メニュー名(例:ザンギ)、支払った金額を入力してください。 ※100円未満は四捨五入して構いません。	
	※1人分の金額を入力してください。同行者と共同で食べた場合等は人数で案分した数値を入力してください。 また、不満を感じた理由についてお答えください。 (自由回答・100文字以内)	
	店名	
	メニュー	
	単価	円
	理由	

Q18で「買い物代」を選択した人には以下の画面が表示されます

Q21 買い物代 支出者 (満足)	「買い物代」に金額を入力した方にお聞きます。 釧路市で最も満足した購入商品であてはまるものをお答えください。 (ひとつだけ)	
	Q23 -1	1 海産物(鮮魚、カニ・エビ・貝類等)
		2 水産食料品(冷凍加工品・缶詰・干物等)
		3 農作物(野菜・花等)
		4 酪農品(牛乳・ソフトクリーム・チーズ等)
		5 肉(加工していない肉)
		6 肉加工品(ハム・ソーセージ・味が付いた肉等)
		7 菓子類
		8 その他食料品
	Q23 -2	9 工芸品・装飾品(木彫り等)
		10 衣類・繊維製品(シャツ・タオル等)
		11 革製品(靴・カバン等)
		12 薬・化粧品・虫除け等
13 日用雑貨・旅行用品		

Q22 買い物代 支出者 (満足)	「買い物代」に金額を入力した方にお聞きます。 釧路市で最も満足した買い物について商品名、支払った金額を入力してください。 ※100円未満は四捨五入して構いません。 ※1人分の金額を入力してください。同行者と共同で購入した場合等は人数で案分した数値を入力してください。 また、その商品を購入した場所をお答えください。 (ひとつだけ)	
	商品名	
	単価	円
	購入場所	
	宿泊施設	
	釧路駅および駅周辺	
	和商市場	
	フィッシャーマンズワーフMOO	
	アイヌコタン	
	道の駅 阿寒丹頂の里※	
	ショッピングセンター(イオン、イトーヨーカドー等)	
	スーパー	
	釧路空港	
その他		
※「阿寒マルシェ」「インフォメーションセンター丹頂の里(クレインズテラス)」等		

Q21で「1」～「8」(食料品)を選択した人には以下の画面が表示されます

Q23-1 買い物 支出者のうち 食料品 購入者 (満足)	「買い物代」に金額を入力した方にお聞きます。 商品について満足した理由をお答えください。 (いくつでも)	
	釧路滞在中に食べておいしかったから	
	旬の時期に買ったから	
	釧路産の新鮮な食材(を使っている商品)だから	
	自分が住んでいる地域で同じものを買うより安く買ったから	
	テレビ・雑誌等で紹介されている有名商品が買ったから	
	パッケージや包装のデザインがよかったから	
	釧路でしか(自分の住んでいる地域では出回らない)買えないから	
	体験(工場見学、農家体験等)を通じて商品に対する理解を深めた上で買ったから	
	購入した店の接客やサービスがよかったから	
	生産者の顔が見える商品だったから	
	その他	

Q21で「9」～「12」(非食料品)を選択した人には以下の画面が表示されます

Q23-2 買い物 支出者のうち 非食料品 購入者 (満足)	「買い物代」に金額を入力した方にお聞きします。
	商品について満足した理由をお答えください。 (いくつでも)
	釧路産の原材料を使っている商品だから
	自分が住んでいる地域で同じものを買うより安く買えたから
	テレビ・雑誌等で紹介されている有名商品が買えたから
	パッケージや包装のデザインがよかったから
	釧路でしか(自分の住んでいる地域では出回らない)買えないから
	体験(工場見学等)を通じて商品に対する理解を深めた上で買ったから
	購入した店の接客やサービスがよかったから
	生産者の顔が見える商品だったから
その他	

Q18で「買い物代」を選択した人には以下の画面が表示されます

Q24 買い物代 支出者 (不満)	「買い物代」に金額を入力した方にお聞きします。	
	釧路市で最も不満を感じた買い物について商品名、支払った金額を入力し、購入場所をお答えください(ひとつだけ)。 ※100円未満は四捨五入して構いません。 ※1人分の金額を入力してください。同行者と共同で購入した場合等は人数で案分した数値を入力してください。 また、不満を感じた理由についてお答えください。 (自由回答・100文字以内)	
	商品名	
	単価	円
	購入場所	
	宿泊施設	
	釧路駅および駅周辺	
	和商市場	
	フィッシャーマンズワーフMOO	
	アイヌコタン	
道の駅 阿寒丹頂の里※		
ショッピングセンター(イオン、イトーヨーカドー等)		
スーパー		
釧路空港		
その他		
	※「阿寒マルシェ」「インフォメーションセンター丹頂の里(クレインズテラス)」等	
理由		

【釧路の魅力】

Q25	釧路市内で実施しているアクティビティについてお答えください。			
		知っている	体験した	次回 体験したい
	早朝魚河岸まち巡り			
	釧路の夕日鑑賞			
	釧路湿原散策			
	釧路湿原カヌー体験			
	イオマンテの火まつり鑑賞			
	アイヌ古式舞踊鑑賞			
	阿寒湖アイヌ伝統工芸木彫り体験			
	アイヌ文様刺繍体験			
	アイヌ伝統楽器ムックリ演奏講習・ムックリ製作講習			
	阿寒国際ツルセンター見学			
	阿寒川リバーウォーク			
	阿寒湖カナディアンカヌー体験			
	屈斜路湖・釧路川上流カヌー体験			
	冬の阿寒湖湖上散策			
	スキー・スノーボード(阿寒)			
知っているもの/実施したもの/次回体験したいものはない				

Q26	釧路市内のグルメ・特産品についてお答えください。		知っている	今回食べた	次回食べたい
		炬燵焼き			
		釧路ラーメン			
		寿司(回転寿司含む)			
		勝手丼			
		スパカツ(ミートソーススパゲッティの上にトンカツを乗せた料理)			
		エゾシカ肉(阿寒もみじ等)料理			
		クロレラそば(緑色のそば)			
		北のガレット			
		ザンギ(から揚げ)			
		アイス料理			
		釧路ししゃも			
		トキシラス(春から初夏にかけて水揚げされる鮭)			
		ヒメマス			
		青刀さんま			
		北釧さば			
		ワカサギ			
		レイクロブスター(ザリガニ)			
		夕日ハイボール			
		まりも羊羹			
地酒「福司」					
阿寒ポーク					
阿寒丹頂黒和牛					
知っているもの/実施したもの/次回体験したいものはない					

Q27	釧路で食事をする際に釧路産の食材を活用した料理であれば、他地域産の料理に比べて、どの程度の割増料金まで支払ってもよいと思いますか？ (ひとつだけ)	
		同額
		1割増まで
		2割増まで
		3割増まで
		4割増まで
		5割増まで
		5割増超
		割増金額は支払いたくない

【帰宅後の釧路産品の購入等】

Q28	釧路訪問から帰宅後、釧路産の商品を購入しましたか？	
		Q29
		購入した
		購入していない

Q28で「購入した」を選択した人には以下の画面が表示されます

Q29 釧路産商品 購入者	Q28で「購入した」と回答した方にお聞きします。 釧路の商品を購入した合計金額を入力してください。 他の地域の商品と合わせて購入された場合は釧路の商品のみの金額を入力してください。
	円

Q30 釧路産商品 購入者	購入した商品について該当するものをお答えください。 (いくつでも)													
	<table border="1"> <tr><td>海産物(鮮魚、カニ・エビ・貝類等)</td></tr> <tr><td>水産食料品(冷凍加工品・缶詰・干物等)</td></tr> <tr><td>農作物(野菜・花等)</td></tr> <tr><td>酪農品(牛乳・ソフトクリーム・チーズ等)</td></tr> <tr><td>肉(加工していない肉)</td></tr> <tr><td>肉加工品(ハム・ソーセージ・味が付いた肉等)</td></tr> <tr><td>菓子類</td></tr> <tr><td>その他食料品</td></tr> <tr><td>工芸品・装飾品(木彫り等)</td></tr> <tr><td>衣類・繊維製品(シャツ・タオル等)</td></tr> <tr><td>革製品(靴・カバン等)</td></tr> <tr><td>薬・化粧品・虫除け等</td></tr> <tr><td>日用雑貨・旅行用品</td></tr> <tr><td>その他()</td></tr> </table>	海産物(鮮魚、カニ・エビ・貝類等)	水産食料品(冷凍加工品・缶詰・干物等)	農作物(野菜・花等)	酪農品(牛乳・ソフトクリーム・チーズ等)	肉(加工していない肉)	肉加工品(ハム・ソーセージ・味が付いた肉等)	菓子類	その他食料品	工芸品・装飾品(木彫り等)	衣類・繊維製品(シャツ・タオル等)	革製品(靴・カバン等)	薬・化粧品・虫除け等	日用雑貨・旅行用品
海産物(鮮魚、カニ・エビ・貝類等)														
水産食料品(冷凍加工品・缶詰・干物等)														
農作物(野菜・花等)														
酪農品(牛乳・ソフトクリーム・チーズ等)														
肉(加工していない肉)														
肉加工品(ハム・ソーセージ・味が付いた肉等)														
菓子類														
その他食料品														
工芸品・装飾品(木彫り等)														
衣類・繊維製品(シャツ・タオル等)														
革製品(靴・カバン等)														
薬・化粧品・虫除け等														
日用雑貨・旅行用品														
その他()														

Q31 釧路産商品 購入者	購入したもののうち最も印象に残っている商品をお答えください。 (自由回答)

Q32 釧路産商品 購入者	Q31で回答した商品の購入方法をお答えください。						
	<table border="1"> <tr><td>インターネットのウェブサイト</td></tr> <tr><td>カタログショッピング</td></tr> <tr><td>テレビショッピング(ショッピング専用チャンネル、CM等)</td></tr> <tr><td>ラジオショッピング</td></tr> <tr><td>折込チラシ・ダイレクトメール</td></tr> <tr><td>新聞・雑誌広告</td></tr> <tr><td>その他</td></tr> </table>	インターネットのウェブサイト	カタログショッピング	テレビショッピング(ショッピング専用チャンネル、CM等)	ラジオショッピング	折込チラシ・ダイレクトメール	新聞・雑誌広告
インターネットのウェブサイト							
カタログショッピング							
テレビショッピング(ショッピング専用チャンネル、CM等)							
ラジオショッピング							
折込チラシ・ダイレクトメール							
新聞・雑誌広告							
その他							

Q33 釧路産商品 購入者	Q31で回答した商品について購入した理由をお答えください。 (いくつでも)				
	<table border="1"> <tr><td>自分の住んでいる地域で購入するよりも商品の品質(食品の場合は鮮度)がよい</td></tr> <tr><td>自分の住んでいる地域で購入するよりも安価に購入することができる</td></tr> <tr><td>釧路でしか(自分の住んでいる地域では出回らない)買えない</td></tr> <tr><td>釧路を訪れた際に体験して(食べて)おいしかった</td></tr> <tr><td>その他()</td></tr> </table>	自分の住んでいる地域で購入するよりも商品の品質(食品の場合は鮮度)がよい	自分の住んでいる地域で購入するよりも安価に購入することができる	釧路でしか(自分の住んでいる地域では出回らない)買えない	釧路を訪れた際に体験して(食べて)おいしかった
自分の住んでいる地域で購入するよりも商品の品質(食品の場合は鮮度)がよい					
自分の住んでいる地域で購入するよりも安価に購入することができる					
釧路でしか(自分の住んでいる地域では出回らない)買えない					
釧路を訪れた際に体験して(食べて)おいしかった					
その他()					

【属性】

Q34	あなたの職業についてあてはまるものをお答えください。 (ひとつだけ)	会社員
		公務員
		自営業・自由業
		派遣・パートアルバイト
		学生
		専業主婦
		無職

Q35	あなたの世帯全体での年収をお答えください。 (ひとつだけ)	300万円未満
		300～600万円未満
		600～900万円未満
		900～1200万円未満
		それ以上

Q36	釧路市に過去に住んだことはありますか？ (ひとつだけ)	ある
		ない

2 釧路市観光の課題（自由回答）

日曜に釧路駅前で1軒しか開いてないため、びっくりし、がっかりした。すし屋も高く観光客目当ての価格で札幌方が安い。
美味しいものをもっとリーズナブルに。
北大通の寂れた感じは、昔を知っている者からすると、「寂しい」の一言。
「さかなまつり」を「釧路大漁どんぱく」の日に戻してほしい。
市内の移動手段がレンタカーしかないのを改善してもらいたい。
公共交通機関が不便。10年前と比べて湿原めぐりの定期観光バスがなくなった等。
釧路空港が不便。
昭和のさびれた町をそのままのこしておく。
駅前に宿泊するので、歓楽街が遠く行かない。
観光を中心にする必要は無い市政を行うようにしてほしい。自然がしっかりと残るようにして、それを静かに見るために訪れる場所であり続けてもらいたい。
手軽に立ち寄れて土地の情報やおいしいものを知ることができる施設があると嬉しい。
中心市街地の賑わいが欲しい。
公共交通機関を充実させるべき。
ノロック号の運行本数を増やしてほしい。
サイクリングロードを整備してほしい。
18時を過ぎると閉まる店が多いので、夜の観光を充実させるべき。
JR 釧路駅の有効利用（駅地下の利用再開、駅周辺の活性化など）。
100円循環バスサービスを開始してほしい。
昔は漁師優先でサラリーマンは全然相手にされなかったが、官官接待がなくなった頃から急に寂れてきた。末広町ではまだ10時過ぎなのに一人もすれ違わないで駅前のホテルに到着したときはさすがに驚いた。
釧路の食材がいいのはわかるが、高い。食べて飲むと5千円を超える。スナックもちょっと飲むと8千円を超える。
釧路駅などで「野鳥情報」が収集出来るとありがたい。ガイド任せではなく情報発信を。
和商市場はぼったくり感がある。
車中泊旅行者が長期滞在できる施設（24時間駐車可、炊事可、清潔な24時間トイレ等が格安で利用できる）を市街につくるべき
道が悪い。交通マナーがなってない。もっとインフラの整備と市民の教育をすべき。

冬期の道路除雪が必要。
駅周辺が寂しい。
厳冬期の空き時間で移動中に寒い思いをせず楽しめるように交通を充実して欲しい。
町を明るく！
街中がシャッター通りと化していてゴーストタウンに変貌しておりショックを受けた。
国内唯一の地下掘り炭鉱の存在をアピールすべき
アイヌ民族に関するものをより充実させる。
市内の廃墟化が進んで泊まる気が失せているので（昔は泊まっていた）。空きビルを無料開放して強引にでもテナントを入れるべき。
釧網本線からの眺めは格別で、ぜひ観光列車を走らせてほしい。
訪れる度に、残念ながら借り手のつかない雑居ビルが増え、寂れて行っている。方向性は行政が示すべき。残念。
北大通のゴーストタウン化を何とかしてほしい。
街自体が寂れ、空きビルや壊れかかった建物や空き地が多くびっくりした。整備すべき。
安心して停められる（1台あたりのスペースの幅が広く、監視カメラがある）無料駐車場（施設利用者は無料対応でも可能）を設置してほしい。
サービス業の質が悪い。
車で行ったので、標識が少ないように感じた。
2泊程度の団体ツアーでは通過ポイントになってしまう。
湿原を見る予定だったが、水が多すぎてトロッコ電車がストップしていて見られなかった。
炭鉱関係の観光施設をつくるべき。
鶴居町の自然探索は鶴の生息が見られて良かった。
電車の本数を増やしてほしい。
帰省なので観光客的感想はない。
冬でも楽しめる環境づくり（特に交通機関）。
さびれた町。
釧路と言うとどうしても「湿原」のイメージが強く、それだけだと観光地として押しが弱い。
駅前がさびしすぎる。
とにかく魅力がない。仕事やスポーツ観戦があっしょうがなく行くくらい。それ以外のレジャー目的で行きたいとは絶対に思わない。

駅前の食事処が少ない。見つけにくい。
冬の観光についてもっと情報がほしい。
釧路川の直線化部分を元の蛇行した姿に戻すなど、豊かな釧路湿原を後世に残していこうという意志が感じられる。ただ、港付近などは非常に寂れて活気がなく、道内随一の生活保護率の高さがうかがえる。
安宿を増やして欲しい。
北海道万歳！！釧路万歳！！北海道大好き！！冷淡な東京の人と違って、北海道の人は、みんな優しくて、親切。旅行中に困ったときに、何度も助けてもらいました。恩返しがしたいです。
和室温泉の楽しめるホテルが少ない。
ゆったりした町で良かったが、人が少なすぎる。釧路駅の反対側からも往来できる改札が必要。最低1時間に1本電車があると便利。
駅前に活気がない
北大通りの閑散さを考えると寂しい。
釧路市中心部にスーパーがなく不便
以前訪問したときより寂れた感あり。
案内標示板が少ない。
憩いの場となる足湯が欲しい。
阿寒湖のワカサギ料理を年中楽しめるように。
観光地図の充実を望みたい。
幹線道路の接続。(R44 から R38 への移動がややこしく走行しづらい。)
駅前で24時間いられる場所(インターネットカフェ等)を作るべき。夜行バス利用した際に早朝や深夜不便だった。
駅から徒歩圏内に書店が欲しい。
函館のように観光に力を入れろ。MOO、和商市場、空港位しかなく、どれも貧相。
アイヌ文化をもっと知ってもらうための工夫が必要。
ランチが出来る店を増やしてほしい。
高速道路への案内標識が足りない。
いちばん最初に訪れた30年前に比べて釧路市内が寂れて観光客も寄り付かないのでは。
霧が深く、夏でも寒い
人口減少で寂れているのが残念。
飲食店で喫煙席が多かった。禁煙席を増やす、もしくは喫煙ルームにして全席禁煙にすると、家族連れも安心して入りやすい。

駅前に巨大な廃墟があるのはいけない。

釧路の周りは魅力的な場所が多いのにも関わらず市内は和商市場くらいしか楽しみがない。もう少し観光客を呼び寄せる北海道の良さを出した見せ方が必要。今のままではひきが弱過ぎる。

美しい自然の景色や生き物を SNS 等でリアルタイム発信して欲しい。

交通機関を充実させるべき。

駅前が寂れた。

早朝タンチョウ見学の公共交通手段を確保するべき。

中心市街地が寂れており、もっと人が集まる拠点になったら良いと願います。

現地につくまで観光情報が少ないと感じた。

飲食店の閉まる時間が早過ぎる。

3 満足した食事（自由回答） 36

満足した食事(メニュー名)	回答数	選択率	満足した食事(メニュー名)	回答数	選択率	満足した食事(メニュー名)	回答数	選択率
寿司(回転含む)	97	7.3%	塩ラーメン	2	0.1%	ミルク	1	0.1%
海鮮丼	80	6.0%	牡蠣(コース)	2	0.1%	メロン	1	0.1%
海鮮	63	4.7%	牡蠣ラーメン	2	0.1%	めんめ焼き魚	1	0.1%
スパカツ	56	4.2%	海鮮(地物)	2	0.1%	ユック(鹿料理・セット)	1	0.1%
勝手丼	53	4.0%	干物	2	0.1%	ユックカレー(鹿肉カレー)	1	0.1%
炉端焼き	52	3.9%	鶏のから揚げ	2	0.1%	ラムしゃぶ	1	0.1%
ザンギ	41	3.1%	骨付きザンギ	2	0.1%	塩パン	1	0.1%
ラーメン	35	2.6%	鮭イクラ親子丼	2	0.1%	牡蠣(ガンガン焼き)	1	0.1%
刺身	35	2.6%	刺身(地物)	2	0.1%	牡蠣(定食)	1	0.1%
カニ	21	1.6%	炭火焼	2	0.1%	牡蠣そば	1	0.1%
牡蠣	17	1.3%	肉	2	0.1%	牡蠣フライ	1	0.1%
定食	15	1.1%	日本酒	2	0.1%	牡蠣フライ(定食)	1	0.1%
居酒屋料理	12	0.9%	和食	2	0.1%	牡蠣御膳	1	0.1%
コース料理	11	0.8%	アクアパツツア	1	0.1%	牡蠣焼き	1	0.1%
ジンギスカン	8	0.6%	イカのちゃんちゃん焼き	1	0.1%	牡蠣酢	1	0.1%
ホッケ	8	0.6%	イカの塩辛	1	0.1%	牡蠣丼	1	0.1%
海鮮焼	8	0.6%	イカの丸焼き	1	0.1%	花咲ガニ	1	0.1%
海鮮(定食)	7	0.5%	イワシ	1	0.1%	会席料理	1	0.1%
酒	7	0.5%	エスカロップ	1	0.1%	海の幸弁当	1	0.1%
ウニ丼	6	0.4%	エゾジカ	1	0.1%	海鮮(コース)	1	0.1%
サンマ	6	0.4%	エゾジカのステーキ	1	0.1%	海鮮(セット)	1	0.1%
さんまんま	6	0.4%	エドシカバーガー	1	0.1%	海鮮(盛り合わせ)	1	0.1%
そば	6	0.4%	おでん	1	0.1%	海鮮炉端焼き	1	0.1%
刺身(盛り合わせ)	6	0.4%	オムレツカレー	1	0.1%	海鮮丼(定食)	1	0.1%
豚丼	6	0.4%	かしわめき	1	0.1%	干物(定食)	1	0.1%
弁当	6	0.4%	カニ(定食)	1	0.1%	牛皿(定食)	1	0.1%
ザンギ(定食)	5	0.4%	カフェの料理	1	0.1%	金目鯛	1	0.1%
ステーキ	5	0.4%	から揚げ	1	0.1%	釧路巻	1	0.1%
ビール	5	0.4%	カレー南蛮そば	1	0.1%	釧路御膳	1	0.1%
釧路ラーメン	5	0.4%	クジラの刺身	1	0.1%	骨なしザンギ	1	0.1%
刺身(定食)	5	0.4%	くしろザンギ	1	0.1%	鮭茶漬け	1	0.1%
焼肉	5	0.4%	クレミア(ソフトクリーム)	1	0.1%	刺身(海鮮)	1	0.1%
イクラ丼	4	0.3%	この豚丼	1	0.1%	鹿肉カレー	1	0.1%
おにぎり	4	0.3%	コロッケ	1	0.1%	煮付け	1	0.1%
おまかせ料理	4	0.3%	サーモンのハラス	1	0.1%	酒の肴	1	0.1%
カレー	4	0.3%	サバの干物	1	0.1%	寿司(盛り合わせ)	1	0.1%
サンマの刺身	4	0.3%	ザンタレ(定食)	1	0.1%	寿司(定食)	1	0.1%
スパゲティ	4	0.3%	ザンタレ丼	1	0.1%	秋鮭	1	0.1%
ソフトクリーム	4	0.3%	サンドイッチ	1	0.1%	焼きそば	1	0.1%
つぶ焼	4	0.3%	サンマご飯	1	0.1%	焼きツブ貝	1	0.1%
どんぶり	4	0.3%	サンマの寿司	1	0.1%	焼きとうもろこし	1	0.1%
カツ丼	3	0.2%	サンマロール寿司	1	0.1%	焼き物	1	0.1%
ザンギ弁当	3	0.2%	サンマ丼	1	0.1%	深山井	1	0.1%
ザンタレ	3	0.2%	シシャモ	1	0.1%	生牡蠣	1	0.1%
しょうゆラーメン	3	0.2%	ジュース	1	0.1%	生牡蠣焼き	1	0.1%
ツブ貝	3	0.2%	ジンギスカン(定食)	1	0.1%	泉屋風スパゲティ大盛り	1	0.1%
バイキング	3	0.2%	ステーキ(コース)	1	0.1%	鮮魚を使ったフランス料理	1	0.1%
パスタ	3	0.2%	スパゲティミートソース	1	0.1%	創作和食コース	1	0.1%
ランチ	3	0.2%	セブンカフェ	1	0.1%	惣菜	1	0.1%
駅弁	3	0.2%	そば(定食)	1	0.1%	鯛	1	0.1%
牡蠣(食べ放題)	3	0.2%	タコ	1	0.1%	大福	1	0.1%
魚醤ラーメン	3	0.2%	タコの卵のすし	1	0.1%	定食(日替わり)	1	0.1%
焼き魚	3	0.2%	だし巻き玉子	1	0.1%	鉄火丼	1	0.1%
焼き魚(定食)	3	0.2%	たちぼん	1	0.1%	天ぷら	1	0.1%
味噌ラーメン	3	0.2%	ダブルチーズバーガー	1	0.1%	天ぷらそば	1	0.1%
モガニ	3	0.2%	たらば寿し	1	0.1%	天井	1	0.1%
アイスクリーム	2	0.1%	チャーハン	1	0.1%	道産鶏胸肉から揚げ	1	0.1%
イクラ	2	0.1%	ドーナツ	1	0.1%	豚肉料理	1	0.1%
イタリアン	2	0.1%	ニシン	1	0.1%	肉豆腐	1	0.1%
カニ丼	2	0.1%	ノドグロ焼き	1	0.1%	乳製品	1	0.1%
クジラ	2	0.1%	ハンバーグ(定食)	1	0.1%	八角	1	0.1%
ケーキ	2	0.1%	ヒメマス丼	1	0.1%	葡萄	1	0.1%
チャーシュー麺	2	0.1%	ふぐコース	1	0.1%	北海鍋	1	0.1%
ちゃんちゃん焼き	2	0.1%	ホイル焼き	1	0.1%	北海井	1	0.1%
パン	2	0.1%	ポークチャップ	1	0.1%	北釧サバ	1	0.1%
ハンバーガー	2	0.1%	ほっかぶり寿司	1	0.1%	味噌ワンタンメン	1	0.1%
ハンバーグ	2	0.1%	ホッケ(定食)	1	0.1%	明太子	1	0.1%
ホタテ	2	0.1%	ホッケ焼	1	0.1%	麺類	1	0.1%
ホッケの塩焼き	2	0.1%	ホッケ焼(定食)	1	0.1%	柳カレイ塩焼き	1	0.1%
めんめ	2	0.1%	ホワイトカレー	1	0.1%	洋食弁当	1	0.1%
めんめの煮付け	2	0.1%	まりもようかん	1	0.1%	蘭切りそば	1	0.1%
ワカサギ天丼	2	0.1%	ミックスフライ	1	0.1%	冷やしたぬきそば	1	0.1%
						炉端焼き(海鮮)	1	0.1%

36 「満足した食事」の集計にあたっては、回答者の自由回答を活かす形で、最低限の誤字脱字の修正、同一のメニューを指していると思われるものを集約して集計を行った。